

<委員会報告>

計量証明対象物質名等及び計量の方法と機器又は装置

2025年（令和7年）4月1日現在

標準化委員会

昨年（令和6年7月1日）協会ホームページに掲載した内容を、2025年（令和7年）4月1日迄の関係法令等の改正をふまえて、本委員会において見直しを行い、追加・修正した内容を以下に報告致します。前年度版を修正した部分は、**ゴシック体**で表しました。

なお、ここにあげている関係法令等に引用された測定分析方法以外のJIS等も、計量の方法として適切なものと考えられます。
今後も引き続き、ご意見或いは測定分析方法に関する参考資料がございましたら、下記当協会事務局の標準化委員会あてにお寄せ下さい。

記

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西2-3-4

一般社団法人日本環境測定分析協会 事務局

電話(03)3878-2811(代表) FAX(03)3878-2639

計量証明対象物質名等及び計量の方法と機器又は装置

2025年（令和7年）4月1日現在

計量証明事業登録の対象範囲となる物質名等及び計量の方法等を以下の別表に示す。

別表特1（ダイオキシン類の濃度に係る事業）

別表1（大気中の物質の濃度に係る事業）

別表1-1 《環境基準・指針及び有害大気汚染物質等》

別表1-2 《ばい煙・水銀等》

別表1-3 《特定粉じん》

別表1-4 《指定物質》

別表1-5 《揮発性有機化合物》

別表1-6 《自動車排出ガス要請限度》

別表1-7 《特定物質》

別表1-8 《悪臭物質》

別表1-9 《PM2.5の成分等》

別表1-10 《航空防除農薬》

別表1-11 《大気の環境ホルモン》

別表1-12 《環境大気の臭素系ダイオキシン》

別表1-13 《排ガスの臭素系ダイオキシン》

別表1-14 《排ガスの酸化エチレン》

別表1-15 《排ガスの多環芳香族炭化水素》

別表1-16 《排ガスのPOPs》

別表1-17 《環境大気のPOPs》

別表2（水中の物質の濃度に係る事業）

別表2-1 《人の健康の保護に関する環境基準・地下水に係る環境基準》

別表2-2 《生活環境の保全に関する環境基準》

別表2-3 《要監視項目》

別表2-4 《公共用水域等における農薬の水質評価指針》

別表2-5 《排水基準・特定地下浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準》

別表2-6 《排水の指定物質》

別表2-7 《排出水中における悪臭物質》

別表2-8 《ゴルフ場農薬指針》

別表2-9 《トリハロメタン生成能》

別表2-10 《水の環境ホルモン》

別表2-11 《水の要調査項目等》

別表2-12 《水の環境残留物質》

別表2-13 《排水・環境水の臭素系ダイオキシン》

別表2-14 《水のP O P s》

別表2-15 《水の地域環境目標・要測定指標等》

別表3 (土壤中の物質の濃度に係る事業)

別表3-1 《土壤の汚染に係る環境基準・土壤汚染対策の溶出量基準》

別表3-2 《土壤汚染対策の含有量基準》

別表3-3 《土壤汚染対策の土壤ガス》

別表3-4 《農用地土壤汚染の特定有害物質》

別表3-5 《農用地における土壤中の重金属等の蓄積防止》

別表3-6 《土壤の環境残留物質》

別表3-7 《底質の暫定除去基準》

別表3-8 《底質の環境ホルモン》

別表3-9 《底質の要調査項目等》

別表3-10 《底質の環境残留物質》

別表3-11 《建設発生土及び水底土砂 (産業廃棄物)》

別表3-12 《建設発生土及び水底土砂 (海洋汚染廃棄物)》

別表3-13 《建設発生土及び水底土砂 (海洋投入廃棄物の油分)》

別表3-14 《土壤のT P H》

別表3-15 《土壤の臭素系ダイオキシン》

別表3-16 《底質の臭素系ダイオキシン》

別表3-17 《底質のP O P s》

別表3-18 《土壤の有機フッ素化合物》

別表4 (音圧レベルに係る事業)

別表4-1 《音圧レベル》

別表5 (振動加速度レベルに係る事業)

別表5-1 《振動加速度レベル》

〔参考〕別紙 (関係法令等一覧表)

別紙特1 (ダイオキシン類の濃度に係る事業)

別紙1 (大気中の物質の濃度に係る事業)

別紙2 (水中の物質の濃度に係る事業)

別紙3 (土壤中の物質の濃度に係る事業)

別紙4 (音圧レベルに係る事業)

別紙5 (振動加速度レベルに係る事業)

備考（1）

「測定分析方法」の欄は別紙（関係法令等一覧表）に示された適切な方法を主とし、関係法令等に定められた対象物質の中で、法定（公定）の方法が定められていないものについては、JISに定められている測定分析方法を参考として示した（概略の分析値を得る等のおおよその目安として計量する方法等は示していない）。但し、☆印はJISにおいても分析方法の記載がないものである。

JISに関しては最新の改訂年の方法を示しており年号等の表記を省略しているが、特に旧版の規格を指定している場合はカッコ内に該当年を示した。

備考（2）

「対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器」の欄は、主として検出機器について記載する。したがって、採取・濃縮等の前処理のための機器は記載していない。また、滴定装置・乾燥器等の一般的機器も記載していない。

「対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器」の欄の、機器・装置等の略号は、次のとおりである。

| 記号 | 機器・装置等の名称 |
|------|---|
| AA | 原子吸光分析装置（但し、原子吸光光度計及びフレーム原子吸光分析装置も同一のものとして取り扱う。） |
| AES | 発光分析装置（但し、発光分光分析装置(OES)等も同一のものとして取り扱う。） |
| ECD | 電子捕獲検出器 |
| ELCD | 電気伝導度検出器 |
| FID | 水素炎イオン化検出器 |
| FL | けい光光度検出器 |
| FLAA | フレームレス原子吸光分析装置（但し、電気加熱原子吸光分析装置も同一のものとして取り扱う。） |
| FPD | 炎光光度検出器 |
| FTD | アルカリ熱イオン化検出器 |
| GC | ガスクロマトグラフ |
| HPLC | 高速液体クロマトグラフ |
| IC | イオンクロマトグラフ |
| ICP | 誘導結合プラズマ装置（但し、高周波プラズマ装置等も同一のものとして取り扱う。） |
| LC | 液体クロマトグラフ |
| MS | 質量分析装置（但し、MS/MSはタンデム質量分析装置） |
| NDIR | 非分散型赤外分析装置 |
| NPD | 窒素りん検出器 |
| PID | 光イオン化検出器（但し、ランプ式以外のヘリウム ¹ ラズマ光イオン化検出器(HPID)、パリア光放電イオン化検出器(BID)も含むものとして取り扱う。） |
| SP | 吸光光度分析装置（但し、光電光度計、光電分光光度計及び分光光度計も同一のものとして取り扱う。） |
| TCD | 熱伝導度検出器 |
| UV | 紫外線吸光度検出器（紫外・可視吸光度検出器も含むものとして取り扱う。） |
| — | 一般的機器（滴定装置・乾燥器・天びん等） |

注：方法や機器・装置等に記載している「水素化物発生」は、「水素化合物発生」と同一として取り扱う。

備考（3）

年号等の略号は次のとおりである。

S：昭和、H：平成、R：令和

備考（4）

対象物質名等や測定分析方法に付記した1)、2)、3)…等は、各別表ごと最初に示した各種関係法令等の各々の番号に対応する。

另1 表

別表特1 (ダイオキシン類の濃度に係る事業)

別表特1-1-1 《一般環境大気》

ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壤の汚染に係る環境基準について（平成11年12月27日環境庁告示第68号・令和4年11月25日環境省告示第89号改正現在）

ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（令和4年3月 環境省水・大気環境局 総務課／大気環境課）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位 : pg/m³

別表特1-1-2 《排出ガス》

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（平成11年12月27日総理府令第67号・令和6年4月1日環境省令第17号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|-------------------------|------------------------|
| ダイオキシン類 | JIS K 0311(2020) GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位 : ng/m³ (標準状態)

別表特1-2-1 《公共用水域・地下水》

ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壤の汚染に係る環境基準について（平成11年12月27日環境庁告示第68号・令和4年11月25日環境省告示第89号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|-------------------------|------------------------|
| ダイオキシン類 | JIS K 0312(2020) GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位：pg/L

別表特1-2-2 《河川・湖沼・地下水》

水道原水及び浄水中のダイオキシン類調査マニュアル（平成19年11月 厚生労働省健康局水道課）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 *(1) (参考 JIS K 0312(2020) 附属書JA) | 高分解能GC-MS |

単位：pg/L

注*(1)：計量法第121条の2の認定対象の計量の方法ではない。計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-2-3 《排出水・下水》

《ダイオキシン類排出水基準》

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（平成11年12月27日総理府令第67号・令和6年4月1日環境省令第17号改正現在）

《下水の水質》

下水の水質の検定方法に関する省令（昭和37年12月17日厚生省・建設省令第1号・令和7年3月3日国土交通省・環境省令第1号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|-------------------------|------------------------|
| ダイオキシン類 | JIS K 0312(2020) GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位：pg/L

別表特1-3-1 《底質》（底質公定分析法マニュアル）

ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壤の汚染に係る環境基準について（平成11年12月27日環境庁告示第68号・令和4年11月25日環境省告示第89号改正現在）

ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（令和4年3月 環境省水・大気環境局水環境課）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位：ppt (pg/g)

別表特1-3-2 《土壤》（土壤マニュアル）

ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壤の汚染に係る環境基準について（平成11年12月27日環境庁告示第68号・令和4年11月25日環境省告示第89号改正現在）

ダイオキシン類に係る土壤調査測定マニュアル（令和4年3月 環境省水・大気環境局土壤環境課）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|-------------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 *(1) | 高分解能GC-MS |

単位：ppt (pg/g)

注*(1)：ポリ塩化ジベンゾフラン等及びコブランーポリ塩化ビフェニルをそれぞれ測定し、かつ、ポリ塩化ジベンゾフラン等の測定に2種類以上のキャリーカムを併用。

別表特1-3-3 《建設発生土及び水底土砂（産業廃棄物）》*(1)

産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法（昭和48年 2月17日環境庁告示第13号・令和 2年 3月30日環境省告示第35号改正現在）

特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成 4年 7月 3日厚生省告示第 192号・**令和 7年 3月11日環境省告示第22号改正現在**）

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（平成11年12月27日総理府令第67号・令和 6年 4月 1日環境省令第17号改正現在）

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第二項第一号の規定に基づき環境大臣が定める方法（平成16年12月27日環境省告示第80号・**令和 7年 3月11日環境省告示第23号改正現在**）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 | |
|---------|---|----------------------------|------------------------|
| ダイオキシン類 | H4 厚告第 192号及びJIS K 0311(2020) H16 環告第80号及びJIS K 0311(2020) | GC-MS法 *(2) GC-MS法 *(2) | 高分解能GC-MS 高分解能GC-MS |

単位：ppb (ng/g)

注*(1)：建設発生土と水底土砂以外は、計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2)：計量法第 121条の 2の認定対象の計量の方法ではない。計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-3-4 《建設発生土及び水底土砂（海洋汚染廃棄物）》*(1)

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法

（昭和48年 2月17日環境庁告示第14号・令和 2年 6月 4日環境省告示第56号改正現在）

特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成 4年 7月 3日厚生省告示第 192号・**令和 7年 3月11日環境省告示第22号改正現在**）

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（平成11年12月27日総理府令第67号・令和 6年 4月 1日環境省令第17号改正現在）

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第二項第一号の規定に基づき環境大臣が定める方法（平成16年12月27日環境省告示第80号・**令和 7年 3月11日環境省告示第23号改正現在**）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 | |
|-------------|---|----------------------------|------------------------|
| ダイオキシン類*(2) | H4 厚告第 192号及びJIS K 0311(2020) H16 環告第80号及びJIS K 0311(2020) | GC-MS法 *(4) GC-MS法 *(4) | 高分解能GC-MS 高分解能GC-MS |
| ダイオキシン類*(3) | S48 環告第14号第四及びJIS K 0312(2020) | GC-MS法 *(4) | 高分解能GC-MS |

単位：*(2) ppb (ng/g) 、*(3) pg/L

注*(1)：建設発生土と水底土砂以外は、計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

注*(4)：計量法第 121条の 2の認定対象の計量の方法ではない。計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-1 《降下ばいじん》 (参考) *(1)

大気降下物中のダイオキシン類測定分析指針 (平成10年 環境庁)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位 : pg/m² · day (濃度の計量単位ではない。またdayは計量単位ではない)

注*(1) : 計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-2 《作業環境》 (参考) *(1)

労働安全衛生規則 (昭和47年 9月30日労働省令第32号・令和 7年 2月19日厚生労働省令第12号改正現在)

廃棄物焼却施設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱 (平成13年 4月25日基発第 401号厚生労働省労働基準局長通達・令和 5年 3月27日基発0327第16号厚生労働省労働基準局長通達改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|----------------------------|------------------------|
| ダイオキシン類 | H13 基発第 401号別添 別紙 1 GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位 : pg/m³

注*(1) : 計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-3 《水道原水・浄水》 (参考) *(1)

水道原水及び浄水中のダイオキシン類調査マニュアル (平成19年11月 厚生労働省健康局水道課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|---------------------------------------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 (参考 JIS K 0312(2020) 附属書JA) | 高分解能GC-MS |

単位 : pg/L

注*(1) : 計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-4 《廃酸・廃アルカリ(産業廃棄物)》 (参考) *(1)

産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法 (昭和48年 2月17日環境庁告示第13号・令和 2年 3月30日環境省告示第35号改正現在)

特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法 (平成 4年 7月 3日厚生省告示第 192号・令和 7年 3月11日環境省告示第22号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|-------------------------|------------------------|
| ダイオキシン類 | JIS K 0312(2020) GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位 : pg/L

注*(1) : 計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-5 《廃酸・廃アルカリ（海洋汚染廃棄物）》（参考）*(1)

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法

（昭和48年 2月17日環境庁告示第14号・令和 2年 6月 4日環境省告示第56号改正現在）

特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成 4年 7月 3日厚生省告示第 192号・令和 7年 3月11日環境省告示第22号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|-------------------------|------------------------|
| ダイオキシン類 | JIS K 0312(2020) GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位：pg/L

注*(1)：計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-6 《食品・食事試料》（参考）*(1)

食品中のダイオキシン類の測定方法暫定ガイドライン（平成20年 2月 厚生労働省）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位：ppt (pg/g)

注*(1)：計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-7 《野生生物》（参考）*(1)

野生生物のダイオキシン類蓄積状況等調査マニュアル（平成14年 9月 環境省環境保健部環境安全課環境リスク評価室）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位：ppt (pg/g)

注*(1)：計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-8 《水生生物》（参考）*(1)

ダイオキシン類に係る水生生物調査暫定マニュアル（平成10年 9月 環境庁水質保全局水質管理課）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位：ppt (pg/g)

注*(1)：計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-9 《血液》 (参考) *(1)

血液中のダイオキシン類測定暫定マニュアル (平成12年12月22日 厚生省生活衛生局・平成19年 7月26日 厚生労働省医薬食品局審査管理課化学物質安全対策室事務連絡改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位 : ppt-fat (pg/g(fat) 但し fat は脂肪)

注*(1) : 計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-10 《母乳》 (参考) *(1)

母乳中のダイオキシン類測定暫定マニュアル (平成12年12月22日 厚生省生活衛生局・平成19年 7月26日 厚生労働省医薬食品局審査管理課化学物質安全対策室事務連絡改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位 : ppt-fat (pg/g(fat) 但し fat は脂肪)

注*(1) : 計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-11 《臍帯》 (参考) *(1)

臍帯のダイオキシン類分析に関する暫定マニュアル (平成14年10月 環境省環境保健部環境安全課環境リスク評価室)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位 : ppt-fat (pg/g(fat) 但し fat は脂肪)

注*(1) : 計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-4-12 《飼料・肥料》 (参考) *(1)

飼料中のダイオキシン類の定量法暫定ガイドライン (平成16年11月24日 16消安第5299号農林水産省消費・安全局衛生管理課長通知・平成20年 7月 1 日 20消安第3750号農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課長通知改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--------|------------------------|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

単位 : ppt (pg/g)

注*(1) : 計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-5-1 《生物検定法による排出ガスの汚染状況》（参考）*(3)

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第一項第四号の規定に基づき環境大臣が定める方法（平成17年9月14日環境省告示第92号・平成22年3月31日環境省告示第26号改正現在）

排出ガス、ばいじん及び燃え殻のダイオキシン類簡易測定法マニュアル（生物検定法）（平成22年3月 環境省水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|---|---|
| ダイオキシン類（毒性等量）*(1) | 告示第1の1 ダイオキシン類応答性組換え細胞H1L6.1c2を用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の2 ダイオキシン類応答性組換え細胞101Lを用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の3 ダイオキシン類応答性組換え細胞HeB5を用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の4 ダイオキシン類応答性組換え細胞H4 II E-lucを用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の5 ダイオキシン類応答性組換え細胞DR-EcoScreenを用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の6 抗Ah受容体複合体ポリクローナル抗体を用いた間接競合酵素免疫測定法*(2) 告示第2の1 抗ダイオキシン類モノクローナル抗体を用いた間接競合酵素免疫測定法（抗原に2,4,5-トリクロロフェノールから合成した化合物を使用）*(2) 告示第2の2 抗ダイオキシン類モノクローナル抗体を用いた直接競合酵素免疫測定法*(2) 告示第2の3 抗ダイオキシン類モノクローナル抗体を用いた間接競合酵素免疫測定法（抗原に6-(3,3',4'-トリクロロビフェニル-4-イロキシ)ヘキサン酸を使用）*(2) 告示第2の4 抗ダイオキシン類モノクローナル抗体を用いた結合平衡除外法*(2) | ルミノメーター ルミノメーター ルミノメーター ルミノメーター ルミノメーター 吸光マイクロプレートリーダー 吸光マイクロプレートリーダー 酵素免疫測定装置 吸光マイクロプレートリーダー 蛍光検出装置 |

単位：ng-TEQ/m³（標準状態での毒性等量濃度）*(1)

注*(1)：計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2)：計量法第121条の2の認定対象の計量の方法ではない。計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(3)：焼却能力が2000kg/h以上の廃棄物焼却炉の測定には適用しない。

別表特1-5-2 《生物検定法によるばいじん及び焼却灰その他の燃え殻の汚染状況》（参考）*(1)

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第一項第四号の規定に基づき環境大臣が定める方法（平成17年9月14日環境省告示第92号・平成22年3月31日環境省告示第26号改正現在）

排出ガス、ばいじん及び燃え殻のダイオキシン類簡易測定法マニュアル（生物検定法）（平成22年3月 環境省水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|---|---|
| ダイオキシン類（毒性等量）*(1) | 告示第1の1 ダイオキシン類応答性組換え細胞H1L6.1c2を用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の2 ダイオキシン類応答性組換え細胞101Lを用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の3 ダイオキシン類応答性組換え細胞HeB5を用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の4 ダイオキシン類応答性組換え細胞H4 II E-lucを用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の5 ダイオキシン類応答性組換え細胞DR-EcoScreenを用いたレポータージューアッセイ法*(2) 告示第1の6 抗Ah受容体複合体ポリクローナル抗体を用いた間接競合酵素免疫測定法*(2) 告示第2の1 抗ダイオキシン類モノクローナル抗体を用いた間接競合酵素免疫測定法（抗原に2,4,5-トリクロロフェノールから合成した化合物を使用）*(2) 告示第2の2 抗ダイオキシン類モノクローナル抗体を用いた直接競合酵素免疫測定法*(2) 告示第2の3 抗ダイオキシン類モノクローナル抗体を用いた間接競合酵素免疫測定法（抗原に6-(3,3',4'-トリクロロビフェニル-4-イロキシ)ヘキサン酸を使用）*(2) 告示第2の4 抗ダイオキシン類モノクローナル抗体を用いた結合平衡除外法*(2) | ルミノメーター ルミノメーター ルミノメーター ルミノメーター ルミノメーター 吸光マイクロプレートリーダー 吸光マイクロプレートリーダー 酵素免疫測定装置 吸光マイクロプレートリーダー 蛍光検出装置 |

単位：ng-TEQ/g（毒性等量濃度）*(1)

注*(1)：計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2)：計量法第121条の2の認定対象の計量の方法ではない。計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

別表特1-5-3 《簡易測定法による排出ガスの汚染状況》*(2)

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第一項第四号の規定に基づき環境大臣が定める方法（平成17年9月14日環境省告示第92号・平成22年3月31日環境省告示第26号改正現在）

排出ガス、ばいじん及び燃え殻のダイオキシン類簡易測定法マニュアル（機器分析法）（平成22年3月 環境省水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--|--|
| ダイオキシン類 | 告示第3の1 GC-MS法 *(1) *(3) *(4) 告示第3の2 GC-MS法 *(1) *(3) *(4) 告示第3の3 GC-MS法 *(1) *(3) *(4) | 高分解能GC-MS GC-MS(四重極形) GC-MS(三次元四重極形) |

単位：ng/m³（標準状態）

注*(1)：計量法第121条の2の認定対象の計量の方法ではない。計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2)：焼却能力が2000kg/h以上の廃棄物焼却炉の測定には適用しない。

注*(3)：抽出操作については高圧流体抽出を用いることができる。

注*(4)：ポリ塩化ジベンゾフラン等の測定において、1種類のキャピラリーカラムを用いてもよい。

別表特1-5-4 《簡易測定法によるばいじん及び焼却灰その他の燃え殻の汚染状況》*(1)

ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第一項第四号の規定に基づき環境大臣が定める方法（平成17年9月14日環境省告示第92号・平成22年3月31日環境省告示第26号改正現在）

排出ガス、ばいじん及び燃え殻のダイオキシン類簡易測定法マニュアル（機器分析法）（平成22年3月 環境省水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|--|--|
| ダイオキシン類 | 告示第3の1 GC-MS法 *(2) *(3) *(4) 告示第3の2 GC-MS法 *(2) *(3) *(4) 告示第3の3 GC-MS法 *(2) *(3) *(4) | 高分解能GC-MS GC-MS(四重極形) GC-MS(三次元四重極形) |

単位：ppb (ng/g)

注*(1)：計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2)：計量法第121条の2の認定対象の計量の方法ではない。計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(3)：抽出操作については高圧流体抽出を用いることができる。

注*(4)：ポリ塩化ジベンゾフラン等の測定において、1種類のキャピラリーカラムを用いてもよい。

別表特1-6-1 《簡易測定方法による底質》（概略範囲調査）*(2)

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく底質環境基準の施行について（平成14年 7月22日環水企第 117号・環水管第 170号 環境省環境管理局水環境部長通知）

底質のダイオキシン類簡易測定法マニュアル（令和 4年 3月 環境省水・大気環境局水環境課）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|-----------------------|---|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 *(1) *(3) *(4) | 高分解能GC-MS GC-MS(四重極形(QMS)) GC-MS(三次元四重極形、タンデム(MS/MS)) |

単位：ppt (pg/g)

注*(1)：計量法第 121条の 2の認定対象の計量の方法ではない。計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2)：環境基準に係る常時監視や詳細範囲調査及び工事完了後の調査には適用しない。

注*(3)：抽出操作については高圧流体抽出を用いることができる。

注*(4)：ポリ塩化ジベンゾフラン等の測定において、1種類のキャリーカラムを用いてもよい。

別表特1-6-2 《簡易測定方法による土壤》（環境基準）*(2)

ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壤の汚染に係る環境基準について（平成11年12月27日環境庁告示第68号・令和 4年11月25日環境省告示89号改正現在）

土壤のダイオキシン類簡易測定法マニュアル（令和 4年 3月 環境省水・大気環境局土壤環境課）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------|-----------------------|---|
| ダイオキシン類 | GC-MS法 *(1) *(3) *(4) | 高分解能GC-MS GC-MS(四重極形(QMS)) GC-MS(タンデム(MS/MS)) |

単位：ppt (pg/g)

注*(1)：計量法第 121条の 2の認定対象の計量の方法ではない。計量法第 107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2)：継続モニタリング調査には適用しない。

注*(3)：抽出操作については高圧流体抽出を用いることができる。

注*(4)：ポリ塩化ジベンゾフラン等の測定において、1種類のキャリーカラムを用いてもよい。

別表1 (大気中の物質の濃度に係る事業)

別表1-1-(1) 《環境基準・指針及び有害大気汚染物質等》その1

- 1) 大気の汚染に係る環境基準について (昭和48年 5月 8日環境庁告示第25号・平成 8年10月25日環境庁告示第73号改正現在)
- 2) 二酸化窒素に係る環境基準について (昭和53年 7月11日環境庁告示第38号・平成 8年10月25日環境庁告示第74号改正現在)
- 3) 微小粒子状物質による大気の汚染に係る環境基準について (平成21年 9月 9日環境省告示第33号)
- 4) 環境大気常時監視マニュアル (平成22年 3月31日環水大大発第100331002号、環水大自発第100331003号 環境水・大気環境局長通知)
- 5) 環境大気中の鉛・炭化水素の測定法について (昭和52年 3月29日環大企第61号環境庁大気保全局長通知)
- 6) ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について (平成 9年 2月 4日環境庁告示第 4号・平成30年11月19日環境省告示第 100号改正現在)
有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル (平成31年 3月 (令和 6年 3月改訂) 環境省水・大気環境局大気環境課・令和 5年 5月19日環水大大発第 2305191号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--|----------------------------|---|--|
| 二酸化硫黄 | S48 環告第25号 | JIS B 7952-6.2.1 紫外線蛍光法 JIS B 7952-6.2.2 溶液導電率法 | 二酸化硫黄自動計測器 |
| 一酸化炭素 | S48 環告第25号 | JIS B 7951 非分散型赤外分析法 | 二酸化硫黄自動計測器 一酸化炭素自動計測器 |
| 浮遊粒子状物質 | S48 環告第25号 | JIS Z 8813-6.2.2(1) ろ過捕集による重量濃度測定方法 JIS B 7954-5.2.1 ベータ線吸収法 JIS B 7954-5.2.2 圧電天びん法 JIS B 7954-5.2.3 光散乱法 | － 浮遊粒子状物質自動計測器 |
| 光化学オキシダント | S48 環告第25号 | JIS B 7957-5.2.3 中性よう化カリウム吸光光度法 電量法 JIS B 7957-5.2.1 紫外線吸収法 JIS B 7957-5.2.2 エチレンを用いる化学発光法 | 浮遊粒子状物質自動計測器 浮遊粒子状物質自動計測器 浮遊粒子状物質自動計測器 オキシダント自動計測器 オキシダント自動計測器 オゾン自動計測器 |
| 二酸化窒素 | S53 環告第38号 | JIS B 7953-6.2.1 オゾンを用いる化学発光法 JIS B 7953-6.2.2 ザルツマン試薬を用いる吸光光度法 | オゾン自動計測器 オゾン自動計測器 窒素酸化物自動計測器 窒素酸化物自動計測器 |
| 微小粒子状物質(PM2.5) | H21 環告第33号 | JIS Z 8851 ろ過捕集による質量濃度測定方法 等価な値が得られる自動測定機による方法 ベータ線吸収法 フィルター振動法 光散乱法 | － 微小粒子状物質自動計測器 微小粒子状物質自動計測器 微小粒子状物質自動計測器 AA |
| 鉛 炭化水素 | S52 環大企第61号 S52 環大企第61号 | 記第一 ろ過捕集原子吸光法 記第二 JIS B 7956-6.4.1 非メタン炭化水素(直接法)測定方式 JIS B 7956-6.4.2 非メタン炭化水素(差量法)測定方式 | 炭化水素自動計測器 炭化水素自動計測器 |
| ベンゼン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ジクロロメタン | H9 環告第 4号 | 別表 キャニスター採取 GC-MS法 捕集管採取－加熱脱着 GC-MS法 捕集管採取－溶媒抽出 GC-MS法 | キャニスター試料導入装置及び GC-MS 加熱脱着装置及び GC-MS GC-MS |

別表1-1-(2) 《環境基準・指針及び有害大気汚染物質等》その2

6) 有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／PAHsの測定方法マニュアル（平成31年3月（令和6年3月改訂） 環境省水・大気環境局大気環境課・令和5年5月19日環水大大発第2305191号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|---|---|---|
| 揮発性有機化合物(VOCs) アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、塩化メチル、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、トルエン、1,3-ブタジエン、ヘンゼン、アクリル酸エチル、アクリル酸メチル、イソブレン、イソブロヘンベンゼン、エチルベンゼン、エピクロロヒドリン、塩化アリル、塩化ベンジル、キシリソ類（o-キシリソ、m-キシリソ、p-キシリソ）、クロロジブロモメタン、クロロベンゼン、3-クロロ-2-メチル-1-ブロベンゼン、酢酸ビニル、四塩化炭素、1,4-ジオキサン、1,2-ジクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロブロベンゼン、ジクロロブロモメタン、o-ジクロロベンゼン、p-ジクロロベンゼン、スチレン、1,1,2,2-テトラクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,2,3-トリクロロブロベンゼン、1,2,4-トリクロロベンゼン、二臭化エチレン、二硫化炭素、4-ヒニル-1-シクロヘキサン、1-ブロモブロベンゼン、2-ブロモブロベンゼン、ブロモホルム、ブロモメタン（臭化メチル）、n-ヘキサン、メタクリル酸メチル、 クロロエタン、 1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC142b)、 クロロジフルオロメタン(HCFC22)、 ジクロロジフルオロメタン(CFC12)、 ジクロロテトラフルオロエタン(CFC114)、 2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン(HCFC123)、 1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(HCFC141b)、 1,1-ジクロロ-2,2,3,3,3-ヘンタフルオロブロベンゼン(HCFC225ca)、 1,3-ジクロロ-1,2,2,3,3-ヘンタフルオロブロベンゼン(HCFC225cb)、 トリクロロトリフルオロエタン(CFC113)、 トリクロロフルオロメタン(CFC11)、 1,3-ジクロロブロベンゼン、1,1,1-トリクロロエタン、トリメチルベンゼン類（1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン）、 酢酸エチル、1,1-ジクロロエタン | 容器採取-GC-MS法（多成分同時測定方法） 固体吸着-加熱脱着-GC-MS法 (塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレンのみ) 固体吸着-溶媒抽出-GC-MS法 (クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、ヘンゼンのみ) | キャニスター試料導入装置及び GC-MS 加熱脱着装置及び GC-MS GC-MS |

別表1-1-(3) 《環境基準・指針及び有害大気汚染物質等》その3

6)有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル（平成31年3月（令和6年3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課・令和5年5月19日環水大大発第2305191号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--|------------------|----------------------|
| 高極性揮発性有機化合物 2-エトキシエタノール エピクロロヒドリン 1,4-ジオキサン N,N-ジメチルホルムアミド 2-n-ブトキシエタノール 2-メトキシエタノール | 固体吸着－溶媒抽出－GC-MS法 | GC-MS |
| 揮発性及び半揮発性有機化合物 ナフタレン 1-メチルナフタレン 2-メチルナフタレン ビフェニル ベンゾトリクロライド 1,2,4-トリクロロベンゼン | 固体吸着－溶媒抽出－GC-MS法 | GC-MS |

別表1-1-(4) 《環境基準・指針及び有害大気汚染物質等》その4

6)有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル（平成31年3月（令和6年3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課・令和6年3月28日環水大管発第2403282号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------------------|--|---|
| アルデヒド類 ホルムアルデヒド アセトアルデヒド | 固相捕集－HPLC法 固相捕集－GC法 固相捕集－GC-MS法 固相捕集－LC-MS法 溶液吸収－HPLC法 | HPLC(UV) GC(FTD) GC-MS LC-MS HPLC(UV) |
| 酸化エチレン 酸化プロピレン | 固相捕集－溶媒抽出－GC-MS法 | GC-MS |

別表1-1-(5) 《環境基準・指針及び有害大気汚染物質等》その5

6) 有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル（平成31年3月（令和6年3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課・令和5年5月19日環水大大発第2305191号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--|--|----------------------|
| 粉じん中の多環芳香族炭化水素(PAHs) ベンゾ[a]ピレン ベンゾ[e]ピレン ベンゾ[b]フルオランテン ベンゾ[j]フルオランテン ベンゾ[k]フルオランテン ジベンゾ[a, h]アントラセン インデノ[1, 2, 3-cd]ピレン ベンゾ[ghi]ペリレン ジベンゾ[a, e]ピレン ジベンゾ[a, h]ピレン ジベンゾ[a, i]ピレン ジベンゾ[a, l]ピレン | フィルタ捕集-HPLC法*(1) フィルタ捕集-GC-MS法（ベンゾ[a]ピレンのみ） | HPLC(FL) GC-MS |
| 多環芳香族炭化水素(PAHs) フェナントレン アントラセン フルオランテン ピレン ベンゾ[a]アントラセン クリセン ベンゾ[b]フルオランテン ベンゾ[j]フルオランテン ベンゾ[k]フルオランテン ベンゾ[e]ピレン ベンゾ[a]ピレン インデノ[1, 2, 3-cd]ピレン ジベンゾ[a, h]アントラセン ベンゾ[ghi]ペリレン | フィルタ／固相吸着捕集-GC-MS法（多成分測定方法） | GC-MS |

注*(1)：粉じん中の多環芳香族炭化水素(PAHs)と粉じん中の重金属類の同時採取もできる。

別表1-1-(6) 《環境基準・指針及び有害大気汚染物質等》その6

6) 有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル（平成31年3月（令和6年3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課・令和5年5月19日環水大大発第2305191号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|---|---|--|
| 粉じん中の重金属類 ニッケル マンガン クロム ベリリウム ひ素 カドミウム 鉛 亜鉛 アンチモン 銀 コバルト セレン 銅 バナジウム スズ モリブデン バリウム チタン セリウム インジウム タリウム | フィルタ捕集－ICP 質量分析法（多元素同時測定方法）*(2) フィルタ捕集－ICP 発光分析法 (ニッケル、マンガン、クロム、ベリリウムのみ) フィルタ捕集－電気加熱原子吸光法 (ニッケル、マンガン、クロム、ベリリウムのみ) フィルタ捕集－フレーム原子吸光法 (ニッケル、マンガン、クロムのみ) フィルタ捕集－水素化物発生原子吸光法 (ひ素のみ) フィルタ捕集－水素化物発生ICP 発光分析法 (ひ素のみ) フィルタ捕集－ジフェニルカルバジド吸光光度法 (クロムのみ) | ICP-MS ICP-AES FLAA AA 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES SP |
| 粉じん中の六価クロム*(3) 水銀 ほう素 | アルカリ含浸フィルタ捕集－IC－ICP 質量分析法 アルカリ含浸フィルタ捕集－IC－ポストカラム吸光光度法 金アマルガム捕集－加熱気化冷原子吸光法 フィルタ／吸収液捕集－ICP 質量分析法 | IC及びICP-MS IC（吸光光度検出器） 加熱気化装置及び水銀原子吸光分析装置又はAA ICP-MS |

注*(2)：粉じん中の重金属類と粉じん中の多環芳香族炭化水素(PAHs)の同時採取もできる。

注*(3)：粉じん中のクロム及び三価クロムについては、粉じん中の全クロム濃度と粉じん中の六価クロム濃度より、計算により算出する。粉じん中の三価クロム（水抽出クロム）については、全クロム測定用のフィルタを用いて、水抽出後にクロムの測定方法による。

別表1-1-(7) 《環境基準・指針及び有害大気汚染物質等》その7

6) 有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル（平成31年3月（令和6年3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課・令和5年5月19日環水大大発第2305191号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--|-----------------------|----------------------|
| 芳香族アミン類 o-トルイジン m-トルイジン p-トルイジン アニリン N-メチルアニリン o-アニシジン p-アニシジン o-フェネチジン p-フェネチジン 2, 3-ジメチルアニリン 2, 4-ジメチルアニリン 2, 5-ジメチルアニリン 2, 6-ジメチルアニリン 3, 4-ジメチルアニリン | 酸含浸フィルタ捕集－溶媒抽出－GC-MS法 | GC-MS |

別表1-2-(1) 《ばい煙・水銀等》その1

1) 大気汚染防止法施行規則(昭和46年 6月22日厚生省・通産省令第1号・令和7年 2月17日環境省令第4号改正現在)

2) 硫黄酸化物の量の測定法(昭和57年 7月 3日環境庁告示第76号・令和2年 3月30日環境省告示第35号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 | |
|----------------|--|---|--|
| ばいじん いおう酸化物 | S46 厚・通令第1号 S46 厚・通令第1号 (S57 環告第76号) | 別表第二 JIS Z 8808 ろ過捕集による重量濃度測定方法 別表第一 JIS K 0103-7.1 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0103-7.2 沈殿滴定法(アルセナゾⅢ法) JIS K 0103 附属書A 沈殿滴定法(トリン法) JIS K 0103 附属書JA 比濁法(光散乱法) JIS K 0103 附属書JB 中和滴定法 JIS K 0103 附属書JC イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0103 附属書JD イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.1 溶液導電率方式*(1) JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.2 赤外線吸収方式*(1) JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.3 紫外線吸収方式*(1) JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.4 紫外線蛍光方式*(1) JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.5 干渉分光方式*(1) JIS K 0103-8. JIS B 7981附属書1 定電位電解方式*(1) | — IC — — SP(波長420nm付近の吸光度) — IC IC 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 AA FLAA ICP-AES ICP-MS SP SP IC SP IC — 塩化水素連続測定装置 IC IC 電位差計、塩化物イオン電極及び参照電極 SP 電位差計、ふっ化物イオン電極及び参照電極 IC IC |
| カドミウム及びその化合物 | S46 厚・通令第1号 | 別表第三 JIS K 0083-7.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0083-7.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0083-7.4 ICP 発光分析法 JIS K 0083-7.5 ICP 質量分析法 | — FLAA ICP-AES ICP-MS SP |
| 塩素 | S46 厚・通令第1号 | 別表第三 JIS K 0106-7.1 ABTS吸光光度法 JIS K 0106-7.2 PCP 吸光光度法 JIS K 0106-7.3 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0106 附属書A o-トリジン吸光光度法 | — SP SP IC SP |
| 塩化水素 | S46 厚・通令第1号 | 別表第三 JIS K 0107-7.1 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0107-7.2 硝酸銀滴定法 JIS K 0107-8. JIS B 7984 イオン電極連続分析法 JIS K 0107 附属書A イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0107 附属書B イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0107 附属書C イオン電極法 | — 塩化水素連続測定装置 IC IC — IC |
| 弗素、弗化水素、弗化珪素 | S46 厚・通令第1号 | 別表第三 JIS K 0105-7.1 ランタンアリザリンコンペキソン吸光光度法 JIS K 0105-7.2 イオン電極法 JIS K 0105-7.3 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0105 附属書JA イオンクロマトグラフ同時分析法 | 電位差計、塩化物イオン電極及び参照電極 SP 電位差計、ふっ化物イオン電極及び参照電極 IC IC |

注*(1) : 二酸化硫黄の測定のみである。

別表1-2-(2) 《ばい煙・水銀等》その2

- 1) 大気汚染防止法施行規則（昭和46年 6月22日厚生省・通産省令第1号・令和7年 2月17日環境省令第4号改正現在）
- 3) 窒素酸化物の量の測定法（昭和57年 3月29日環境庁告示第48号・令和2年 3月30日環境省告示第35号改正現在）
- 4) 窒素酸化物に係るばい煙濃度の測定法（昭和57年 3月29日環境庁告示第49号・平成12年12月14日環境庁告示第78号改正現在）
- 5) 大気汚染防止法施行規則第十五条第五号ただし書きに規定する特定工場等に設置されているばい煙発生施設に係る窒素酸化物に係るばい煙濃度の測定（昭和57年 3月29日環境庁告示第50号）
- 6) 大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令の施行について（平成22年 8月 4日環水大大発第100804001号 環境省水・大気環境局大気環境課長通知）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 | |
|----------|---|--|---|
| 鉛及びその化合物 | S46 厚・通令第1号 | 別表第三 JIS K 0083-8.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0083-8.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0083-8.4 ICP 発光分析法 JIS K 0083-8.5 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 窒素酸化物 | S46 厚・通令第1号 (S57 環告第48号) (S57 環告第49号) (S57 環告第50号) | 別表第三の二 JIS K 0104-7.1 Zn-NEDA法 JIS K 0104-7.2 NEDA法 JIS K 0104-7.3 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0104-7.4 PDS法 JIS K 0104-7.5 ザルツマン吸光光度法*(2) JIS K 0104 附属書JA イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.1 差分光吸收方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.2 化学発光方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.3 赤外線吸収方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.4 紫外線吸収方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982 附属書1 定電位電解方式 | SP (亜鉛還元ナフチルエチレンジアミン吸光光度法) SP (ナフチルエチレンジアミン吸光光度法) IC SP (フェノールジスルホン酸吸光光度法) SP IC 窒素酸化物自動計測器 窒素酸化物自動計測器 窒素酸化物自動計測器 窒素酸化物自動計測器 窒素酸化物自動計測器 オルザット式分析装置 GC(TCD又はPID(ランプ式を除くヘリウムプロズマ光イオン化検出器(HPID)、パリア光放電イオン化検出器(BID))) |
| 酸素*(3) | H22 環水大大発第100804001号 | JIS K 0301-7.1 ガス吸収法(オルザット式) JIS K 0301-7.2 ガスクロマトグラフ法 JIS K 0301-8. JIS B 7983-6.3.1 磁気風方式 JIS K 0301-8. JIS B 7983-6.3.2 磁気力方式 JIS K 0301-8. JIS B 7983-6.3.3 ジルコニア方式 JIS K 0301-8. JIS B 7983-6.3.4 電極方式 | 酸素自動計測器 酸素自動計測器 酸素自動計測器 酸素自動計測器 |

注*(2) : 二酸化窒素の測定のみである。

注*(3) : 大気汚染防止法施行規則の規制対象物質ではない。

別表1-2-(3) 《ばい煙・水銀等》その3

7) 排出ガス中の水銀測定法 (平成28年9月26日環境省告示第94号・令和4年9月22日環境省告示第75号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--------------|------------|--|
| 全水銀 ガス状水銀 | H28 環告第94号 | 水銀還元気化装置及びAA又は水銀用AA 水銀還元気化装置及びAA又は水銀用AA |
| 粒子状水銀 | H28 環告第94号 | 水銀還元気化装置及びAA又は水銀用AA 水銀加熱気化装置及びAA又は水銀用AA 水銀還元気化装置及びAA又は水銀用AA 水銀加熱気化装置及びAA又は水銀用AA 水銀還元気化装置及びAA又は水銀用AA 水銀加熱気化装置及びAA又は水銀用AA 水銀還元気化装置及びAA又は水銀用AA 水銀加熱気化装置及びAA又は水銀用AA |

別表1-3 《特定粉じん》

1) 石綿に係る特定粉じんの濃度の測定法 (平成元年12月27日環境庁告示第93号・令和2年3月30日環境省告示第35号改正現在)

2) アスベストモニタリングマニュアル (令和4年3月 環境省水・大気環境局大気環境課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--------|-------------------------|-----------------------|
| 石綿*(1) | H1 環告第93号 別表 ろ過捕集顕鏡法 | 光学顕微鏡 (位相差顕微鏡及び生物顕微鏡) |

注*(1) : 計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

別表1-4 《指定物質》

- 1) 大気汚染防止法附則第九項の規定に基づく指定物質抑制基準（平成9年2月6日環境庁告示第5号及び平成9年2月6日環境庁告示第6号）
 2) 有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル（平成31年3月（令和6年3月改訂） 環境省水・大気環境局大気環境課・令和5年5月19日環水大大発第2305191号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | | | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|------------|------------|--|--|----------------------|
| ベンゼン | H9 環告第5号備考 | GC-MS法 | | GC-MS |
| トリクロロエチレン | H9 環告第6号備考 | GC-ECD法（ベンゼンは除く） | | GC(ECD) |
| テトラクロロエチレン | | GC-FID法 | | GC(FID) |
| | | JIS K 0088-6.1 GC法（ベンゼンのみ） | | GC(FID) |
| | | JIS K 0305-7 GC法（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンのみ） | | GC(FID又はECD) |

別表1-5-(1) 《揮発性有機化合物》その1

大気汚染防止法施行規則第十五条の二及び第十五条の三第一号に規定する揮発性有機化合物濃度の測定法（平成17年6月10日環境省告示第61号）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | | | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|---|-----------------------------------|--------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 揮発性有機化合物 | H17 環告第61号 | 別表第1 NDIR法 FID法 | | 触媒酸化－非分散形赤外線分析計 水素炎イオン化形分析計 |
| 除外物質 | | | | |
| メタン | H17 環告第61号 | 別表第2 GC-FID法 | | GC(FID) |
| クロロフルオロメタン (HCFC-22)、 2-クロロ-1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン(HCFC-124)、 1, 1-ジクロロ-1-フルオロエタン(HCFC-141b)、 1-クロロ-1, 1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)、 3, 3-ジクロロ-1, 1, 1, 2, 2-ヘンタフルオロブロハノン(HCFC-225ca)、 1, 3-ジクロロ-1, 2, 2, 3, 3-ヘンタフルオロブロハノン(HCFC-225cb)、 1, 1, 1, 2, 3, 4, 4, 5, 5, 5-ヘンタフルオロヘンタ(HFC-43-10mee) | 別表第3 GC-FID法 GC-ECD法 GC-MS法 | | GC(FID) GC(ECD) GC-MS | |

別表1-5-(2) 《揮発性有機化合物》その2

環境大気中の揮発性有機化合物 (VOC) 濃度モニタリングに係る測定方法マニュアル (平成20年 3月 環境省水・大気環境局大気環境課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--|-------------------------------------|--|
| アセトン イソプロピルアルコール メチルエチルケトン 酢酸エチル n-ブタノール メチルイソブチルケトン 酢酸ブチル トルエン m-キシレン p-キシレン o-キシレン 1,3,5-トリメチルベンゼン デカン ジクロロメタン n-ブタン イソブタン トリクロロエチレン n-ヘキサン n-ペンタン cis-2-ブテン ウンデカン | 固体吸着-加熱脱着 GC-MS法 容器採取 GC-MS法 | 加熱脱着装置及び GC-MS キャニスター試料導入装置及び GC-MS |

別表1-6 《自動車排出ガス要請限度》

大気汚染防止法第二十一条第一項の規定に基づく自動車排出ガスによる大気の汚染の限度を定める省令（昭和46年 6月23日総理府・厚生省令第2号・平成12年 8月14日総理府令第94号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--------|----------------------------------|----------------------|
| 一酸化炭素 | S46 総・厚令第2号 JIS B 7951 非分散型赤外分析法 | 一酸化炭素自動計測器 |

別表1-7-(1) 《特定物質》その1

大気汚染防止法施行令（昭和43年11月30日政令第329号・令和3年9月29日政令第275号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|---------------|---|---|
| アンモニア | JIS K 0099-8.1 インドフェノール青吸光光度法 JIS K 0099-8.2 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0099 附属書A インドフェノール青吸光光度法における共存する硫黄酸化物などが妨害する場合の分析方法 | SP IC SP |
| 弗化水素 | JIS K 0105-7.1 ランタンーアリザリンコンプレキソン吸光光度法 JIS K 0105-7.2 イオン電極法 JIS K 0105-7.3 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0105 附属書JA イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0085 附属書A イオンクロマトグラフ同時分析法 | SP 電位差計、ふつ化物イオン電極及び参照電極 IC IC IC |
| シアノ化水素 | JIS K 0109-7.1 GC法 JIS K 0109-7.2 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0109 附属書A イオン電極法 JIS K 0109 附属書B イオンクロマトグラフ法 | GC(FTD) SP 電位差計、シアノ化物イオン電極及び参照電極 IC |
| 一酸化炭素 | JIS K 0098-7.1 ガスクロマトグラフ法 | GC(TCD、PID(ランフ [®] 式を除くヘリウム [®] ラズマ光イオン化検出器(HPID)、パリア光放電イオン化検出器(BID))、又はメタン化反応装置付FID) |
| ホルムアルデヒド | JIS K 0098-8. JIS B 7987 赤外線吸収方式 JIS K 0098-8. JIS B 7987 定電位電解方式 JIS K 0303-8.1 ほう素吸収瓶捕集 AHMT吸光光度法 JIS K 0303-8.2 DNPH吸収瓶捕集 GC法 JIS K 0303-8.3 DNPHカートリッジ捕集 GC法 JIS K 0303-8.4 DNPH吸収瓶捕集 HPLC法 JIS K 0303-8.5 DNPHカートリッジ捕集 HPLC法 JIS K 0303-8.6 CEBHAカートリッジ捕集 HPLC法 JIS K 0303-8.7 AHMT吸光光度自動分析法 JIS K 0303 附属書A イオンクロマトグラフ法 JIS K 0303 附属書B クロモトロープ酸吸光光度法 | 一酸化炭素自動計測器 一酸化炭素自動計測器 SP GC(FID) GC(FID) HPLC(UV) HPLC(UV) HPLC(UV) HPLC(UV) ホルムアルデヒド自動計測器 IC SP |
| メタノール 硫化水素 | ☆ JIS K 0108-8. GC法 JIS K 0108-9. メチレンブルー吸光光度法 JIS K 0108-10. イオン電極法 | GC(FPD、TCD又は原子発光検出器) SP 電位差計、硫化銀形銀イオン電極及び参照電極 |
| 燐化水素 | ☆ | |

☆印は、法定（公定）の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、衛生試験法等を参考として下さい。

別表1-7-(2) 《特定物質》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--------|--|--|
| 塩化水素 | JIS K 0107-7.1 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0107-7.2 硝酸銀滴定法 JIS K 0107-8. JIS B 7984 イオン電極連続分析法 JIS K 0107 附属書A イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0107 附属書B イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0107 附属書C イオン電極法 JIS K 0085 附属書A イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0105 附属書JA イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0104-7.5 ザルツマン法 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.1 差分光吸収方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.2 化学発光方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.3 赤外線吸収方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.4 紫外線吸収方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982 附属書1 定電位電解方式 JIS K 0089-5.1 GC法 | IC — 塩化水素自動計測器 IC IC 電位差計、塩化物イオン電極及び参照電極 IC IC SP |
| 二酸化窒素 | JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.1 差分光吸収方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.2 化学発光方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.3 赤外線吸収方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982-5.4.4 紫外線吸収方式 JIS K 0104-8. JIS B 7982 附属書1 定電位電解方式 JIS K 0089-5.1 GC法 | 窒素酸化物自動計測器 窒素酸化物自動計測器 窒素酸化物自動計測器 窒素酸化物自動計測器 窒素酸化物自動計測器 GC(FID) |
| アクロレイン | JIS K 0089-5.2 ヘキシリゾルシノール吸光光度法 JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.1 溶液導電率方式 JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.2 赤外線吸収方式 JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.3 紫外線吸収方式 JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.4 紫外線蛍光方式 JIS K 0103-8. JIS B 7981-5.4.5 干渉分光方式 JIS K 0103-8. JIS B 7981 附属書1 定電位電解方式 JIS K 0106-7.1 ABTS吸光光度法 JIS K 0106-7.2 PCP吸光光度法 JIS K 0106-7.3 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0106 附属書A o-トリジン吸光光度法 JIS K 0091-5.1 ジエチルジチオカルバミン酸銅吸光光度法 | SP 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 二酸化硫黄自動計測器 SP SP IC SP SP |
| 塩素 | JIS K 0091-5.2 GC法 JIS K 0088-6.1 GC法 JIS K 0088-6.2 ジニトロベンゼン吸光光度法 JIS K 0087-5.1 ジアミノスチルベン-ジスルホン酸吸光光度法 JIS K 0087-5.2 GC法 JIS K 0086-5.1 GC法 JIS K 0086-5.2 4-アミノアンチピリン吸光光度法 JIS K 0086-5.3 紫外吸光光度法 | GC(FPD) GC(FID) SP SP GC(FID) GC(FID) SP SP SP (波長220 ~ 340nm を測定できる) |
| 二硫化炭素 | | |
| ベンゼン | | |
| ピリジン | | |
| フェノール | | |

別表1-7-(3) 《特定物質》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--------------|---|---|
| 硫酸(三酸化硫黄を含む) | JIS K 0103-7.1 準拠 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0103-7.2 準拠 沈殿滴定法(アルセナゾⅢ法) JIS K 0103 附属書A 準拠 沈殿滴定法(トリン法) JIS K 0103 附属書JA 準拠 比濁法(光散乱法) JIS K 0103 附属書JB 準拠 中和滴定法 JIS K 0103 附属書JC 準拠 イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0103 附属書JD 準拠 イオンクロマトグラフ同時分析法 | IC — — SP(波長420nm付近の吸光度) — |
| 弗化珪素 | JIS K 0105-7.1 ランタン-アリザリンコンプレキソン吸光光度法 JIS K 0105-7.2 イオン電極法 JIS K 0105-7.3 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0105 附属書JA イオンクロマトグラフ同時分析法 | IC IC SP 電位差計、ふっ化物イオン電極及び参照電極 |
| ホスゲン | JIS K 0085 附属書A イオンクロマトグラフ同時分析法 | IC |
| 二酸化セレン | JIS K 0090-5. ジフェニル尿素紫外吸光光度法 JIS K 0083-15.2 3,3'-ジアミノベンジジン吸光光度法 JIS K 0083-15.3 水素化合物発生原子吸光法 JIS K 0083-15.4 電気加熱原子吸光法 JIS K 0083-15.5 ジアミノナフタレン蛍光光度法 JIS K 0083-15.6 水素化合物発生 ICP発光分析法 JIS K 0083-15.7 ICP 質量分析法 JIS K 0083-15.8 水素化合物発生 ICP質量分析法 | IC IC IC 紫外分光光度計 SP 水素化物発生装置及びAA FLAA 蛍光光度計 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS 水素化物発生装置及びICP-MS |
| クロルスルホン酸 | ☆ | |
| 黄燐 | ☆ | |
| 三塩化燐 | ☆ | |
| 臭素 | JIS K 0085-7.1 チオ硫酸滴定法 JIS K 0085-7.2 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0085 附属書A イオンクロマトグラフ同時分析法 JIS K 0105 附属書JA イオンクロマトグラフ同時分析法 | — IC IC IC |
| ニッケルカルボニル | ☆ | |
| 五塩化燐 | ☆ | |
| メルカプタン | JIS K 0092-5.1 ジメチルフェニレンジアミン吸光光度法 JIS K 0092-5.2 GC法 | SP GC(FPD) |

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、衛生試験法等を参考として下さい。

別表1-8 《悪臭物質》

特定悪臭物質の測定の方法 (昭和47年 5月30日環境庁告示第9号・令和7年 3月31日環境省告示第45号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|---------------------------------|
| アンモニア | 別表第1 第1吸光光度法 第2イオンクロマトグラフ法 (JIS K 0099-8.2) 第3JIS K 0099-8.1 インドフェノール青吸光光度法 JIS K 0099-8.2 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0099 附属書A インドフェノール青吸光光度法における共存する 硫黄酸化物などが妨害する場合の分析方法 | SP IC SP IC SP |
| メルメルカブタン、硫化水素、 硫化メチル、二硫化メチル | 別表第2 第1GC法(低温濃縮捕集) 第2GC法(直接注入又は低温濃縮捕集) | GC(FPD) GC(FPD) |
| トリメチルアミン | 別表第3 GC法(液体捕集・分解・濃縮) | GC(FID) |
| アセトアルデヒド、フロビオンアルデヒド、 ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、 ノルマルバケルアルデヒド、イソバケルアルデヒド | 別表第4 第1GC法(2,4-ジニトロフェニルヒドラジン捕集) 第2GC-MS法(常温吸着捕集・低温濃縮) 第3HPLC法(2,4-ジニトロフェニルヒドラジン捕集) | GC(FTD) GC-MS HPLC(UV) |
| イソブタノール | 別表第5 GC法(低温濃縮捕集) (別表第5備考1 GC法(直接注入)) | GC(FID) (GC(FID)) |
| 酢酸エチル、メチルイソブチルケトン | 別表第6 第1低温濃縮法GC法 第2常温吸着法GC法 (別表第6備考1 GC法(直接注入)) | GC(FID) GC(FID) (GC(FID)) |
| トルエン、キシレン、スチレン | 別表第7 第1低温濃縮法GC法 第2常温吸着法GC法 (別表第7備考1 GC法(直接注入)) | GC(FID) GC(FID) (GC(FID)) |
| フロビオン酸、ノルマル酪酸、 ノルマル吉草酸、イソ吉草酸 | 別表第8 GC法(アルカリビーズ捕集) | GC(FID) |
| イソブタノール、酢酸エチル、 メチルイソブチルケトン、トルエン、キシレン | 別表第9 GC法(常温吸着捕集・溶媒抽出) (別表第9備考1 GC法(直接注入)) | GC(FID) (GC(FID)) |
| イソブタノール、酢酸エチル、 メチルイソブチルケトン、トルエン、キシレン、 スチレン | 別表第10 GC-MS法(常温吸着捕集・溶媒抽出)*(1) (別表第10備考1 GC-MS法(直接注入)*(1)) | GC-MS (GC-MS) |

注*(1)：測定用質量となるモニターアイオンは、環境省ホームページに掲載の「特定悪臭物質測定マニュアル マニュアル改正」を参照。

別表1-9-(1) 《PM2.5の成分等》その1

大気中微小粒子状物質 (PM2.5) 成分測定マニュアル (平成24年 4月19日環水大大発第120419002号、環水大自発第120419001号 環境省水・大気環境局大気環境課長 自動車環境対策課長通知・令和元年 5月14日環水大大発第 1905145号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|---|---|---|
| イオン成分 塩化物イオン、硝酸イオン、硫酸イオン、アンモニウムイオン、ナトリウムイオン、カリウムイオン、マグネシウムイオン、カルシウムイオン | フィルタ捕集－イオンクロマトグラフ法 | IC |
| 無機元素成分 ナトリウム、アルミニウム、ケイ素、カリウム、カルシウム、スカンジウム、チタン、バナジウム、クロム、マンガン、鉄、コバルト、ニッケル、銅、亜鉛、ヒ素、セレン、ルビジウム、モリブデン、カドミウム、スズ、アンチモン、セシウム、バリウム、ランタン、セリウム、サマリウム、ハフニウム、タンタル、タンクステン、鉛、トリウム | フィルタ捕集－ICP 質量分析法（多元素同時測定法）（ケイ素は除く） (フィルタ捕集－ICP発光分析法) *(1) フィルタ捕集－エネルギー分散型蛍光X線分析法（非破壊多元素同時測定法）*(2) | ICP-MS (ICP-AES *(1)) エネルギー分散型蛍光X線分析計 (EDXRF) |
| 炭素成分 有機炭素、元素状炭素、全炭素 | フィルタ捕集－サーマルオプティカル・リフレクタンス法 | 炭素分析装置（熱分離・光学補正法） |

注*(1)：比較的高濃度で存在するアルカリ金属、アルカリ土類金属等に用いてよい（有害大気汚染物質測定方法マニュアル等を参考）。

注*(2)：測定項目は、検量線法にて用いる「標準試料」に含まれる元素の種類や、分析条件の設定により異なる。この他にリン、硫黄、塩素、臭素等も測定可能。

別表1-9-(2) 《PM2.5の成分等》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--|--|--|
| 水溶性有機炭素 | フィルタ捕集－水抽出－TOC計による方法 フィルタ捕集－水抽出－炭素分析装置による方法 | TOC分析装置（燃焼酸化・赤外線分析法(NP0C法)) 炭素分析装置（熱分離・光学補正法） |
| レボグルコサン | フィルタ捕集－誘導体化－GC-MS法 | GC-MS |
| 多環芳香族炭化水素(PAH) フルオランテン、ヒレン、ペンゾ ^a [a] アントラゼン、クリセン、ペンゾ ^b [b] フルオランテン、ペンゾ ^j フルオランテン、ペンゾ ^k フルオランテン、ペンゾ ^e ヒレン、ペンゾ ^a ヒレン、ジペンゾ ^{a, h} アントラゼン、インテノ ^{1, 2, 3-cd} ヒレン、ペンゾ ^{ghi} ヒリエン、ジペンゾ ^{a, e} ヒレン、ジペンゾ ^{a, h} ヒレン、ジペンゾ ^{a, i} ヒレン、ジペンゾ ^{a, l} ヒレン | フィルタ捕集－HPLC法 フィルタ捕集－GC-MS法 | HPLC GC-MS |
| 二次生成有機粒子 コハク酸、ピノン酸 | フィルタ捕集－誘導体化－GC-MS法 *(3) | GC-MS |

注*(3)：環境省ホームページに掲載の「一次発生及び二次生成有機粒子の指標物質の測定方法」による（レボグルコサンとの同時分析が可能）。

別表1-9-(3) 《PM2.5の成分等》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|----------------------------------|--|----------------------|
| ガス成分 *(4) 二酸化硫黄、硝酸、塩化水素、アンモニア | フィルタパック捕集－イオンクロマトグラフ法 デニューダ捕集－イオンクロマトグラフ法 | IC IC |

注*(4)：微小粒子状物質(PM2.5)に含まれる成分ではない。同時にPTFEフィルタで捕集したエアロゾル成分は、「イオン成分」の方法にて分析する。

別表1-10 《航空防除農薬》

航空防除農薬に係る気中濃度評価値（平成 9年12月 環境庁水質保全局）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|---------------|-------------------|------------------------|
| ダイアジノン | 別添 GC法 GC-MS 法 | GC(FTD又は NPD) GC-MS |
| ピリダフエンチオン | GC法 GC-MS 法 | GC(FTD又は NPD) GC-MS |
| フェニトロチオン(MEP) | GC法 GC-MS 法 | GC(FTD又は NPD) GC-MS |
| マラチオン | GC法 GC-MS 法 | GC(FTD又は NPD) GC-MS |
| フェノブカルブ(BPMC) | GC法 GC-MS 法 | GC(FTD又は NPD) GC-MS |
| トリシクラゾール | GC法 GC-MS 法 | GC(FTD又は NPD) GC-MS |
| フサライド | GC法 GC-MS 法 | GC(ECD) GC-MS |
| ブプロフェジン | GC法 GC-MS 法 | GC(FTD又は NPD) GC-MS |
| フルトラニル | GC法 GC-MS 法 | GC(FTD又は NPD) GC-MS |
| メプロニル | GC法 GC-MS 法 | GC(FTD又は NPD) GC-MS |

別表1-11 《大気の環境ホルモン》

平成12年度内分泌搅乱化学物質大気環境調査結果（平成13年10月環境省環境管理局大気環境課）

外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル（平成10年10月 日環水管第278号 環境庁水質保全局水質管理課長通知）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|------------|------------------------|
| p, p'-DDT ヘプタクロル trans-クロルデン cis-クロルデン | II GC-MS 法 | GC-MS |

別表1-12 《環境大気の臭素系ダイオキシン》

ポリブロモジベンゾーパラージオキシン及びポリブロモジベンゾフランの暫定調査方法（平成19年3月 環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|---------|------------------------|
| 臭素系ダイオキシン（4～8臭素化） | GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |

別表1-13 《排ガスの臭素系ダイオキシン》

ポリブロモジベンゾーパラージオキシン及びポリブロモジベンゾフランの暫定調査方法（平成19年3月 環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|---------|------------------------|
| 臭素系ダイオキシン（4～8臭素化） | GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |

別表1-14 《排ガスの酸化エチレン》

排出ガス中の酸化エチレン暫定測定方法（令和4年3月 環境省水・大気環境局大気環境課）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--------|-------------------|----------------------|
| 酸化エチレン | 固相捕集－溶媒抽出－GC-MS 法 | GC-MS |

別表1-15 《排ガスの多環芳香族炭化水素》

有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル（平成31年3月（令和6年3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課・令和5年5月19日環水大大発第2305191号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|---|---|----------------------|
| 多環芳香族炭化水素(PAHs) ナフタレン アセナフチレン アセナフテン フルオレン アントラセン フェナントレン ピレン フルオランテン ベンゾ[a]アントラセン クリセン ベンゾ[b]フルオランテン ベンゾ[j]フルオランテン ベンゾ[k]フルオランテン ベンゾ[a]ピレン ベンゾ[ghi]ペリレン インデノ[1,2,3-cd]ピレン ジベンゾ[a, h]アントラセン 1-メチルナフタレン 2-メチルナフタレン シクロペンタ[cd]ピレン 5-メチルクリセン ベンゾ[e]ピレン ジベンゾ[a, e]ピレン ジベンゾ[a, h]ピレン ジベンゾ[a, i]ピレン ジベンゾ[a, l]ピレン | フィルタ／吸収液／捕集剤捕集－GC-MS法 固相捕集－GC-MS法 (ナフタレン、アセナフチレン、アセナフテン、フルオレン、アントラセン、フェナントレン、ピレン、フルオランテン、ベンゾ[a]アントラセン、クリセン、1-メチルナフタレン、2-メチルナフタレン、5-メチルクリセンのみ) | GC-MS GC-MS |

別表1-16 《排ガスのP O P s》

有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル（平成31年3月（令和6年3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課・令和5年5月19日環水大大発第2305191号改正現在）

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等と測定分析方法に対応する機器 |
|--|--|--|
| ポリ塩素化ビフェニル(PCBs) MoCBs(3異性体)、DiCBs(12異性体)、TrCBs(24異性体)、TeCBs(42異性体)、PeCBs(46異性体)、HxCBs(42異性体)、HpCBs(24異性体)、OcCBs(12異性体)、NoCBs(3異性体)、DeCB(1異性体) ヘキサクロロベンゼン(HxCBz) ペンタクロロベンゼン(PeCBz) ポリ塩化ナフタレン(PCNs) MoCNs(2異性体)、DiCNs(10異性体)、TrCNs(14異性体)、TeCNs(22異性体)、PeCNs(14異性体)、HxCNs(10異性体)、HpCNs(2異性体)、OcCN(1異性体) ヘキサクロロブタジエン(HCBD) | フィルタ／吸収液／捕集剤捕集－GC-MS法 フィルタ／吸収液／捕集剤捕集－GC-MS法 フィルタ／吸収液／捕集剤捕集－GC-MS法 フィルタ／吸収液／捕集剤捕集－GC-MS法 フィルタ／吸収液／捕集剤捕集－GC-MS法 固相捕集－GC-MS法 | 高分解能GC-MS 高分解能GC-MS 高分解能GC-MS 高分解能GC-MS 高分解能GC-MS 高分解能GC-MS |

別表1-17 《環境大気のP O P s》

モニタリング調査マニュアル (平成16年 3月 環境省環境保健部環境安全課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------|------------------|-----------------------------------|
| ポリ塩化ビフェニル (P C B) | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| D D T類 | | |
| o, p' - D D T | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| p, p' - D D T | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| o, p' - D D E | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| p, p' - D D E | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| o, p' - D D D | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| p, p' - D D D | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| クロルデン類 | | |
| trans-クロルデン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| cis-クロルデン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| trans-ノナクロル | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| cis-ノナクロル | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| オキシクロルデン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ディルドリン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| アルドリン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| エンドリン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ヘプタクロル | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ヘプタクロルエポキサイド | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ヘキサクロロベンゼン (H C B) | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| マイレックス | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| トキサフエン | II GC-MS (NCI) 法 | GC-MS (NCI式) (N C I : 負イオン化学イオン化) |
| ヘキサクロロシクロヘキサン | | |
| α - H C H | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| β - H C H | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| γ - H C H | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |

別表2 (水中の物質の濃度に係る事業)

別表2-1-(1) 《人の健康の保護に関する環境基準・地下水に係る環境基準》その1

1)水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号・**令和7年3月31日環境省告示第35号改正現在**)2)地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9年3月13日環境庁告示第10号・**令和7年3月31日環境省告示第41号改正現在**)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------------|---|--|
| カドミウム | JIS K 0102-3-14.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-14.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-14.5 ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 全シアン | JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.4 ピリジン-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.5 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.6 JIS K 0170-9-7.3.2 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色FIA法 JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.6 JIS K 0170-9-7.3.4 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 | SP SP フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) |
| 鉛 | S46 環告第59号付表1 蒸留・4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 JIS K 0102-3-13.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-13.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-13.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-13.5 ICP 質量分析法 | 連続流れ分析装置(CFA) AA FLAA ICP-AES ICP-MS SP |
| 六価クロム | JIS K 0102-3-24.3.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法*(1) JIS K 0102-3-24.3.2 JIS K 0170-7-6.3.2 ジフェニルカルバジド発色(3流路)FIA法 JIS K 0102-3-24.3.2 JIS K 0170-7-6.3.3 ジフェニルカルバジド発色(2流路)FIA法 JIS K 0102-3-24.3.2 JIS K 0170-7-6.3.4 ジフェニルカルバジド発色CFA法 JIS K 0102-3-24.3.4 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-24.3.5 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-24.3.6 ICP 質量分析法 | フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 砒素 | JIS K 0102-3-20.3 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-20.4 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-20.5 ICP 質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| 総水銀 アルキル水銀 PCB | S46 環告第59号付表2 原子吸光法 S46 環告第59号付表3 GC法 S46 環告第59号付表4 GC法 | AA又は水銀用原子吸光分析装置 GC(ECD) GC(ECD) |

別表2-1-(2) 《人の健康の保護に関する環境基準・地下水に係る環境基準》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------|---------------------------------------|------------------------|
| トリクロロエチレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC(ECD) |
| テトラクロロエチレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC(ECD) |
| 四塩化炭素 | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC(ECD) |
| 1,1,1-トリクロロエタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC(ECD) |
| 1,1,2-トリクロロエタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC(ECD) |
| ジクロロメタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC(ECD) |
| 1,1-ジクロロエチレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |

別表2-1-(3) 《人の健康の保護に関する環境基準・地下水に係る環境基準》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------------------|---|---|
| シス-1,2-ジクロロエチレン 1)のみ | JIS K 0125-5.1ページ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2ページ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) |
| 1,2-ジクロロエチレン 2)のみ | JIS K 0125-5.1ページ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1ページ・トラップGC法(トランス体のみ) JIS K 0125-5.3.2ページ・トラップGC法(シス体のみ) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) |
| 1,2-ジクロロエタン | JIS K 0125-5.1ページ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1ページ・トラップGC法 JIS K 0125-5.3.2ページ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) |
| 1,3-ジクロロプロペン | JIS K 0125-5.1ページ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1ページ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| ベンゼン | JIS K 0125-5.1ページ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2ページ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) |
| クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー) 2)のみ | H9 環告第10号付表(第1)ページ・トラップ・GC-MS 法 H9 環告第10号付表(第2)ヘッドスペース・GC-MS 法*(1) | GC-MS GC-MS |
| チウラム | S46 環告第59号付表5 溶媒又は固相抽出HPLC法 | HPLC(UV) |
| シマジン | S46 環告第59号付表6(第1)溶媒又は固相抽出GC-MS 法 | GC-MS |
| チオベンカルブ | S46 環告第59号付表6(第2)溶媒又は固相抽出GC法 S46 環告第59号付表6(第1)溶媒又は固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号付表6(第2)溶媒又は固相抽出GC法 | GC(FTD 又はECD) GC-MS GC(FTD 又はECD) |
| セレン | JIS K 0102-3-26.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-26.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-26.4 ICP 質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |

注*(1):1,4-ジオキサンとの同時分析はできない。

別表2-1-(4) 《人の健康の保護に関する環境基準・地下水に係る環境基準》その4

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------|---|--|
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | JIS K 0102-2-15.3 還元蒸留－イントフェノール青吸光光度法(硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.4 還元蒸留－サリチル酸－イントフェノール青吸光光度法(硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.6 銅・カドミウムカラム還元－ナフチルエチレンジアミン吸光光度法(硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.7.JIS K 0170-2-7.3.2 カドミウム還元・りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法(硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.7.JIS K 0170-2-7.3.3 カドミウム還元・塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法(硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.7.JIS K 0170-2-7.3.4 カドミウム還元・りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法(硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.7.JIS K 0170-2-7.3.5 カドミウム還元・塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法(硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.8 イオンクロマトグラフ法(硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.2 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法(亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.3.JIS K 0170-2-6.3.2 りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法(亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.3.JIS K 0170-2-6.3.3 塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法(亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.3.JIS K 0170-2-6.3.4 りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法(亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.3.JIS K 0170-2-6.3.5 塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法(亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.4 イオンクロマトグラフ法(亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.3 ランタン－アリザリンコンプレキソン 吸光光度法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.4.JIS K 0170-6-6.3.2 ランタン－アリザリンコンプレキソン発色FIA法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.4.JIS K 0170-6-6.3.3 蒸留－ランタン－アリザリンコンプレキソン発色CFA法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.5 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0102-3-5.2 メチレンブルー吸光光度法 JIS K 0102-3-5.5 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-5.6 ICP 質量分析法 | SP SP SP フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) IC SP フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) IC SP フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) IC SP フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) IC SP ICP-AES ICP-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| ふつ素 1) ふつ素 2) | | |
| ほう素 | | |
| 1,4-ジオキサン | S46 環告第59号付表7(第1) 固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号付表7(第2) パージ・トラップ・GC-MS 法*(2) S46 環告第59号付表7(第3) ヘッドスペース・GC-MS 法*(2) | GC-MS GC-MS GC-MS |

注*(2):クロロエチレンとの同時分析はできない。

別表2-2-(1) 《生活環境の保全に関する環境基準》その1

水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号・令和7年3月31日環境省告示第35号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------|---|--|
| 水素イオン濃度(pH) | JIS K 0102-1-12 ガラス電極法 S46 環告第59号別表2 水質自動監視測定装置-ガラス電極 | pH計 (JISZ8802形式II。但し他の形式選択可能) pH自動計測器 |
| 生物化学的酸素要求量(BOD) | JIS K 0102-1-18.21.2 よう素滴定法 JIS K 0102-1-18.21.3 ミラー変法 JIS K 0102-1-18.21.4 隔膜電極法 JIS K 0102-1-18.21.5 光学式センサ法 JIS K 0102-1-17.2 酸性過マンガン酸カリウム消費-滴定法*(1) | — — 溶存酸素計 溶存酸素計 |
| 化学的酸素要求量(COD) | S46 環告第59号付表8 ろ過重量法 | — |
| 浮遊物質量(SS) | JIS K 0102-1-21.2 よう素滴定法 JIS K 0102-1-21.3 ミラー変法 JIS K 0102-1-21.4 隔膜電極法 JIS K 0102-1-21.5 光学式センサ法 | — — — — |
| 溶存酸素量(DO) | S46 環告第59号別表2 水質自動監視測定装置- 隔膜電極 | 溶存酸素計 溶存酸素計 |
| 大腸菌数*(2) | JIS K 0102-5-5.6.2.8 特定酵素基質寒天培地を用いたメンブランフィルター法 JIS K 0102-2-17.3 紫外線吸光光度法*(3) JIS K 0102-2-17.4 銅・カドミウムカラム還元-ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 JIS K 0102-2-17.5.2.JIS K 0170-3-6.3.2 酸化分解・紫外検出FIA法*(3) JIS K 0102-2-17.5.2.JIS K 0170-3-6.3.3 酸化分解・カドミウム還元吸光光度FIA法 JIS K 0102-2-17.5.2.JIS K 0170-3-6.3.4 酸化分解・紫外検出CFA法*(3) JIS K 0102-2-17.5.2.JIS K 0170-3-6.3.5 酸化分解・カドミウム還元吸光光度CFA法 JIS K 0102-2-17.5.3.1.JIS K 0170-2-7.3.2 カドミウム還元・りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法 JIS K 0102-2-17.5.3.1.JIS K 0170-2-7.3.3 カドミウム還元・塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法 JIS K 0102-2-17.5.3.1.JIS K 0170-2-7.3.4 カドミウム還元・りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法 JIS K 0102-2-17.5.3.1.JIS K 0170-2-7.3.5 カドミウム還元・塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法 | 溶存酸素自動計測器 溶存酸素自動計測器 — SP SP |
| 全窒素 | | フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) |
| | | 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) |
| | | フローインジェクション分析装置(FIA) |
| | | フローインジェクション分析装置(FIA) |
| | | 連続流れ分析装置(CFA) |
| | | 連続流れ分析装置(CFA) |

注*(1):海域のB類型の工業用水及び水産2級のうちノリ養殖の利水点における測定方法はアルカリ性法(別表2 備考(参考:JIS K 0102-1-17.3))とする。

注*(2):計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(3):海域(海水)は除く。

別表2-2-(2) 《生活環境の保全に関する環境基準》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------------------------|---|--|
| 全燐 | JIS K 0102-2-18.4.1,18.4.4 ペルオキソニ硫酸カリウム分解—モリブデン青吸光光度法*(4) JIS K 0102-2-18.4.2,18.4.4 硝酸—過塩素酸分解—モリブデン青吸光光度法 JIS K 0102-2-18.4.3,18.4.4 硝酸—硫酸分解—モリブデン青吸光光度法 JIS K 0102-2-18.4.1,18.4.5 ペルオキソニ硫酸カリウム分解—モリブデン青吸光光度法(溶媒抽出法)*(4) JIS K 0102-2-18.4.2,18.4.5 硝酸—過塩素酸分解—モリブデン青吸光光度法(溶媒抽出法) JIS K 0102-2-18.4.3,18.4.5 硝酸—硫酸分解—モリブデン青吸光光度法(溶媒抽出法) JIS K 0102-2-18.4.6.JIS K 0170-4-7.3.3 酸化分解・モリブデン青発色FIA法 JIS K 0102-2-18.4.6.JIS K 0170-4-7.3.5 酸化分解・モリブデン青発色CFA法 | SP SP SP SP SP SP SP |
| n-へキサン抽出物質(油分等) | JIS K 0102-1-22.5 捕集濃縮抽出・重量法 | フローインジェクション分析装置(FIA) |
| 全亜鉛 | JIS K 0102-3-12.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-12.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-12.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-12.5 ICP 質量分析法 | 連続流れ分析装置(CFA) — AA FLAA ICP-AES ICP-MS GC-MS LC-MS/MS |
| ノニルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS) | S46 環告第59号付表9 固相抽出GC-MS 法 JIS K 0102-4-6.2.5 固相抽出LC-MS/MS法 | — — — — — — — — |
| 溶存酸素量(底層溶存酸素量(底層DO))*(5) | JIS K 0102-1-21.2 よう素滴定法 JIS K 0102-1-21.3 ミラー変法 JIS K 0102-1-21.4 隔膜電極法 JIS K 0102-1-21.5 光学式センサ法 S46 環告第59号付表10 隔膜電極溶存酸素計による測定方法 S46 環告第59号付表10 光学式センサ溶存酸素計による測定方法 | 溶存酸素計 溶存酸素計 溶存酸素計 溶存酸素計 溶存酸素計 |

注*(4): ブロックヒーターを用いる分解操作(JIS K 0102-2-18.4.1.4 b))は除く。

注*(5): 海底又は湖底直上で測定することが望ましい(難しい場合には、海底又は湖底から1m以内の底層)。

別表2-3-(1) 《要監視項目》その1

《健康項目》水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定方法について(平成5年4月28日環水規第121号環境庁水質保全局・平成11年3月12日環水企第89号、環水管第69号、環水規第79号環境庁水質保全局改正現在)

水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について(平成16年3月31日環水企発第040331003号、環水土発第040331005号環境省環境管理局水環境部)

水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について(令和2年5月28日環水大水発第2005281号、環水大土発第2005282号環境省水・大気環境局)

《生活項目》水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行等について(平成15年11月5日環水企発第031105001号、環水管発第031105001号環境省環境管理局水環境部)

水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行等について(平成25年3月27日環水大水発第1303272号環境省水・大気環境局)

「水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件」等の施行等について(令和7年4月1日環水大管発第2504015号環境省水・大気環境局)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------|---|------------------------------------|
| クロロホルム | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップGC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| トランス-1,2-ジクロロエチレン *(1) | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップGC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| 1,2-ジクロロプロパン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップGC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| p-ジクロロベンゼン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップGC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| トルエン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップGC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) |
| キシレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップGC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) |
| イソキサチオノ | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(ECD,FTD又はFPD Pフィルター付) |
| ダイアジノン | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(ECD,FTD又はFPD Pフィルター付) |

注*(1):公共用水域のみ(地下水は除く)。

別表2-3-(2) 《要監視項目》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------------------------|--|---|
| フェニトロチオン(MEP) | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(ECD, FTD又はFPD Pフィルター付) |
| イソプロチオラン | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(ECD) |
| クロロタロニル(TPN) | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(ECD又はFTD) |
| プロピザミド | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(ECD又はFTD) |
| EPN | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(ECD, FTD又はFPD Pフィルター付) |
| ジクロルボス(DDVP) | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(ECD, FTD又はFPD Pフィルター付) |
| フェノブカルブ(BPMC) | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(FTD) |
| イプロベンホス(IPB) | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(FTD又はFPD Pフィルター付) |
| クロルニトロフェン(CNP) | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(ECD) |
| オキシン銅(有機銅) フタル酸ジエチルヘキシル | H5 環水規第121号付表2 溶媒抽出又は固相抽出HPLC法 H5 環水規第121号付表3 の第1 GC-MS 法 H5 環水規第121号付表3 の第2 GC法 | HPLC(UV) GC-MS GC(ECD) |
| ニッケル | JIS K 0102-3-18.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-18.5 ICP 質量分析法 | ICP-AES ICP-MS |
| モリブデン | JIS K 0102-3-4.5.3一部変更又は13.3.5一部変更 電気加熱原子吸光法*(2) JIS K 0102-3-27.2 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-27.3 ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| アンチモン | JIS K 0102-3-4.5.3一部変更又は13.3.5一部変更 電気加熱原子吸光法*(3) JIS K 0102-3-21.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-21.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-21.4 ICP 質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| 塩化ビニルモノマー *(1) エピクロロヒドリン 全マンガン | H16 環水企発第040331003号他 付表1 ページ・トラップGC-MS 法 H16 環水企発第040331003号他 付表2 ページ・トラップGC-MS 法 JIS K 0102-3-15.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-15.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-15.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-15.5 ICP 質量分析法 | GC-MS GC-MS AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| ウラン | JIS K 0102-3-30.2 キレート樹脂固相抽出・ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-30.3 ICP 質量分析法 | ICP-AES ICP-MS |

注*(1):公共用水域のみ(地下水は除く)。

注*(2):測定波長232.0nmを用いる。

注*(3):測定波長313.3nmを用いる。

別表2-3-(3) 《要監視項目》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|--|------------------------|
| ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA) | R2環水大水発第2005281号他 付表1 固相抽出LC-MS 法 R2環水大水発第2005281号他 付表1 固相抽出LC-MS/MS法 | LC-MS LC-MS/MS |
| フェノール | H15 環水企発第031105001号他 付表1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC-MS |
| ホルムアルデヒド | H15 環水企発第031105001号他 付表2 PFBOA 誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-t-オクチルフェノール | H25 環水大水発第1303272号付表1 固相抽出GC-MS 法 | GC-MS |
| アニリン | H25 環水大水発第1303272号付表2 固相抽出GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4-ジクロロフェノール | H25 環水大水発第1303272号付表3 トリメチルシリル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |

別表2-4-(1) 《公共用水域等における農薬の水質評価指針》その1
公共用水域等における農薬の水質評価指針について(平成6年4月15日環水土第86号)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------|----------------------|--------------------------|
| イプロジオൺ | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| エスプロカルブ | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| カルバリル(NAC) | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| クロルピリホス | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| ジクロフェンチオൺ(ECP) | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| シメトリン | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| トルクロホスメチル | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| トリシクラゾール | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| ブプロフェジン | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| プレチラクロール | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| プロベナゾール | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| プロモブチド | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| フルトラニル | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| ペンシクロン | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| ベンスリド(SAP) | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| ペンディメタリン | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| マラチオൺ(マラソン) | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| メフェナセット | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| メプロニル | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |

別表2-4-(2) 《公共用水域等における農薬の水質評価指針》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| モリネート | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) |
| エディフェンホス(EDDP) | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) GC (FPD) |
| トリクロルホン | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) GC (FPD) |
| ピリダフェンチオン | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) GC (FPD) |
| ブタミホス | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 別添 GC法 | GC-MS GC (FTD 又は NPD) GC (FPD) |
| フサライド | 別添 GC-MS 法 別添 GC法 | GC-MS GC (ECD) |
| イミダクロプリド | 別添 HPLC法 | HPLC (UV) |
| エトフェンプロックス | 別添 HPLC法 | HPLC (UV) |

別表2-5-(1) 『排水基準・特定地下浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準』その1

『排水基準』 1)排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法(昭和49年9月30日環境庁告示第64号・**令和7年3月31日環境省告示第36号改正現在**)

『特定地下浸透水』 2)水質汚濁防止法施行規則第六条の二の規定に基づく環境大臣が定める検定方法(平成元年8月21日環境庁告示第39号・**令和7年3月31日環境省告示第42号改正現在**)

『地下水の浄化基準等』 3)水質汚濁防止法施行規則第九条の四の規定に基づく環境大臣が定める検定方法(平成8年9月19日環境庁告示第55号・**令和7年3月31日環境省告示第43号改正現在**)

『下水の水質』 4)下水の水質の検定方法に関する省令(昭和37年12月17日厚生省・建設省令第1号・**令和7年3月3日国土交通省・環境省令第1号改正現在**)

『土壤汚染対策の地下水基準』 5)土壤汚染対策法施行規則第六条第二項第二号の規定に基づく環境大臣が定める地下水に含まれる調査対象物質の量の測定方法(平成15年3月6日環境省告示第17号・**令和7年3月31日環境省告示第38号改正現在**)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|---|---|
| カドミウム及びその化合物 | JIS K 0102-3-14.2 フレーム原子吸光法 1)2)3)4)のみ JIS K 0102-3-14.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-14.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-14.5 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| シアノ化合物 | JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.4 ピリジン-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.5 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.6 JIS K 0170-9-7.3.2 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色FIA法 JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.6 JIS K 0170-9-7.3.4 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 | SP SP フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) |
| 有機燐化合物 1)2)3)4) 有機りん化合物 5) (パラチオン、メチルパラチオン、EPN) (パラチオン、メチルパラチオン、EPN) | S46 環告第59号付表1 蒸留・4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 JIS K 0102-4-7.2.3 GC法 | 連続流れ分析装置(CFA) GC(FTD又はFPD) |
| 鉛及びその化合物 | JIS K 0102-4-7.2.5 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 1)4)のみ JIS K 0102-4-7.2.6 p-ニトロフェノール吸光光度法 1)4)のみ JIS K 0102-3-13.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-13.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-13.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-13.5 ICP 質量分析法 | SP SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |

別表2-5-(2) 《排水基準・特定地下水浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|---|---|
| 六価クロム化合物 | JIS K 0102-3-24.3.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102-3-24.3.2. JIS K 0170-7-6.3.2 ジフェニルカルバジド発色(3流路)FIA法 JIS K 0102-3-24.3.2. JIS K 0170-7-6.3.3 ジフェニルカルバジド発色(2流路)FIA法 JIS K 0102-3-24.3.2. JIS K 0170-7-6.3.4 ジフェニルカルバジド発色CFA法 鉄共沈除去後JIS K 0102-3-24.2.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 1)2)4)のみ 鉄共沈除去後JIS K 0102-3-24.2.2 フレーム原子吸光法 1)4)のみ 鉄共沈除去後JIS K 0102-3-24.2.3 電気加熱原子吸光法 1)2)4)のみ 鉄共沈除去後JIS K 0102-3-24.2.4 ICP 発光分析法 1)2)4)のみ 鉄共沈除去後JIS K 0102-3-24.2.5 ICP 質量分析法 1)2)4)のみ JIS K 0102-3-24.3.3 フレーム原子吸光法 5)のみ JIS K 0102-3-24.3.4 電気加熱原子吸光法 3)5)のみ JIS K 0102-3-24.3.5 ICP 発光分析法 3)5)のみ JIS K 0102-3-24.3.6 ICP 質量分析法 3)5)のみ | SP フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS AA FLAA ICP-AES ICP-MS SP 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS AA又は水銀用原子吸光分析装置 |
| 砒素及びその化合物 | JIS K 0102-3-20.2 ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光光度法 1)2)4)のみ JIS K 0102-3-20.3 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-20.4 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-20.5 ICP 質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| 水銀・アルキル水銀他水銀化合物 1)2)3)4) 水銀5) アルキル水銀化合物1)2)3)4) アルキル水銀5) ポリ塩化ビフェニル | S46 環告第59号付表2 原子吸光法 S46 環告第59号付表3 GC法及び S49 環告第64号付表1 薄層クロマトグラフー原子吸光法(但し3)5)は除く) S46 環告第59号付表4 GC法 JIS K 0093-5. GC法 1)4)のみ | AA又は水銀用原子吸光分析装置 GC(ECD) AA又は水銀用原子吸光分析装置 GC(ECD) GC(ECD) |

別表2-5-(3) 《排水基準・特定地下水浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------|---|---|
| トリクロロエチレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 2)3)5)のみ JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 1)4)のみ JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) |
| テトラクロロエチレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 2)3)5)のみ JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 1)4)のみ JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) |
| 四塩化炭素 | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 2)3)5)のみ JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 1)4)のみ JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) |
| 1,1,1-トリクロロエタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 2)3)5)のみ JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 1)4)のみ JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) |
| 1,1,2-トリクロロエタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 2)3)5)のみ JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 1)4)のみ JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 (2)の1,1,2-トリクロロエタンは除く) JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 (2)の1,1,2-トリクロロエタンは除く) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) |
| ジクロロメタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 1)4)のみ | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(ECD) |

別表2-5-(4) 《排水基準・特定地下水浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準》その4

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------|---|--|
| 1,1-ジクロロエチレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 1)4)のみ | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(ECD) |
| シス-1,2-ジクロロエチレン 1)4)のみ | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 1)4)のみ | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(ECD) |
| 1,2-ジクロロエチレン 2)3)5)のみ | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法(トランス体のみ) JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法(シス体のみ) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) |
| 1,2-ジクロロエタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 2)3)5)のみ JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) |
| 1,3-ジクロロプロペン | JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 1)4)のみ JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 1)4)のみ | GC(ECD) GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) |
| ベンゼン | JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 1)4)のみ JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.2 ヘッドスペースGC法 1)4)のみ | GC(ECD) GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(FID) |
| チウラム シマジン | S46 環告第59号付表5 溶媒又は固相抽出HPLC法 S46 環告第59号付表6(第1)溶媒又は固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号付表6(第2)溶媒又は固相抽出GC法 | HPLC(UV) GC-MS GC(FTD又はECD) |
| チオベンカルブ | S46 環告第59号付表6(第1)溶媒又は固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号付表6(第2)溶媒又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(FTD又はECD) |

別表2-5-(5) 《排水基準・特定地下浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準》その5

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------------------|---|---|
| セレン及びその化合物 | JIS K 0102-3-26.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-26.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-26.4 ICP 質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| ほう素及びその化合物 | JIS K 0102-3-5.2 メチレンブルー吸光光度法 JIS K 0102-3-5.3 アゾメチエンH吸光光度法 1)2)4)のみ JIS K 0102-3-5.5 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-5.6 ICP 質量分析法 | SP SP ICP-AES ICP-MS |
| ふつ素及びその化合物1)4) ふつ素及びその化合物2)3)5) | JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.3 ランタン-アリザリンコンプレキソン 吸光光度法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.4.JIS K 0170-6-6.3.2 ランタン-アリザリンコンプレキソン発色FIA法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.4.JIS K 0170-6-6.3.3 蒸留・ランタン-アリザリンコンプレキソン発色CFA法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.5 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0102-2-5.2.2,5.6 イオン電極法 1)2)4)のみ | フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) IC 電位差計、ふつ化物イオン電極及び参照電極 |

別表2-5-6(6) 《排水基準・特定地下浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準》その6

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|---|---|
| アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物1)2)3)のみ アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量4)のみ | JIS K 0102-2-15.3 還元蒸留－イントフェノール青吸光光度法(1)4)は硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素又は硝酸性窒素、3)は硝酸性窒素のみ、但し2)は除く) JIS K 0102-2-15.4 還元蒸留－サリチル酸－イントフェノール青吸光光度法(1)4)は硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素又は硝酸性窒素、3)は硝酸性窒素のみ、但し2)は除く) JIS K 0102-2-15.6 銅・カドミウムカラム還元－ナフチルエチレンジアミン吸光光度法(1)4)は硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素又は硝酸性窒素、3)は硝酸性窒素のみ、但し2)は除く) JIS K 0102-2-15.7.JIS K 0170-2-7.3.2 カドミウム還元・りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法 (硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.7.JIS K 0170-2-7.3.3 カドミウム還元・塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法 (硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.7.JIS K 0170-2-7.3.4 カドミウム還元・りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法 (硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.7.JIS K 0170-2-7.3.5 カドミウム還元・塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法 (硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-15.8 イオンクロマトグラフ法 (硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.2 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 (亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.3.JIS K 0170-2-6.3.2 りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法 (亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.3.JIS K 0170-2-6.3.3 塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法 (亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.3.JIS K 0170-2-6.3.4 りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法 (亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.3.JIS K 0170-2-6.3.5 塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法 (亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-14.4 イオンクロマトグラフ法 (亜硝酸性窒素のみ) JIS K 0102-2-13.2.2,13.3 中和滴定法(アンモニア性窒素のみ) 1)2)4)のみ JIS K 0102-2-13.2.2又は13.2.4,13.4 インドフェノール青吸光光度法(アンモニア性窒素のみ) 1)2)4)のみ JIS K 0102-2-13.2.2又は13.2.4,13.5 サリチル酸－インドフェノール青吸光光度法(アンモニア性窒素のみ) 1)2)4)のみ JIS K 0102-2-13.2.2又は13.2.4,13.6.JIS K 0170-1-6.3.3 フェノールによるイントフェノール青発色FIA法 (アンモニア性窒素のみ) 1)2)4)のみ JIS K 0102-2-13.2.2又は13.2.4,13.6.JIS K 0170-1-6.3.4 サリチル酸によるイントフェノール青発色CFA法 (アンモニア性窒素のみ) 1)2)4)のみ JIS K 0102-2-13.2.2又は13.2.4,13.6.JIS K 0170-1-6.3.5 フェノールによるイントフェノール青発色CFA法 (アンモニア性窒素のみ) 1)2)4)のみ JIS K 0102-2-13.7 イオンクロマトグラフ法 (アンモニア性窒素のみ) 1)2)4)のみ | SP SP SP フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) IC SP フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) IC — SP SP フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) IC |

別表2-5-(7) 『排水基準・特定地下浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準』その7

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|--|--|
| 塩化ビニルモノマー 2)3)のみ クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー) 5)のみ 1,4-ジオキサン 1)2)3)4)のみ | H9 環告第10号付表(第1)パージ・トラップ・GC-MS 法 H9 環告第10号付表(第2)ヘッドスペース・GC-MS 法 S46 環告第59号付表7(第1) 固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号付表7(第2) パージ・トラップ・GC-MS 法 S46 環告第59号付表7(第3) ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| 水素イオン濃度 1)4)のみ 生物化学的酸素要求量(BOD) 1)4)のみ | JIS K 0102-1-12 ガラス電極法 JIS K 0102-1-18,21.2 よう素滴定法 JIS K 0102-1-18,21.3 ミラー変法 JIS K 0102-1-18,21.4 隔膜電極法 JIS K 0102-1-18,21.5 光学式センサ法 JIS K 0102-1-17.2 酸性過マンガン酸カリウム消費-滴定法 | pH計 (JISZ8802形式Ⅱ。但し他の形式選択可能) — — 溶存酸素計 溶存酸素計 |
| 化学的酸素要求量(COD) 1)のみ 浮遊物質量(SS) 1)4)のみ ノルマルヘキサン抽出物質含有量1)4)のみ | S46 環告第59号付表8 ろ過重量法 JIS K 0102-1-22.3 抽出・重量法 JIS K 0102-1-22.4 容器抽出・重量法 JIS K 0102-4-5.2.2.2又は5.2.2.4,5.2.3.2 直接-4-アミノアンチピリン吸光光度法 JIS K 0102-4-5.2.2.2,5.2.3.3 溶媒抽出-4-アミノアンチピリン吸光光度法 JIS K 0102-4-5.2.2.2又は5.2.2.4,5.2.3.4 固相抽出-4-アミノアンチピリン吸光光度法 JIS K 0102-4-5.2.2.2又は5.2.2.4,5.2.4.JIS K 0170-5-6.3.2 4-アミノアンチピリン発色FIA法 JIS K 0102-4-5.2.4.JIS K 0170-5-6.3.3 りん酸蒸留・4-アミノアンチピリン発色CFA法 JIS K 0102-4-5.2.4.JIS K 0170-5-6.3.4 くえん酸蒸留・4-アミノアンチピリン発色CFA法 | — — — — — SP SP SP |
| 銅含有量 1)のみ 銅及びその化合物 4)のみ | JIS K 0102-3-11.3 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-11.4 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-11.5 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-11.6 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 亜鉛含有量 1)のみ 亜鉛及びその化合物 4)のみ | JIS K 0102-3-12.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-12.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-12.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-12.5 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |

別表2-5-(8) 《排水基準・特定地下浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準》その8

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|--|
| 溶解性鉄含有量 1)のみ 鉄及びその化合物(溶解性)4)のみ | JIS K 0102-3-16.3 略過後フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-16.4 略過後電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-16.5 略過後ICP 発光分析法 S49 環告第64号付表2 略過後ICP 質量分析法 JIS K 0102-3-15.2 略過後フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-15.3 略過後電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-15.4 略過後ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-15.5 略過後ICP 質量分析法 JIS K 0102-3-24.2.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102-3-24.2.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-24.2.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-24.2.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-24.2.5 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS AA FLAA ICP-AES ICP-MS SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS — |
| 溶解性マンガン含有量 1)のみ マンガン及びその化合物(溶解性)4)のみ | | |
| クロム含有量 1)のみ クロム及びその化合物 4)のみ | | |
| 大腸菌数*(1) 1)4) のみ | S37 厚生省・建設省令第1号 特定酵素基質寒天培地を用いた平板培養法(混積平板法) | SP |
| 窒素含有量 1)4) のみ | JIS K 0102-2-17.2.13.4 総和法(インドフェノール青吸光光度法) JIS K 0102-2-17.2.13.5 総和法(サリチル酸-インドフェノール青吸光光度法) JIS K 0102-2-17.2.13.6.JIS K 0170-1-6.3.3 総和法(フェノールによるインドフェノール青発色FIA法) JIS K 0102-2-17.2.13.6.JIS K 0170-1-6.3.4 総和法(サリチル酸によるインドフェノール青発色CFA法) JIS K 0102-2-17.2.13.6.JIS K 0170-1-6.3.5 総和法(フェノールによるインドフェノール青発色CFA法) JIS K 0102-2-17.3 紫外線吸光光度法 JIS K 0102-2-17.5.2.JIS K 0170-3-6.3.2 酸化分解・紫外検出FIA法 JIS K 0102-2-17.5.2.JIS K 0170-3-6.3.3 酸化分解・カドミウム還元吸光光度FIA法 JIS K 0102-2-17.5.2.JIS K 0170-3-6.3.4 酸化分解・紫外検出CFA法 JIS K 0102-2-17.5.2.JIS K 0170-3-6.3.5 酸化分解・カドミウム還元吸光光度CFA法 JIS K 0102-2-17.5.3.1.JIS K 0170-2-7.3.2 カドミウム還元・りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法 JIS K 0102-2-17.5.3.1.JIS K 0170-2-7.3.3 カドミウム還元・塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色FIA法 JIS K 0102-2-17.5.3.1.JIS K 0170-2-7.3.4 カドミウム還元・りん酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法 JIS K 0102-2-17.5.3.1.JIS K 0170-2-7.3.5 カドミウム還元・塩酸酸性ナフチルエチレンジアミン発色CFA法 | SP SP フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) SP フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) |

注*(1): 計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

別表2-5-(9) 《排水基準・特定地下浸透水・地下水の浄化基準等・下水の水質・土壤汚染対策の地下水基準》その9

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------|--|--|
| 燐含有量 1)4) のみ | <p>JIS K 0102-2-18.4.1,18.4.4 ペルオキソニ硫酸カリウム分解モリブデン青吸光光度法*(2)</p> <p>JIS K 0102-2-18.4.2,18.4.4 硝酸一過塩素酸分解モリブデン青吸光光度法</p> <p>JIS K 0102-2-18.4.3,18.4.4 硝酸一硫酸分解モリブデン青吸光光度法</p> <p>JIS K 0102-2-18.4.1,18.4.5 ペルオキソニ硫酸カリウム分解モリブデン青吸光光度法(溶媒抽出法)*(2)</p> <p>JIS K 0102-2-18.4.2,18.4.5 硝酸一過塩素酸分解モリブデン青吸光光度法(溶媒抽出法)</p> <p>JIS K 0102-2-18.4.3,18.4.5 硝酸一硫酸分解モリブデン青吸光光度法(溶媒抽出法)</p> <p>JIS K 0102-2-18.4.6.JIS K 0170-4-7.3.3 酸化分解・モリブデン青発色FIA法</p> <p>JIS K 0102-2-18.4.6.JIS K 0170-4-7.3.5 酸化分解・モリブデン青発色CFA法</p> | SP SP SP SP SP SP SP SP フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) — |
| 沃素消費量 4) のみ | S37 厚生省・建設省令第1号 滴定法 | |

注*(2): ブロックヒーターを用いる分解操作(JIS K 0102-2-18.4.1.4 b))は除く。

別表2-6-(1) 《排水の指定物質》その1

水質汚濁防止法施行令(昭和46年6月17日政令第188号・令和6年1月4日政令第1号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------|---|---|
| ホルムアルデヒド | JIS K 0125-5.7 溶媒抽出・誘導体化・GC-MS 法 JIS K 0125 附属書E アセチルアセトン吸光光度法 H15 環水企発第031105001号他 付表2 PFBOA 誘導体化GC-MS 法 | GC-MS SP GC-MS |
| ヒドラジン | ☆ | |
| ヒドロキシルアミン | ☆ | |
| 過酸化水素 | ☆ | |
| 塩化水素 | ☆ | |
| 水酸化ナトリウム | ☆ | |
| アクリロニトリル | H13 要調査項目等調査マニュアル IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 H13 要調査項目等調査マニュアル IV-v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 水酸化カリウム | ☆ | |
| アクリルアミド | H13 要調査項目等調査マニュアル IV-x vi キサンチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アクリル酸 | ☆ | |
| 次亜塩素酸ナトリウム | ☆ | |
| 二硫化炭素 | H13 要調査項目等調査マニュアル IV-ii パージ・トラップ・GC-MS 法 H13 要調査項目等調査マニュアル IV-iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 酢酸エチル | ☆ | |
| メルターシヤリーブチルエーテル(MTBE) | H11 要調査項目等調査マニュアル I ヘッドスペース・GC-MS 法 H11 要調査項目等調査マニュアル II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 硫酸 | ☆ | |
| ホスゲン | ☆ | |
| 1,2-ジクロロプロパン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) |
| クロルスルホン酸 | ☆ | |
| 塩化チオニル | ☆ | |
| クロロホルム | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) |
| 硫酸ジメチル | ☆ | |
| クロルピクリン | H16 要調査項目等調査マニュアル IV-x ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、衛生試験法等を参考として下さい。

別表2-6-(2) 《排水の指定物質》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------------|--|--|
| ジクロルボス(DDVP) | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 ☆ | GC-MS GC(ECD,FTD又はFPD Pフィルター付) |
| オキシデプロホス(ESP、エストックス) トレエン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.2 ヘッドスペースGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(FID) |
| エピクロロヒドリン スチレン | H16 環水企発第040331003号他 付表2 パージ・トラップGC-MS 法 H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル VII ヘッドスペース・GC-MS 法 H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル VIII パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| キシレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.2 ヘッドスペースGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(FID) |
| パラジクロロベンゼン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップGC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) |
| フェノブカルブ(BPMC) | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(FTD) |
| プロピザミド | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC-MS |
| クロロタロニル(TPN) | H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC(ECD 又はFTD) GC-MS |
| フェニトロチオン(MEP) | H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC(ECD 又はFTD) GC-MS |
| イプロベンホス(IPB) | H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC(ECD,FTD 又はFPD Pフィルター付) GC-MS |
| イソプロチオラン | H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC(FTD 又はFPD Pフィルター付) GC-MS |
| ダイアジノン | H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC(ECD) GC-MS |
| イソキサチオン | H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC(ECD,FTD 又はFPD Pフィルター付) GC-MS |
| | H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC(ECD,FTD 又はFPD Pフィルター付) |

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、衛生試験法等を参考として下さい。

別表2-6-(3) 《排水の指定物質》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------------|--|---|
| クロルニトロフエン(CNP) | H5 環水規第121号付表1 の第1 溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 H5 環水規第121号付表1 の第2 溶媒抽出又は固相抽出GC法 H13 要調査項目等調査マニュアル IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 H5 環水規第121号付表3 の第1 GC-MS 法 H5 環水規第121号付表3 の第2 GC法 ☆ | GC-MS GC(ECD) GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| クロルピリホス フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) | H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル II GC-MS 法 ☆ | GC-MS |
| アラニカルブ | | AA |
| クロルデン | | FLAA |
| 臭素 | | ICP-AES |
| アルミニウム及びその化合物 | JIS K 0102-3-17.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-17.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-17.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-17.5 ICP 質量分析法 JIS K 0102-3-18.2 ジメチルグリオキシム吸光光度法 JIS K 0102-3-18.3 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-18.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-18.5 ICP 質量分析法 JIS K 0102-3-4.5.3一部変更又は13.3.5一部変更 電気加熱原子吸光法*(1) JIS K 0102-3-27.2 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-27.3 ICP 質量分析法 JIS K 0102-3-4.5.3一部変更又は13.3.5一部変更 電気加熱原子吸光法*(2) JIS K 0102-3-21.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-21.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-21.4 ICP 質量分析法 | ICP-MS SP AA ICP-AES ICP-MS FLAA ICP-AES ICP-MS FLAA |
| ニッケル及びその化合物 | | 水素化物発生装置及びAA |
| モリブデン及びその化合物 | | 水素化物発生装置及びICP-AES |
| アンチモン及びその化合物 | | ICP-MS |
| 塩素酸及びその塩 | H20 要調査項目等調査マニュアル IV-viii 固相ろ過精製・LC-MS 法 | LC-MS |
| 臭素酸及びその塩 | H20 要調査項目等調査マニュアル IV-viii 固相ろ過精製・IC-MS/MS 法 | IC-MS/MS |
| クロム及びその化合物(六価クロム化合物を除く) | H20 要調査項目等調査マニュアル IV-viii 固相ろ過精製・LC-MS 法 JIS K 0102-3-24.2.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102-3-24.2.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-24.2.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-24.2.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-24.2.5 ICP 質量分析法 | LC-MS IC-MS/MS LC-MS IC-MS/MS SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| マンガン及びその化合物 | JIS K 0102-3-15.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-15.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-15.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-15.5 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、衛生試験法等を参考として下さい。

注*(1):測定波長232.0nmを用いる(R7環水大管発第 2504015号に定める方法)。

注*(2):測定波長313.3nmを用いる(R7環水大管発第 2504015号に定める方法)。

別表2-6-(4) 《排水の指定物質》その4

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------------------|---|--|
| 鉄及びその化合物 | JIS K 0102-3-16.2 フェナントロリン吸光光度法 JIS K 0102-3-16.3 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-16.4 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-16.5 ICP 発光分析法 | SP AA FLAA ICP-AES |
| 銅及びその化合物 | JIS K 0102-3-11.2 ジエチルジチオカルバジド酸吸光光度法 JIS K 0102-3-11.3 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-11.4 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-11.5 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-11.6 ICP 質量分析法 | SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 亜鉛及びその化合物 | JIS K 0102-3-12.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-12.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-12.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-12.5 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| フェノール類及びその塩類 | JIS K 0102-4-5.2.2.2又は5.2.2.4,5.2.3.2 直接-4-アミノアンチピリン吸光光度法 JIS K 0102-4-5.2.2.2,5.2.3.3 溶媒抽出-4-アミノアンチピリン吸光光度法 JIS K 0102-4-5.2.2.2又は5.2.2.4,5.2.3.4 固相抽出-4-アミノアンチピリン吸光光度法 JIS K 0102-4-5.2.2.2又は5.2.2.4,5.2.4.JIS K 0170-5-6.3.2 4-アミノアンチピリン発色FIA法 JIS K 0102-4-5.2.4.JIS K 0170-5-6.3.3 りん酸蒸留-4-アミノアンチピリン発色CFA法 JIS K 0102-4-5.2.4.JIS K 0170-5-6.3.4 くえん酸蒸留-4-アミノアンチピリン発色CFA法 | SP SP SP フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) |
| ヘキサメチレンテトラミン アニリン | LC-MS/MS法*(1) H25 環水大水発第1303272号付表2 固相抽出GC-MS 法 H13 要調査項目等調査マニュアル IV-viii アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | LC-MS/MS GC-MS GC-MS |
| ペルフルオロオクタン酸(PFOA)及びその塩 | R2環水大水発第 2005281号他 付表1 固相抽出LC-MS 法 R2環水大水発第 2005281号他 付表1 固相抽出LC-MS/MS法 | LC-MS LC-MS/MS |
| ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びその塩 | JIS K 0450-70-10-6 LC-MS/MS法 R2環水大水発第 2005281号他 付表1 固相抽出LC-MS 法 R2環水大水発第 2005281号他 付表1 固相抽出LC-MS/MS法 | LC-MS LC-MS/MS LC-MS/MS |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS) | JIS K 0102-4-6.2.5 固相抽出LC-MS/MS法 H13 要調査項目等調査マニュアル IV-x iv HPLC法 H13 要調査項目等調査マニュアル IV-x iv LC-MS法 | LC-MS/MS HPLC(FL) LC-MS |

注*(1):環境省ホームページに掲載の「平成25年3月 利根川水系における水質分析法検討業務」ヘキサメチレンテトラミンの調査マニュアル

別表2-7 《排出水中における悪臭物質》

特定悪臭物質の測定の方法(昭和47年 5月30日環境庁告示第9号・**令和7年3月31日環境省告示第45号改正現在**)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------|----------------------|------------------------|
| メチルメルカプタン | 別表第2 第3GC法(ヘッドスペース法) | GC(FPD) |
| 硫化水素 | 別表第2 第3GC法(ヘッドスペース法) | GC(FPD) |
| 硫化メチル | 別表第2 第3GC法(ヘッドスペース法) | GC(FPD) |
| 二硫化メチル | 別表第2 第3GC法(ヘッドスペース法) | GC(FPD) |

別表2-8-1 《ゴルフ場農薬指針》その1 (一部*(3)も含む)

ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水域の生活環境動植物の被害防止に係る指導指針について(令和2年3月27日環水大土発第2003271号環境省水・大気環境局長通知)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------|--|---------------------------|
| チオジカルブ | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 6. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| トリクロルホン(DEP) | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 6. GC法*(4) | GC(NPD, FTD又はFPD Sフィルター付) |
| | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 7., II 3. GC法*(4) | GC(FPD Pフィルター付) |
| シプロコナゾール | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 3. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| チウラム(チラム) | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 20., II 6. HPLC法*(4) | HPLC(UV) |
| チオファネートメチル | (参考)S46 環告第59号付表5 HPLC法 | HPLC(UV) |
| ヒドロキシイソキサゾール(ヒメキサゾール) | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 21. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 24. LC-MS法*(4) | LC-MS |
| | (参考) GC法*(5) | GC(NPD又はFTD) |
| | (参考) LC-MS法*(5) | LC-MS |
| ベノミル | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 27. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| シクロスルファムロン | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| シマジン(CAT) | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 37. GC法*(4) | GC(NPD又はFTD) |
| | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| | (参考)S46 環告第59号付表6(第1) GC-MS 法 | GC-MS |
| | (参考)S46 環告第59号付表6(第2) GC法 | GC(FTD又はECD) |
| トリクロピル | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 39., II 2.(トリクロピルブトキシエチルのみ) GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 39.(トリクロピルブトキシエチル、トリクロピル酸), II 6.(トリクロピル酸のみ) HPLC法*(4) | HPLC(UV) |
| | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(1) 『ゴルフ場農薬指針』その2 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------------|---|---|
| アイオキシニルオクタノエート又はアイオキシニル | (参考) HPLC法*(5) ☆ | HPLC(UV) |
| アクリナトリン | ☆ | |
| アシノナビル | ☆ | |
| アシベンゾラルS-メチル | ☆ | |
| アジムスルフロン | (参考) H5 環告第35号 2(88). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| アシュラムナトリウム塩又はアシュラム | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 33. メチル誘導体化GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 6. HPLC法*(4) | GC(NPD又はFTD) HPLC(UV) |
| アセキノシル | ☆ | |
| アセタミブリド | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| アセフェート | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 1., II 3.(アセフェート), II 5.(メタミドホス)GC-MS 法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 I 1., II 3.(アセフェート), II 5.(メタミドホス)GC 法*(4) | GC-MS GC(FPD Pフィルター付) |
| アゾキシストロビン | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 11., II 6. HPLC法*(4) | HPLC(UV) |
| アトラジン | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル IX i GC-MS 法 (参考) HPLC法*(5) (参考) GC法*(5) | LC-MS/MS GC-MS HPLC(UV) GC(NPD又はFTD) |
| アバメクチン | ☆ | |
| アフイドビロペン | ☆ | |
| アミカルバゾン | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| アミスルブロム | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| アミトラズ | (参考) GC-MS法*(5) | 高分解能GC-MS |
| アメトクトラジン | ☆ | |
| アラクロール | (参考) GC-MS法*(5) | GC-MS |
| アラニカルブ | ☆ | |
| アンバム | ☆ | |
| イソウロン | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| イソキサチオン | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| イソキサベン | ☆ | |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(2) 『ゴルフ場農薬指針』その3 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------|---|--|
| イソシクロセラム | ★ | |
| イソチアニル | ☆ | |
| イソビラザム | ☆ | |
| イソフェタミド | ☆ | |
| イソプロカルブ又はMIPC | (参考) H5 環告第35号 2(6). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(6). GC法*(2) (参考) GC法*(5) | GC-MS GC(NPD又はFTD) GC(NPD又はFTD) |
| イソプロチオラン(IPT) | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 12. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) (参考) H5 環水規第121号付表1 の第1 GC-MS 法 (参考) H5 環水規第121号付表1 の第2 GC法 | GC(ECD) LC-MS/MS GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| イプフェンカルバゾン | ☆ | |
| イプフルフェノキン | ☆ | |
| イプロジオノン | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 13. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) (参考) H5 環告第35号 2(5). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(5). GC法*(2) (参考) H15 要調査項目等調査マニュアル IV-x GC-MS 法 | GC(NPD又はFTD) LC-MS/MS GC-MS GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| イプロベンホス又はIBP | (参考) H5 環告第35号 2(52). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(52). GC法*(2) (参考) H5 環水規第121号付表1 の第1 GC-MS 法 (参考) H5 環水規第121号付表1 の第2 GC法 | GC-MS GC-MS GC(NPD, FTD又はFPD Pフィルター付) GC-MS GC(FTD又はFPD Pフィルター付) |
| イマザキン | ☆ | |
| イマザピルイソプロピルアミン塩又はイマザピル | ☆ | |
| イマザモックスアンモニウム塩 | ☆ | |
| イマゾスルフロン | (参考) H5 環告第35号 2(27). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| イミシアホス | ☆ | |
| イミダクロプロピド | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(3) 『ゴルフ場農薬指針』その4 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------------------|--|---|
| ビノクタジンアルペシル酸塩及びビノクタジン酢酸塩 | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 14. HPLC-ポストカラム誘導体化法*(4) (参考) H5 環告第35号 2(9). トリフルオロアセチル誘導体化GC法*(2) | HPLC(FL) GC(NPD又はFTD) |
| イミベンコナゾール | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| インダジフラム | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| インダノファン | (参考) H5 環告第35号 2(39). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(39). HPLC法*(2) | GC-MS HPLC(UV) |
| インドキサカルブ'MP及びインドキサカルブ'インピルフルキサム | (参考) LC-MS/MS法*(5) ☆ | LC-MS/MS |
| ウニコナゾールP | (参考) H5 環告第35号 2(41). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(41). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| エスプロカルブ | (参考) H5 環告第35号 2(111). GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| エタボキサム | ☆ | |
| エチクロゼート | ☆ | |
| エチプロール | (参考) H5 環告第35号 2(139). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| エテホン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| エトキサゾール | ☆ | |
| エトキシスルフロン | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| エトフェンプロックス | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 3., II 1. GC-MS 法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 I 3. HPLC法*(4) (参考) H5 環告第35号 2(23). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(23). HPLC法*(2) (参考) LC-MS法*(5) | GC-MS HPLC(UV) GC-MS HPLC(UV) LC-MS |
| エトフメセート | ☆ | |
| エトベンザニド | (参考) H5 環告第35号 2(56). (エトベンザニドのみ) GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(56). (エトベンザニド、4-エトキシ安息香酸) HPLC法*(2) | GC-MS HPLC(UV) |
| エマメクチン安息香酸塩 | ☆ | |
| 塩素酸塩 | (参考) H20 要調査項目等調査マニュアル IV-viii 固相ろ過精製・LC-MS 法 (参考) H20 要調査項目等調査マニュアル IV-viii 固相ろ過精製・IC-MS/MS 法 | LC-MS IC-MS/MS |
| エンドタール二カリウム塩及びエンドタール二ナトリウム塩 | ☆ | |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(4) 『ゴルフ場農薬指針』その5 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------------|--|-----------------------------------|
| オキサジアゾン | (参考)H5 環告第35号 2(134). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(134). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| オキサジアルギル | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 34. HPLC法*(4) (参考)H5 環告第35号 2(144). HPLC法*(2) | HPLC(UV) HPLC(UV) |
| オキサジクロメホン | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| オキサゾスルフィル | ☆ | |
| オキサチアピプロリン | ☆ | |
| オキサミル | ☆ | |
| オキシテトラサイクリン | ☆ | |
| オキシン銅又は有機銅 | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 16. HPLC法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 II 6. HPLC法*(4) | HPLC(FL) HPLC(UV) |
| オキスピコナゾールマル酸塩 | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| オキソリニック酸 | (参考)H5 環告第35号 2(13). HPLC法*(2) | HPLC(FL) |
| オリサストロビン | (参考)H5 環告第35号 2(140). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| オリザリン | ☆ | |
| オレイン酸ナトリウム | ☆ | |
| カスガマイシン一塩酸塩又はカスガマイシン | ☆ | |
| カズサホス | ☆ | |
| カフェンストロール | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| カルタップ | (参考)H5 環告第35号 2(76). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(76). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD,FTD又はFPD Sフィルター付) |
| カルバリル又はNAC | (参考)H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| カルフェントラゾンエチル | (参考) GC法*(5) | GC(NPD又はFTD) |
| カルブチレート | ☆ | |
| カルプロパミド | (参考)H5 環告第35号 2(57). メチル誘導体化GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| カルボスルファン | (参考)H5 環告第35号 2(57). メチル誘導体化GC法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(70). GC-MS 法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| キザロホップエチル | (参考)H5 環告第35号 2(70). GC法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(10). メチル誘導体化GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(10). メチル誘導体化GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(5) 『ゴルフ場農薬指針』その6 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|---|---|
| キノクラミン又はACN | (参考)H5 環告第35号 2(1). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(1). GC法*(2) | GC-MS GC(ECD) |
| キノフメリン | ★ | |
| キノメチオナート又はキノキサリン系 | ★ | |
| キヤプタン | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 17. GC法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1., II 2. GC-MS 法*(4) (参考)H5 環告第35号 2(136). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(136). GC法*(2) | GC(ECD) GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| クミルロン | (参考)H15 要調査項目等調査マニュアル IV- x GC-MS 法 (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考)H5 環告第35号 2(44). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(44). GC法*(2) | GC-MS LC-MS/MS GC-MS GC(NPD 又はFTD) |
| グリホサートアンモニウム塩、グリホサートイソプロピルアミン塩、グリホサートカリウム塩及びグリホサートナトリウム塩 | (参考)H14 要調査項目等調査マニュアル IV- x v FMOC-Cl誘導体化HPLC法 | HPLC(FL) |
| グルホシネット及びグルホシネットPナトリウム塩 | ★ | |
| クレソキシムメチル | ★ | |
| クレトジム | ★ | |
| クロチアニジン | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| クロフェンデジン | ★ | |
| クロマフェノジド | (参考)H5 環告第35号 2(107). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| クロメプロップ | (参考)H5 環告第35号 2(58). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| クロラントラニリプロール | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| クロリダゾン又はPAC | ★ | |
| クロリムロンエチル | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| クロルタールジメチル | ★ | |
| クロルチアミド又はDCBM | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| クロルピクリン | (参考)H16 要調査項目等調査マニュアル IV- x ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| クロルピリホス | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 4. GC法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) (参考)H13 要調査項目等調査マニュアル IV-vi GC-MS 法 | GC(NPD 又はFTD) GC-MS GC-MS |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

★印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(6) 『ゴルフ場農薬指針』その7 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|---|
| クロルフェナピル | ☆ | |
| クロルフタリム | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| クロルフルアズロン | ☆ | |
| クロルプロファム又はIPC | ☆ | |
| クロルメコートクロロド又はクロルメコート | ☆ | |
| クロロタロニル又はTPN | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 18. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) (参考) H5 環水規第121号付表1 の第1 GC-MS 法 (参考) H5 環水規第121号付表1 の第2 GC法 | GC(ECD) GC-MS GC-MS GC(ECD又はFTD) |
| 酸化亜鉛 | ☆ | |
| 酸化フェンプタスズ | ☆ | |
| シアゾフアミド | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| シアナジン | (参考) H14 要調査項目等調査マニュアル IV- x viii GC-MS 法 (参考) GC法*(5) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| シアナミド及びカルシウムシアナミド又は石灰窒素 | ☆ | |
| シアノホス又はCYAP | ☆ | |
| ジアフェンチウロン | ☆ | |
| シアノ酸ナトリウム | ☆ | |
| シアントラニリプロール | ☆ | |
| ジウロン又はDCMU | ☆ | |
| ジエトフェンカルブ | (参考) GC法*(5) | GC(NPD又はFTD) |
| シエノビラフェン | ☆ | |
| ジカンバ又はMDBA、ジカンバジメチルアミン塩又はMDBAジメチルアミン塩及びジカンバカルウム塩又はMDBAカルウム塩 | (参考) シリル誘導体化GC-MS法*(5) | GC-MS |
| シクラニリプロール | ☆ | |
| ジクロシメット | (参考) H5 環告第35号 2(48). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(48). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| シクロピリモレート | ☆ | |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(7) 《ゴルフ場農薬指針》その8 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------|--|---|
| シクロプロトリン | (参考)H5 環告第35号 2(50). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(50). GC法*(2) | GC-MS GC(ECD) |
| ジクロベニル又はDBN | (参考)H5 環告第35号 2(69). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(69). GC法*(2) | GC-MS GC(ECD) |
| ジクロベンチアゾクス | ☆ | |
| 1,3-ジクロロプロペン又はD-D | (参考) JIS K 0125-5.1ページ・トラップ・GC-MS 法 (参考) JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 (参考) JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 (参考) JIS K 0125-5.3.1ページ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| ジクロロメチアズ | ☆ | |
| ジクロルプロップトリエタノールアミン塩 | ☆ | |
| ジクワットジブロミド又はジクワット | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ジスルホトン又はエチルチオメタン | ☆ | |
| ジチアノン | ☆ | |
| ジチオピル | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 35., II 2. GC-MS 法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 I 35. GC法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考)H5 環告第35号 2(124). HPLC法*(2) | GC-MS GC(NPD,FTD又はECD) LC-MS/MS HPLC(UV) |
| ジノテフラン | ☆ | |
| シハロトリン | (参考)H5 環告第35号 2(102). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| シハロホップブチル | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| ジフェノコナゾール | ☆ | |
| シフルトリン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| シフルフェナミド | ☆ | |
| シフルフェニカン | ☆ | |
| ジフルベンズロン | ☆ | |
| シフルメトフェン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ジフルメトリム | ☆ | |
| シプロジニル | ☆ | |
| シペルメトリノン | ☆ | |
| ジベレリン | ☆ | |
| シメコナゾール | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| ジメスルファゼット | ☆ | |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(8) 『ゴルフ場農薬指針』その9 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------------|--|--|
| ジメタメトリン | (参考)H5 環告第35号 2(121). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(121). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| ジメテナミド及びジメテナミドP | ☆ | |
| ジメトエート | ☆ | |
| ジメトモルフ | ☆ | |
| シメトリン | (参考)H5 環告第35号 2(96). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(96). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| シモキサニル | ☆ | |
| シラフルオフエン | (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| ジラム | (参考)H12 農薬等の環境残留実態調査分析法 I 5. メチル誘導体化HPLC法 | HPLC(UV) |
| シロマジン | ☆ | |
| シンメチリン | ☆ | |
| ストレプトマイシン硫酸塩又はストレプトマイシン | ☆ | |
| スピネトラム | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| スピノサド | (参考)H5 環告第35号 2(130). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| スピロジクロフエン | ☆ | |
| スピロテトラマト | ☆ | |
| スピロメシフエン | ☆ | |
| スルホキサフル | ☆ | |
| 石灰硫黄合剤 | ☆ | |
| セトキシジム | (参考)H5 環告第35号 2(20). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(20). GC法*(2) | GC-MS GC(FPD Sフィルター付) |
| ソルビタン脂肪酸エステル | ☆ | |
| ダイアジノン | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 5. GC法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) (参考)H5 環水規第121号付表1 の第1 GC-MS 法 (参考)H5 環水規第121号付表1 の第2 GC法 (参考)H5 環告第35号 2(137). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(137). GC法*(2) (参考) LC-MS/MS法*(5) | GC(FPD Pフィルター付) LC-MS/MS GC-MS GC-MS GC(ECD,FTD又はFPD Pフィルター付) GC-MS GC(NPD,FTD又はFPD Pフィルター付) LC-MS/MS |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(9) 『ゴルフ場農薬指針』その10 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------------------|--|---------------------------|
| ダイファシン系 | ☆ (参考) H5 環告第35号 2(83). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| ダイムロン | ☆ | |
| タウフルバリネット又はフルバリネット | (参考) (メチルイソチオシアネット) GC-MS法*(5) | GC-MS |
| ダゾメット | ☆ | |
| ターバシル | (参考) H5 環告第35号 2(37). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| チアクロブリド | (参考) H5 環告第35号 2(133). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| チアジニル | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| チアメトキサム | ☆ | |
| チエンカルバゾンメチル | (参考) H5 環告第35号 2(81). GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| チオシクラムシュウ酸塩又はチオシクラム(*1)のみカルタップとして) | (参考) H5 環告第35号 2(81). GC法*(2) | GC(NPD, FTD又はFPD Sフィルター付) |
| チオベンカルブ又はベンチオカーブ | (参考) S46 環告第59号付表6(第1) GC-MS 法 (参考) S46 環告第59号付表6(第2) GC法 | GC-MS GC(FTD又はECD) |
| チフェンスルフロンメチル | ☆ (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| チフルザミド | (参考) H14 要調査項目等調査マニュアル IV-iv BSTFA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| デシリアルコール | ☆ | |
| デスマディファム | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| テトラコナゾール | (参考) GC法*(5) | GC(NPD又はFTD) |
| テトラジホン | ☆ | |
| テトラニリプロール | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| テニルクロール | (参考) H5 環告第35号 2(47). GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| テブコナゾール | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| テブチウロン | ☆ | |
| テブフェノジド | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| テブフェンピラド | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| テブフロキン | ☆ | |
| テプラロキシジム | ☆ | |
| テフリルトリオン | ☆ | |
| テフルトリン | ☆ | |
| テフルベンズロン | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(10) 《ゴルフ場農薬指針》その11 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------------------------|---|------------------------|
| 塩基性塩化銅、塩基性硫酸銅、無水硫酸銅、硫酸銅五水和物及び水酸化第二銅 | ☆ | |
| トプラメゾン | ☆ | |
| トラロメトリン | ☆ | |
| トリアジフラム | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| トリアフアモン | ☆ | |
| トリクロピルトリエチルアンモニウム | ☆ | |
| トリクロピルブロトキシエチル | ☆ | |
| トリシクラゾール | (参考) H5 環告第35号 2(123). GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| | (参考) H5 環告第35号 2(123). GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| トリチコナゾール | ☆ | |
| トリネキサパックエチル | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 51. HPLC法*(4) | HPLC(UV) |
| | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 51. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| トリフルミゾール | ☆ | |
| トリフルメゾビリム | (参考) H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| トリフルラリン | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| トリフロキシストロビン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| トリフロキシスルフロンナトリウム塩 | ☆ | |
| トリホリン | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 22. GC法*(4) | GC(FPD Pフィルター付) |
| トルクロホスメチル | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| | (参考) H15 要調査項目等調査マニュアル IV-x GC-MS 法 | GC-MS |
| トルビラレート | ☆ | |
| トルフェンビラド | (参考) LC-MS法*(5) | LC-MS |
| トルプロカルブ | ☆ | |
| 1-ナフタレン酢酸ナトリウム | ☆ | |
| ナプロパミド | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 40. GC法*(4) | GC(NPD又はFTD) |
| | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1., II 2. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| | (参考) H15 要調査項目等調査マニュアル IV-x GC-MS 法 | GC-MS |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(11) 『ゴルフ場農薬指針』その12 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|--|-----------------------------------|
| ニコスルフロン | ☆ (参考) H5 環告第35号 2(36). GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| ニテンピラム | (参考) H5 環告第35号 2(36). (CPFのみ) GC法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(36). (ニテンピラムのみ) HPLC法*(2) | GC(NPD又はFTD) HPLC(UV) |
| ノバルロン | ☆ | |
| パクロブトラゾール | (参考) H5 環告第35号 2(42). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(42). GC法*(2) (参考) LC-MS/MS法*(5) | GC-MS GC(NPD又はFTD) LC-MS/MS |
| 麦芽スイートルーピン抽出たんぱく質 | ☆ | |
| パラコートジクロリド又はパラコート | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| バリダマイシン | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 23. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| ハロスルフロンメチル | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 41., II 6. HPLC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | HPLC(UV) LC-MS/MS |
| ピカルブトラゾクス | ☆ | |
| ピコキシストロビン | ☆ | |
| ピジフルメトフェン | ☆ | |
| ビスピリバックナトリウム塩 | (参考) H5 環告第35号 2(98). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| ビフェナゼート | ☆ | |
| ビフェントリン | (参考) GC-MS法*(5) | 高分解能GC-MS |
| ピフルブミド | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ピメトロジン | (参考) H5 環告第35号 2(72). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| ピラクロストロビン | ☆ | |
| ピラクロニル | (参考) H5 環告第35号 2(142). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| ピラジフルミド | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ピラゾキシフェン | (参考) H5 環告第35号 2(67). GC法*(2) | GC(NPD,FTD又はECD) |
| ピラゾスルフロンエチル | (参考) H5 環告第35号 2(16). HPLC法*(2) (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) HPLC(UV) |
| ピラゾリネート又はピラゾレート | (参考) H5 環告第35号 2(68). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| ピラフルフェンエチル | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ピリオフェノン | ☆ | |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(12) 『ゴルフ場農薬指針』その13 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------|---|---|
| ピリダクロメチル | ☆ | |
| ピリダベン | ☆ | |
| ピリダリル | (参考) GC-MS法*(5) (参考) GC-MS/MS法*(5) | GC-MS GC-MS/MS |
| ピリフタリド | (参考) H5 環告第35号 2(131). (ピリフタリドのみ) GC法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(131). (ピリフタリドのみ) HPLC法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(131). (スルホン酸体、ピリミジン体のみ) HPLC法*(2) | GC(NPD又はFTD) HPLC(UV,カラムスイッチングシステム付) |
| ピリブチカルブ | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 42., II 4. GC-MS 法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 I 42. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | HPLC(UV) GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| ピリフルキナゾン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ピリプロキシフェン | ☆ | LC-MS/MS |
| ピリベンカルブ | (参考) LC-MS/MS法*(5) | |
| ピリミジフェン | ☆ | |
| ピリミスルファン | ☆ | |
| ピリミノバックメチル | (参考) H5 環告第35号 2(119). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(119). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| ピリミホスメチル | ☆ | |
| ピレトリン | ☆ | |
| ピロキサスルホン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ピロキロン | (参考) H5 環告第35号 2(91). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(91). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| ファモキサドン | ☆ | |
| フィプロニル | ☆ | |
| フェナリモル | ☆ | |
| フェニトロチオン又はMEP | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 9. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) (参考) H5 環水規第121号付表1 の第1 GC-MS 法 (参考) H5 環水規第121号付表1 の第2 GC法 | GC(FPD Pフィルター付) LC-MS/MS GC-MS GC-MS GC(ECD,FTD又はFPD Pフィルター付) |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(13) 『ゴルフ場農薬指針』その14 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------|--|---|
| フェノキサスルホン | (参考) GC-MS法*(5) | GC-MS |
| フェノキサニル | (参考) H5 環告第35号 2(49). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(49). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| フェノチオカルブ | ☆ | |
| フェノブカルブ又はBPMC | (参考) H5 環告第35号 2(105). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(105). GC法*(2) (参考) H5 環水規第121号付表1 の第1 GC-MS 法 (参考) H5 環水規第121号付表1 の第2 GC法 | GC-MS GC(NPD又はFTD) GC-MS GC(FTD) |
| フェリムゾン | (参考) LC-MS法*(5) (参考) H5 環告第35号 2(114). HPLC法*(2) (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS HPLC(UV) LC-MS/MS |
| フェンアミドン | ☆ | |
| フェンキノトリオン | ☆ | |
| フェンチオン又はMPP | ☆ | |
| フェントエート又はPAP | (参考) H5 環告第35号 2(21). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(21). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD,FTD又はFPD Pフィルター付) |
| フェントラザミド | (参考) H5 環告第35号 2(40). (CPTのみ) GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(40). (CPTのみ) GC法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(40). (フェントラザミドのみ) HPLC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) HPLC(UV) |
| フェンバレート | (参考) H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| フェンピラザミン | ☆ | |
| フェンピロキシメート | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| フェンブコナゾール | ☆ | |
| フェンプロパトリル | ☆ | |
| フェンヘキサミド | ☆ | |
| フェンメディファム | ☆ | |
| フサライド | (参考) H5 環告第35号 2(90). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(90). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| ブタクロール | (参考) H5 環告第35号 2(109). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(109). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(14) 『ゴルフ場農薬指針』その15 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|---|--------------------------------------|
| ブタミホス | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 43. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) ☆ | GC(FPD Pフィルター付) LC-MS/MS GC-MS |
| ブトルアリン | | GC-MS |
| ブプロフェジン | (参考) H5 環告第35号 2(100). GC-MS 法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| フラザスルフロン | (参考) H5 環告第35号 2(100). GC法*(2) (参考) H2 環水土第77号 別添 I 44., II 6. HPLC法*(4) | HPLC(UV) |
| フラメタピル | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H5 環告第35号 2(31). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(31). GC法*(2) | LC-MS/MS GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| フルアクリピリム | ☆ | |
| フルアジナム | ☆ | |
| フルアジ'ホップ'P'チル又はフルアジ'ホップ'及びフルアジ'ホップ'P'チル又はフルアジ'ホップ'P | (参考) H5 環告第35号 2(104). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| フルエンスルホン | ☆ | |
| フルオキサストロビン | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| フルオピコリド | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| フルオピラム | ☆ | |
| フルオルイミド | ☆ | |
| フルキサピロキサド | ☆ | |
| フルキサメタミド | ☆ | |
| フルジオキソニル | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| フルシリネート | ☆ | |
| フルスルファミド | ☆ | |
| フルセトスルフロン | (参考) LC-MS 法*(5) | LC-MS |
| フルチアセットメチル | ☆ | |
| フルチアニル | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| フルトラニル | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 25. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) | GC(NPD又はFTD) LC-MS/MS GC-MS |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(15) 《ゴルフ場農薬指針》その16 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------|---|--|
| フルピラジフロン | ☆ | |
| フルピリミン | ☆ | |
| フルフェナセット | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| フルフェノクスロン | ☆ | |
| フルプロパネートナトリウム塩又はテトラピオン | ☆ | |
| フルベンジアミド | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| フルポキサム | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| フルミオキサジン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| フルルプリミドール | ☆ | |
| プレチラクロール | (参考) H5 環告第35号 2(28). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(28). GC法*(2) | GC-MS GC(NPD又はFTD) |
| プロクロラズ | ☆ | |
| プロジアミン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| プロシミドン | (参考) H5 環告第35号 2(62). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(62). GC法*(2) (参考) GC法*(5) | GC-MS GC(NPD,FTD又はECD) GC(NPD,FTD又はECD) |
| プロスルホカルブ | ☆ | |
| プロチオコナゾール | ☆ | |
| プロチオホス | ☆ | |
| フロニカミド | ☆ | |
| プロパニル | ☆ | |
| プロパモカルブ塩酸塩 | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| プロパルギット又はBPPS | ☆ | |
| プロピコナゾール | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 26., II 2. GC-MS 法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 I 26. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 I 45. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) (参考) H5 環水規第121号付表1 の第1 GC-MS 法 (参考) H5 環水規第121号付表1 の第2 GC法 | GC-MS GC(NPD又はFTD) LC-MS/MS GC(ECD) LC-MS/MS GC-MS GC-MS GC(ECD又はFTD) |
| プロピザミド | | |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(16) 『ゴルフ場農薬指針』その17 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------|---|------------------------|
| プロヒドロジヤスモン | ☆ | |
| プロピネブ | (参考) GC法*(5) | GC(ECD) |
| プロピリスルフロン | ☆ | |
| プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル | ☆ | |
| プロフェノホス | ☆ | |
| プロフラニリド | ☆ | |
| プロヘキサジオンカルシウム塩 | (参考) H5 環告第35号 2(25). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| プロベナゾール | (参考) H5 環告第35号 2(3). GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| | (参考) H5 環告第35号 2(3). GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| プロマシル | ☆ | |
| フロメトキン | ☆ | |
| プロメトリン | (参考) H5 環告第35号 2(95). GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| プロモブチド | (参考) H5 環告第35号 2(95). GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| フロラスマム | (参考) H5 環告第35号 2(110). GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| フロルピラウキシフェンベンジル | ☆ | |
| ヘキサコナゾール | ☆ | |
| ヘキサジノン | (参考) GC-MS法*(5) | GC-MS |
| ヘキシチアゾクス | ☆ | |
| ペノキスラム | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ペラルゴン酸及びペラルゴン酸カリウム塩 | (参考) H5 環告第35号 2(143). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| ペルメトリン | ☆ | |
| | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| | (参考) H5 環告第35号 2(99). GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| | (参考) H5 環告第35号 2(99). GC法*(2) | GC(ECD) |
| | (参考) H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| ペンシクロン | (参考) H12 農薬等の環境残留実態調査分析法 I 3. GC-MS法 | GC-MS |
| | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 28. メチル誘導体化GC法*(4) | GC(NPD又はFTD) |
| | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| ベンジルアデニン又はベンジルアミノプロリン | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(17) 《ゴルフ場農薬指針》その18 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------|---|---|
| ベンズルタップ(*1)のみカルタップとして | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 10. LC-MS/MS法*(4) (参考) H5 環告第35号 2(75). GC-MS 法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(75). GC法*(2) (参考) H5 環告第35号 2(120). HPLC法*(2) ☆ | LC-MS/MS GC-MS GC(NPD,FTD又はFPD Sフィルター付) HPLC(UV) |
| ベンズルフロンメチル | (参考) H5 環告第35号 2(45). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| ベンズピリモキサン | (参考) H5 環告第35号 2(60). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| ベンゾビシクロン | (参考) H5 環告第35号 2(7). メチル誘導体化GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| ベンゾフェナップ | (参考) H5 環告第35号 2(7). メチル誘導体化GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| ベンタゾンナトリウム塩又はベンタゾン | ☆ | |
| ベンチアバリカルブイソプロピル | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ベンチオピラド | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 47. GC法*(4) | GC(NPD又はFTD) |
| ベンディメタリン | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| ペントキサゾン | (参考) H5 環告第35号 2(29). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| ベンフラカルブ | (参考) H5 環告第35号 2(14). GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| | (参考) H5 環告第35号 2(14). GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| ベンフルフェン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ベンフルラリン又はベスロジン | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 48., II 4. GC法*(4) | GC(ECD) |
| | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 4. GC-MS 法*(4) | GC-MS |
| ベンフレセート | (参考) H5 環告第35号 2(71). GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| | (参考) H5 環告第35号 2(71). GC法*(2) | GC(FPD Sフィルター付) |
| ホサロン | ☆ | |
| ボスカリド | (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | LC-MS/MS |
| ホスチアゼート | (参考) GC法*(5) | GC(FPD Pフィルター付) |
| ホセチルアルミニウム又はホセチル | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 29. メチル誘導体化GC法*(4) | GC(NPD,FTD又はFPD Pフィルター付) |
| ホラムスルフロン | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| ポリオキシンD亜鉛塩 | ☆ | |
| ポリオキシン複合体 | ☆ | |
| ホルペット | ☆ | |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(18) 『ゴルフ場農薬指針』その19 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|---|---|
| マラチオン又はマラソン | (参考)H5 環告第35号 2(97). GC-MS 法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(97). GC法*(2) (参考)H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル IX i GC-MS 法 (参考)H12 農薬等の環境残留実態調査分析法 I 2. GC-MS法 | GC-MS GC(NPD又はFTD) GC-MS GC-MS |
| マレイン酸ヒドラジドカリウム | ☆ | |
| マンジプロパミド | ☆ | |
| マンゼブ | | |
| マンデストロビン | (参考)H12 農薬等の環境残留実態調査分析法 I 5. メチル誘導体化HPLC法 | HPLC(UV) |
| マンネブ | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ミクロブタニル | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| ミルベメクチン | (参考) H12 農薬等の環境残留実態調査分析法 I 5. メチル誘導体化HPLC法 | HPLC(UV) |
| メコプロップカリウム塩又はMCPPカリウム塩、メコプロップジメチルアミン塩又はMCPPジメチルアミン塩、メコプロップPイソプロピルアミン塩及びメコプロップPカリウム塩 | (参考) LC-MS/MS法*(5) (参考) H2 環水土第77号 別添 I 49. エステル誘導体化GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 6. HPLC法*(4) | LC-MS/MS GC(ECD) LC-MS/MS HPLC(UV) |
| メソトリオン | ☆ | |
| メソミル | (参考)H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル IX v o-フタルアルdehyド誘導体化HPLC法 | HPLC(FL) |
| メタアルデヒド | (参考)H5 環告第35号 2(141). GC-MS 法*(2) | GC-MS |
| メタゾスルフロン | ☆ | |
| メタフルミゾン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| メタミトロン | ☆ | |
| メタミホップ | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| メタムアンモニウム塩又はカーバム及びメタムナトリウム塩又はカーバムナトリウム塩 | (参考) (メチルイソチオシアネート) GC-MS法*(5) | GC-MS |
| メタラキシル及びメタラキシルM | (参考)H2 環水土第77号 別添 I 31., II 2. GC-MS 法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 I 31. GC法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) | GC-MS GC(NPD又はFTD) LC-MS/MS |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(19) 『ゴルフ場農薬指針』その20 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------|--|-----------------------------------|
| メチオゾリン | ☆ | |
| メチダチオン又はDMTP | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| メチルイソチオシアネート | (参考) (メチルイソチオシアネート) GC-MS法*(5) | GC-MS |
| メチルテトラプロール | ☆ | |
| メキシフェノジド | (参考) H5 環告第35号 2(108). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| メコナゾール | (参考) GC法*(5) | GC(NPD又はFTD) |
| メスルフロンメチル | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| メブロムロン | ☆ | |
| メミノストロビン | (参考) H5 環告第35号 2(129). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| メトラクロール及びS-メトラクロール | (参考) GC法*(5) | GC(NPD又はFTD) |
| メトリブジン | (参考) H10 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| メパニピリム | ☆ | |
| メピコートクロリド | ☆ | |
| メフェナセット | (参考) H5 環告第35号 2(113). GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| メフェントリフルコナゾール | ☆ | |
| メプロニル | (参考) H2 環水土第77号 別添 I 32. GC法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 1. LC-MS/MS法*(4) (参考) H2 環水土第77号 別添 II 2. GC-MS 法*(4) | GC(NPD又はFTD) LC-MS/MS GC-MS |
| モリネート | (参考) H5 環告第35号 2(19). GC法*(2) | GC(NPD又はFTD) |
| ヨウ化メチル | ☆ | |
| ヨードスルフロンメチルナトリウム塩 | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| ランコトリオンナトリウム塩 | ☆ | |
| リニュロン | (参考) H5 環告第35号 2(64). HPLC法*(2) | HPLC(UV) |
| リムスルフロン | (参考) LC-MS/MS法*(5) | LC-MS/MS |
| リン化亜鉛 | ☆ | |
| ルフェヌロン | ☆ | |
| レナシル | (参考) HPLC法*(5) | HPLC(UV) |
| レピメクチン | ☆ | |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年8月3日より前の登録)」(平成5年4月28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和2年3月26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成2年5月24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年6月18日環水大土発第1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-8-2-(20) 《ゴルフ場農薬指針》その21 *(1)及び*(3)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|--|
| 2,4-Dイソプロピルアミン塩又は2,4-PAイソプロピルアミン塩、2,4-Dジメチルアミン塩又は2,4-PAジメチルアミン塩、2,4-Dナトリウム塩一水和物又は2,4-PAナトリウム塩一水和物 | (参考)H10 外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル IX ii (2,4-D) ジアゾメタン誘導体化GC-MS 法 (参考)H12 農薬等の環境残留実態調査分析法 I 4. (2,4-D) プチルエステル化GC-MS 法 (参考)H12 農薬等の環境残留実態調査分析法 I 4. (2,4-D) メチル化GC 法 (参考)H5 環告第35号 2(65). (2,4-Dジメチルアミン、2,4-Dナトリウム) プチルエステル化GC-MS 法*(2) (2,4-Dとして) (参考)H5 環告第35号 2(65). (2,4-Dジメチルアミン、2,4-Dナトリウム) プチルエステル化GC法*(2) (2,4-Dとして) | GC-MS GC-MS GC(ECD) GC-MS GC(ECD) |
| 2,4-Dエチル又は2,4-PAエチル | (参考)H5 環告第35号 2(65). プチルエステル化GC-MS 法*(2) (2,4-Dとして) (参考)H5 環告第35号 2(65). プチルエステル化GC法*(2) (2,4-Dとして) (参考) LC-MS/MS法*(5) (2,4-Dとして) | GC-MS GC(ECD) LC-MS/MS |
| d-リモネン | ☆ | |
| DBEDC | ☆ | |
| DCIP | ☆ | |
| EPN | | |
| MCPAイソプロピルアミン塩及びMCPAナトリウム塩(*3)のみMCPAエチル含む | (参考)H5 環水規第121号付表1 の第1 GC-MS 法 (参考)H5 環水規第121号付表1 の第2 GC法 (参考)H2 環水土第77号 別添 I 50. HPLC法*(4) (参考)H2 環水土第77号 別添 I 50. LC-MS/MS法*(4) (参考)H5 環告第35号 2(11). HPLC法*(2) (参考)H5 環告第35号 2(46). HPLC法*(2) | GC-MS GC(ECD,FTD 又はFPD Pフィルター付) HPLC(UV) LC-MS/MS HPLC(UV) HPLC(UV) |
| MCPBエチル | | |

注*(1):「水質汚濁に係る農薬登録基準」(平成20年 7月23日環境省告示第60号・**令和7年3月31日環境省告示第48号改正現在**)

注*(2):「水質汚濁に係る農薬登録保留基準(H18年 8月 3日より前の登録)」(平成 5年 4月 28日環境庁告示第35号・平成20年7月23日環境省告示第59号改正現在)

注*(3):「生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準(水域の生活環境動植物)」(令和 2年 3月 26日環境省告示第31号・**令和7年3月31日環境省告示第47号改正現在**)

注*(4):「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について(旧暫定指導指針)」(平成 2年 5月 24日環水土第77号環境庁水質保全局長通知・平成25年 6月 18日環水大土発第 1306181号改正現在)

注*(5):環境省ホームページに掲載の「登録基準値が設定されている農薬の分析法」

☆印は、法定(公定)の方法やJISにおいて測定分析方法が定められておらず、水道、食品、農作物の方法を準用として下さい。

※必要な検出感度が得られるならば、他の分析方法でも構わない。

別表2-9 《トリハロメタン生成能》

特定水道利水障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法施行規則第五条第二項の規定に基づく環境大臣が定める検定方法(平成7年6月16日環境庁告示第30号・**令和7年3月31日環境省告示第44号改正現在**)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|---------------------------------------|------------------------|
| トリハロメタン生成能 | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| (クロロホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、ブロモホルムの生成能) | JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC(ECD) |

別表2-10-(1) 《水の環境ホルモン》その1

外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル(平成10年10月 日環水管第278号 環境庁水質保全局水質管理課長通知)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------|------------|------------------------|
| ポリ塩化ビフェニル(PCB) | I GC-MS 法 | GC-MS 又は高分解能GC-MS |
| α -HCH | II GC-MS 法 | GC-MS |
| β -HCH | II GC-MS 法 | GC-MS |
| γ -HCH(リンデン) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| δ -HCH | II GC-MS 法 | GC-MS |
| p,p'-DDT | II GC-MS 法 | GC-MS |
| p,p'-DDE | II GC-MS 法 | GC-MS |
| p,p'-DDD | II GC-MS 法 | GC-MS |
| メトキシクロル | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ケルセン(ディコホル) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| アルドリン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ディルドリン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドリン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドサルファン I | II GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドサルファン II | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘプタクロル | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘプタクロルエポキサイド | II GC-MS 法 | GC-MS |
| trans-クロルデン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| cis-クロルデン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| オキシクロルデン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| trans-ノナクロル | II GC-MS 法 | GC-MS |
| cis-ノナクロル | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘキサクロロベンゼン(HCB) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| オクタクロロスチレン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ポリ臭化ビフェニル(PBB) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ベンゾ(a)ピレン(BaP) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| | VI GC-MS 法 | GC-MS |

別表2-10-(2) 『水の環境ホルモン』その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------|---|------------------------|
| 4-t-ブチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-n-ペンチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-n-ヘキシルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-ヘプチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-t-オクチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-n-オクチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ノニルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ビスフェノールA | III ii トリメチルシリル誘導体化GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4-ジクロロフェノール | III ii トリメチルシリル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ペンタクロロフェノール(PCP) | III ii トリメチルシリル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジエチル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジプロピル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジイソブチル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-ブチル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-ペンチル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-ヘキシル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジシクロヘキシル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ブチルベンジル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル(DEHA) | V GC-MS 法 | GC-MS |
| ベンゾフェノン | VI GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-ニトロトルエン | VI GC-MS 法 | GC-MS |
| スチレン2量体 | VI GC-MS 法 | GC-MS |
| スチレン3量体 | VI GC-MS 法 | GC-MS |

別表2-10-(3) 『水の環境ホルモン』その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------------|--|------------------------|
| 1,2-ジプロモ-3-クロロプロパン(DBCP) | VII ヘッドスペース・GC-MS 法 VIII パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| スチレン | VII ヘッドスペース・GC-MS 法 VIII パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| n-ブチルベンゼン | VII ヘッドスペース・GC-MS 法 VIII パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| アトラジン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| シマジン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| メトリブジン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| カルバリル | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| アラクロール | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| エチルパラチオン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| マラチオン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| ニトロフェン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| トリフルラリン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| シペルメトリン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| エスフェンバレレート | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| フェンバレレート | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| ペルメトリン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| ビンクロゾリン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸(2,4,5-T) | IX ii ジアゾメタン誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D) | IX ii ジアゾメタン誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ベノミル | IX iii ジアゾメタン誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| アミトロール(3-アミノ-1,2,4-トリアゾール) | IX iv フルオレスカミン誘導体化HPLC法 | HPLC(FL) |
| メソミル | IX v o-フタルアルデヒド誘導体化HPLC法 | HPLC(FL) |
| トリブチルスズ化合物 | X プロピル誘導体化GC法 | GC(FPD) |
| トリフェニルスズ化合物 | X プロピル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| | X プロピル誘導体化GC法 | GC(FPD) |
| | X プロピル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| β-エストラジオール | XI t-BDMS誘導体化GC-MS 法 XI ELISA法 | GC-MS — |

別表2-11-1-(1) 《水の要調査項目等》その1

要調査項目等調査マニュアル(平成11年12月 環境庁水質保全局水質管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|--|------------------------|
| 揮発性有機物質 | | |
| エチルベンゼン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 塩化アリル(アリルクロライド) | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 塩化エチル(クロロエタン) | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 塩化ビニル | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 塩化メチル | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジシクロペントジエン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| シクロペンタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,1-ジクロロエタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジブロモクロロメタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 臭化メチル | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,1,1,2-テトラクロロエタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,1,2,2-テトラクロロエタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,2,3-トリクロロプロパン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,3-ブタジエン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| ブロモクロロメタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| ブロモジクロロメタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1-ブロモプロパン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2-ブロモプロパン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |

別表2-11-1-(2) 《水の要調査項目等》その2

要調査項目等調査マニュアル(平成11年12月 環境庁水質保全局水質管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------------------|---|--------------------------------------|
| 揮発性有機物質 n-ヘキサン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| メチルt-ブチルエーテル | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| クロロベンゼン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ホルムアルデヒド | III PFBOA 誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ピリチオン類 ジンクピリチオン カッパーピリチオン | IV LC-MS 法 IV LC-MS 法 | LC-MS LC-MS |
| エストラジオール類 17 β -エストラジオール | V メチル誘導体化GC-MS 法 VI ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS(NCI)法 | GC-MS GC-MS(NCI式)(NCI:負イオン化学イオン化) |
| 17 α -エストラジオール | V メチル誘導体化GC-MS 法 VI ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS(NCI)法 | GC-MS GC-MS(NCI式)(NCI:負イオン化学イオン化) |
| エチニルエストラジオール | V メチル誘導体化GC-MS 法 VI ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS(NCI)法 | GC-MS GC-MS(NCI式)(NCI:負イオン化学イオン化) |

別表2-11-2-(1) 『水の要調査項目等』その3

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------|--|----------------------------------|
| 金属 | | |
| 亜鉛及びその化合物(総亜鉛) | IV- i 電気加熱原子吸光法 IV- i ICP 発光分析法 IV- i ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 銅及びその化合物(総銅) | IV- i 電気加熱原子吸光法 IV- i ICP 発光分析法 IV- i ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| ベリリウム及びその化合物(総ベリリウム) | IV- i 電気加熱原子吸光法 IV- i ICP 発光分析法 IV- i ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 揮発性有機物質 | | |
| アクリル酸メチル | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| アクリル酸エチル | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| アクリル酸ブチル | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| エピクロロヒドリン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| イソプレン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| イソプロピルベンゼン(クメン) | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 塩化ベンジル(ベンジルクロライド) | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1-オクテン | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| クロロ酢酸エチル(エチルクロロアセテート) | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| p-クロロトルエン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |

別表2-11-2-(2) 『水の要調査項目等』その4

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|-------------------------------|------------------------|
| 揮発性有機物質 | | |
| 酢酸ビニル | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 酸化プロピル(プロピレンオキシド、1,2-エボキシプロパン) | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1, 2-ジエチルベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1, 3-ジエチルベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1, 4-ジエチルベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1, 2-ジクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1, 3-ジクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1, 2, 3-トリクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1, 2, 4-トリクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1, 3, 5-トリクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 二硫化炭素 | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘキサクロロブタジエン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| ペンタクロロエタン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 水溶性物質 | | |
| アクリロニトリル | IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| エチレングリコールモノメチルエーテル(2-メキシエタノール) | IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| エチレングリコールモノエチルエーテル(2-エトキシエタノール) | IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| エチレングリコールモノブチルエーテル(2-ブトキシエタノール) | IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(2-エトキシエチルアセテート) | IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| | IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS |

別表2-11-2-(3) 《水の要調査項目等》その5

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------------|---|------------------------|
| 水溶性物質 | | |
| 1,4-ジオキサン | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ピリジン | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| アクリル酸2-ヒドロキシエチル | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| アセトニトリル | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| アリルアルコール | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| アリルグリシジルエーテル | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジメチルスルホキシド(DMSO) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| N,N-ジメチルホルムアミド | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1-ブタノール | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1-ブロパノール(ノルマルプロピルアルコール) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2-ブロパノール(イソブロピルアルコール) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2-メチルピリジン(α-ピリジン, 2-ピリジン) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 3-メチルピリジン(β-ピリジン, 3-ピリジン) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-メチルピリジン(γ-ピリジン, 4-ピリジン) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 置換ヘンゼン類 | | |
| o-クロロニトロベンゼン(o-CNBz) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| p-クロロニトロベンゼン(p-CNBz) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4-ジニトロトルエン(2,4-DNT) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,6-ジニトロトルエン(2,6-DNT) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 有機酸エステル類 | | |
| アクリル酸2-エチルヘキシル(EHAc) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジアリル(DAP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-i-ヘプチル(DIHP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジメチル(DMP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-オクチル(DNOP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-i-ブチル(DIBP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-ヘプチル(DNHP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |

別表2-11-2-(4) 『水の要調査項目等』その6

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------------------------|------------------------------|------------------------|
| 有機リン酸エステル類 | | |
| リン酸トリキシレニル(TXP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリクレシル(TCP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリス(イソプロピルフェニル)(TIPP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリス(2-エチルヘキシル)(TEHP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリス(2-クロロエチル)(TCEP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリフェニル TPP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリブチル(TBP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 農薬類 | | |
| カルボフラン | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| クロルピリホス | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| シメトリン | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| プレチラクロール | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| モリネート | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フェノール類 | | |
| o-クレゾール | IV-vii ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| m-クレゾール | IV-vii ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| p-クレゾール | IV-vii ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| フェノール | IV-vii ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アニリン類 | | |
| アニリン | IV-viii アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| o-クロロアニリン | IV-viii アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| m-クロロアニリン | IV-viii アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| p-クロロアニリン | IV-viii アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ジフェニルアミン | IV-viii アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| N-メチルアニリン | IV-viii アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 2,4-ジ'アミノトルエン(m-トルイレンジ'アミン) | IV-ix ヘプタフルオロブチリル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 4,4'-メチレンジ'アニリン(4,4'-ジ'アミノジ'フェニルメタン) | IV-x トリフルオロアセチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| エチレンジ'アミン四酢酸(EDTA) *(1) | IV-x i メチルエステル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |

注*(1):海水は除く。

別表2-11-2-(5) 『水の要調査項目等』その7

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------------------|---|------------------------|
| クロロ酢酸類 | | |
| モノクロロ酢酸 | IV-x ii メチル誘導体化GC法 IV-x ii メチル誘導体化GC-MS法 | GC(ECD) GC-MS |
| ジクロロ酢酸 | IV-x ii メチル誘導体化GC法 IV-x ii メチル誘導体化GC-MS法 | GC(ECD) GC-MS |
| トリクロロ酢酸 | IV-x ii メチル誘導体化GC法 IV-x ii メチル誘導体化GC-MS法 | GC(ECD) GC-MS |
| アルデヒド類 | | |
| アクロレイン | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アセトアルデヒド | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| グルタルアルデヒド | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ベンズアルデヒド | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| グリオキサール | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(LAS) | IV-x iv HPLC法 IV-x iv LC-MS法 | HPLC(FL) LC-MS |
| ニトロソアミン類 | | |
| N-ニトロソジフェニルアミン | IV-x v 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| N-ニトロソジ-n-プロピルアミン(ジ-n-プロピルニトロソアミン) | IV-x v 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| N-ニトロソジメチルアミン | IV-x v 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| N-ニトロソモルホリン | IV-x v 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| アクリルアミド | IV-x vi キサンチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ホリオキシエチレン型非イオン界面活性剤 | | |
| ホリオキシエチレンアルキルエーテル | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ホリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ホリオキシエチレンアルキルアミン | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ホリオキシエチレンアルキルアミド | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ホリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |

別表2-11-3-(1) 『水の要調査項目等』その8

要調査項目等調査マニュアル(平成14年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------------------------|---|---------------------------------------|
| ウラン | IV-i ICP 質量分析法 | ICP-MS |
| マンガン及びその化合物(総マンガン) | IV-i 電気加熱原子吸光法 IV-i ICP 発光分析法 IV-i ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 三価クロム | IV-ii ジフェニルカルバジド吸光光度法 IV-ii フレーム原子吸光法 IV-ii 電気加熱原子吸光法 IV-ii ICP 発光分析法 IV-ii ICP 質量分析法 | SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 酸化エチレン(エチレンオキサイド) | IV-iii パージ・固相捕集・臭化物誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アルコール類 | | |
| 1-オクタノール | IV-iv BSTFA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 1-ノナノール(1-ノニルアルコール) | IV-iv BSTFA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 1-デカノール(1-デシルアルコール) | IV-iv BSTFA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 1,3-ジクロロ-2-プロパノール | IV-v 水蒸気蒸留後固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| モノエタノールアミン | IV-vi BSC 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アルキルアミン類 | | |
| シクロヘキシルアミン | IV-vii アルカリ性蒸留後溶媒抽出・アセチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ジシクロヘキシルアミン | IV-vii アルカリ性蒸留後溶媒抽出・アセチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ビス(2-エチルヘキシル)アミン | IV-vii アルカリ性蒸留後溶媒抽出・アセチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ニトリロ三酢酸(NTA)*(1) | IV-viii メチルエステル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 芳香族炭化水素化合物 | | |
| α-メチルスチレン(イソプロペニルベンゼン) | IV-ix パージ・トラップ・GC-MS 法 IV-ix (参考法1)ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ニトロベンゼン | IV-ix パージ・トラップ・GC-MS 法 IV-ix (参考法1)ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ポリプロモジフェニルエーテル(デカブロモジフェニルエーテル含む) | IV-x 溶媒(又は固相)抽出・GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| フェノール類 | | |
| 2,4-キシレノール(2,4-ジメチルフェノール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,5-キシレノール(2,5-ジメチルフェノール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,6-キシレノール(2,6-ジメチルフェノール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 3,5-キシレノール(3,5-ジメチルフェノール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,4,6-トリクロロフェノール | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,4,6-トリブロモフェノール | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| o-メキシフェノール(グアヤコール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |

注*(1):海水は除く。

別表2-11-3-(2) 『水の要調査項目等』その9

要調査項目等調査マニュアル(平成14年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|--|
| メチレンビスアニリン類 4,4'-ジアミノ-3,3'-ジクロロジフェニルメタン (4,4'-メチレンビス(2-クロロアニリン))(DACP) | IV-x ii MBTFA誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ベンジシン類 3,3'-ジクロロベンジシン(3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノビフェニル)(DCB) | IV-x ii MBTFA誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 有機スズ化合物 ジブチルスズ化合物(DBT) トリブチルスズ化合物(TBT) モノフェニルスズ化合物(MPT) ジフェニルスズ化合物(DPT) トリフェニルスズ化合物(TPT) | IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| トリクロピル ベンタゾン及びヘンタゾンのナトリウム塩 | IV-x iv アルカリ加水分解後ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-x iv アルカリ加水分解後ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 | GC-MS GC-MS |
| グリホサート アセフェート トリクロルホン(DEP) | IV-x v FMOC-Cl誘導体化HPLC法 IV-x vi 活性炭抽出・GC-MS法 IV-x vii アセチル誘導体化GC-MS法 | HPLC(FL) GC-MS GC-MS |
| ニトロベンゼン類 1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン 1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン キントゼン(ペントクロロニトロベンゼン)(PCNB) | IV-x vii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x vii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x vii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| 農薬類 シアナジン ジチオピル ピリズチカルブ ブタミホス ベンディメタリン メタラキシル | IV-x vii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x vii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x vii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x vii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x vii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x vii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |

別表2-11-4-(1) 『水の要調査項目等』その10

要調査項目等調査マニュアル(平成15年3月 環境省環境管理局水環境部企画課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|---|
| テルル及びその化合物(総テルル) | IV-i 水素化物発生原子吸光法 IV-i 水素化物発生ICP発光分析法 IV-i ICP質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| バリウム及びその化合物(総バリウム) | IV-i ICP発光分析法 IV-i ICP質量分析法 | ICP-AES ICP-MS |
| アニシン類 o-アニシン m-アニシン p-アニシン | IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| キシリシン類 2,3-キシリシン 2,4-キシリシン 2,5-キシリシン 2,6-キシリシン 3,4-キシリシン 3,5-キシリシン | IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| トルイシン類 o-トルイシン m-トルイシン p-トルイシン | IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| N-エチルアニリン N,N-ジ'メチルアニリン | IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS |
| 4-クロロ-3-メチルフェノール | IV-iii 固相抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| クロロフェノール類 o-クロロフェノール m-クロロフェノール p-クロロフェノール p-ブロモフェノール | IV-iii 固相抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 IV-iii 固相抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 IV-iii 固相抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 IV-iii 固相抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| トリクロサン及びその塩素置換体 トリクロサン 3-クロロトリクロサン 5-クロロトリクロサン 3,5-ジ'クロロトリクロサン 2,6-ジ'ーt-ブ'チル-4-メチルフェノール (2,6-di-tB-4MP) 2,6-ジ'ーt-ブ'チル-4-エチルフェノール (2,6-di-tB-4EP) 2,4,6-トリーt-ブ'チルフェノール(2,4,6-tri-tBP) | IV-iv ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-iv ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-iv ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-iv ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-v 固相抽出・GC-MS法 IV-v 固相抽出・GC-MS法 IV-v 固相抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |

別表2-11-4-(2) 『水の要調査項目等』その11

要調査項目等調査マニュアル(平成15年3月 環境省環境管理局水環境部企画課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|------------------------|
| テトラブロモビスフェノールA | IV-vi 固相抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,2-ビス[4-(2-ヒドロキシエトキシ)-3,5-ジブロモフェニル]プロパン (TBA-EO) | IV-vii 固相抽出・トリメチルシリル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾチアゾール | IV-viii 固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 多環芳香族炭化水素(PAHs) | | |
| アントラセン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[a]アントラセン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ジベンゾ[a,h]アントラセン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| フェナントレン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| フルオランテン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[b]フルオランテン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[k]フルオランテン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[j]フルオランテン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ピレン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[a]ピレン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[e]ピレン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| インデノ[1,2,3-cd]ピレン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| クリセン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ヘリレン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[g,h,i]ヘリレン | IV-ix 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 農薬類 | | |
| イソフェンホス | IV-x 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| イプロジオン | IV-x 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| キャブタン | IV-x 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| トルクロホスメチル | IV-x 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ナプロハミド | IV-x 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ブタクロール | IV-x 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| フルトラニル | IV-x 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| プロペナゾール | IV-x 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ポリ塩化ナフタレン(PCN)(1~8塩化物) | IV-x i 大容量サンプルPUF固相吸着、ディスク型固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ミクロシスチン類(MMPB) | IV-x ii 固相抽出・酸化分解・GC-MS法 | GC-MS |
| | IV-x ii 固相抽出・酸化分解・LC-MS法 | LC-MS |

別表2-11-4-(3) 『水の要調査項目等』その12

要調査項目等調査マニュアル(平成15年3月 環境省環境管理局水環境部企画課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------------------|-----------------------------|------------------------|
| エストラジオール及びその代謝産物 | | |
| 17 α -エストラジオール | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 17 β -エストラジオール | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストロン | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストリオール | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エチニルエストラジオール | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 17 β -エストラジオール-3-硫酸 | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 17 β -エストラジオール-3-グルクロニド | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 17 β -エストラジオール-17-グルクロニド | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストロン-3-硫酸 | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストロン-3-グルクロニド | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストリオール-3-硫酸 | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストリオール-3-グルクロニド | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |

別表2-11-5-(1) 『水の要調査項目等』その13

要調査項目等調査マニュアル(平成16年3月 環境省環境管理局水環境部企画課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------------------|--------------------------------|------------------------|
| ヘキサクロロベン | IV-i 固相又は溶媒抽出・ジアゾメタンメチル化GC-MS法 | GC-MS |
| アシュラム | IV-ii 固相又は溶媒抽出・LC-MS法 | LC-MS |
| ベンズリト(SAP) | IV-ii 固相又は溶媒抽出・LC-MS法 | LC-MS |
| イソバレルアルデヒド(3-メチルブチルアルデヒド) | IV-iii PFBOA 誘導体化溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 2-ブタノン(メチルエチルケトン、MEK) | IV-iii PFBOA 誘導体化溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| モルホリン | IV-iv ベンゼンスルホニル化溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ジクワット | IV-v 固相抽出・LC-MS法 | LC-MS |
| ハラコート | IV-v 固相抽出・LC-MS法 | LC-MS |
| メラミン(2,4,6-トリアミノ-1,3,5-トリアゾン) | IV-vi 固相抽出・LC-MS法 | LC-MS |
| ジクロロアニリン類 | | |
| 2,4-ジクロロアニリン | IV-vii 固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 2,5-ジクロロアニリン | IV-vii 固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 3,4-ジクロロアニリン | IV-vii 固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ナフチルアミン類 | | |
| α -ナフチルアミン(1-ナフチルアミン) | IV-vii 固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| β -ナフチルアミン(2-ナフチルアミン) | IV-vii 固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| N-フェニルナフチルアミン類 | | |
| N-フェニル-1-ナフチルアミン | IV-viii 固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| N-フェニル-2-ナフチルアミン | IV-viii 固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| フルオレスセント | | |
| フルオレスセント・260 | IV-ix 固相抽出・HPLC法 | HPLC(FL) |
| フルオレスセント・351 | IV-ix 固相抽出・HPLC法 | HPLC(FL) |
| クロロピクリン(トリクロロニトロメタン) | IV-x ヘッドスペース・GC-MS法 | GC-MS |
| ホリ塩化ターフェニル(PCT) | IV-x i 固相抽出・GPC処理・GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

別表2-11-5-(2) 『水の要調査項目等』その14

要調査項目等調査マニュアル(平成16年3月 環境省環境管理局水環境部企画課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------|-------------------------|------------------------|
| ニトロトルエン類 | | |
| o-ニトロトルエン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| m-ニトロトルエン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| p-ニトロトルエン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| ビフェニル | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジフェニルメタン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジベンジルエーテル | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| ターフェニル類 | | |
| o-ターフェニル | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| m-ターフェニル | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| p-ターフェニル | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| ナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジメチルナフタレン類 | | |
| 1,2-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,3-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,4-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,5-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,6-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,7-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,8-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,3-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,6-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,7-ジメチルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジイソプロピルナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| 多環芳香族炭化水素(3~4環) | | |
| アセナフチレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| アセナフテン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| フルオレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| フェナントレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| アントラセン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| フルオランテン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| ピレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| デカヒドロナフタレン類 | | |
| シス-デカヒドロナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |
| トランス-デカヒドロナフタレン | IV-x ii 連続水蒸気蒸留・GC-MS 法 | GC-MS |

別表2-11-6-(1) 『水の要調査項目等』その15

要調査項目等調査マニュアル(平成20年3月 環境省水・大気環境局水環境課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------------------|---|------------------------|
| ジニトロフェノール類 | | |
| 2,4-ジニトロフェノール | IV-i 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 2,5-ジニトロフェノール | IV-i 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 2,6-ジニトロフェノール | IV-i 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 2,6-ジニトロ-4-クレゾール | IV-i 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 4,6-ジニトロ-4-クレゾール | IV-i 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| ニトロフェノール類 | | |
| 2-ニトロフェノール | IV-i 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 3-ニトロフェノール | IV-i 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 4-ニトロフェノール | IV-i 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 3-メチル-2-ニトロフェノール | IV-i 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 塩化アルキルジメチルベンジルアンモニウム | | |
| 塩化トデシルジメチルベンジルアンモニウム (C12BAC) | IV-ii 固相抽出・LC-MS 法 IV-ii 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS LC-MS/MS |
| 塩化テトラデシルジメチルベンジルアンモニウム (C14BAC) | IV-ii 固相抽出・LC-MS 法 IV-ii 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS LC-MS/MS |
| 塩化ヘキサデシルジメチルベンジルアンモニウム (C16BAC) | IV-ii 固相抽出・LC-MS 法 IV-ii 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS LC-MS/MS |
| 安息香酸 | IV-iii 固相抽出・メチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| p-t-ブチル安息香酸 | IV-iii 固相抽出・メチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) | IV-iv 固相抽出・LC-MS 法 IV-iv 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS LC-MS/MS |
| ペルフルオロオクタン酸(PFOA) | IV-iv 固相抽出・LC-MS 法 IV-iv 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS LC-MS/MS |
| アジピン酸 | IV-v 固相ろ過精製-活性炭抽出・メチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 2-メルカブトイミダゾリジン*(1) | IV-vi 固相ろ過精製・LC-MS 法 | LC-MS |
| ジニトロベンゼン類 | | |
| 1,4-ジニトロベンゼン | IV-vii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,2-ジニトロベンゼン | IV-vii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,3-ジニトロベンゼン | IV-vii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| ニトロアニソール類 | | |
| o-ニトロアニソール(メキシニトロベンゼン) | IV-vii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| m-ニトロアニソール | IV-vii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| p-ニトロアニソール | IV-vii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| ベンタクロロベンゼン | IV-vii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| アントラキノン | IV-vii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1-フェニル-1-(3,4-ジメチルフェニル)エタン類 | IV-vii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |

注*(1):海水は除く。

別表2-11-6-(2) 《水の要調査項目等》その16

要調査項目等調査マニュアル(平成20年3月 環境省水・大気環境局水環境課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------|---|------------------------|
| 塩素酸 | IV-viii 固相ろ過精製・LC-MS 法 IV-viii 固相ろ過精製・IC-MS/MS 法 | LC-MS IC-MS/MS |
| 過塩素酸 | IV-viii 固相ろ過精製・LC-MS 法 IV-viii 固相ろ過精製・IC-MS/MS 法 | LC-MS IC-MS/MS |
| 臭素酸 | IV-viii 固相ろ過精製・LC-MS 法 IV-viii 固相ろ過精製・IC-MS/MS 法 | LC-MS IC-MS/MS |

別表2-11-7 《水の要調査項目等》その17

要調査項目等調査マニュアル(平成22年10月 環境省水・大気環境局水環境課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------------------------|----------------------------|------------------------|
| アセトン | II - i パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-t-オクチルフェノール | II - ii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| ノニルフェノール(4-ノニルフェノール異性体) | II - ii 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(LAS) | II - iii 固相抽出・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| ポリブロモジフェニルエーテル(テカブロモジフェニルエーテル含む) | II - iv 溶媒(又は固相)抽出・GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |

別表2-11-8 《水の要調査項目等》その18

要調査項目等調査マニュアル(平成24年2月 環境省水・大気環境局水環境課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------|--|---------------------------------|
| ピリジン | II - i 固相抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| ニッケル | II - ii フレーム原子吸光法 II - ii 電気加熱原子吸光法 II - ii ICP 発光分析法 II - ii ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |

別表2-11-9 《水の要調査項目等》その19

要調査項目等存在状況調査結果*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS) | (参考) 固相抽出LC-MS/MS法*(1) | LC-MS/MS |

注*(1):環境省ホームページに掲載の「中央環境審議会水環境・土壌農業部会環境基準健康項目専門委員会(第19回)資料3別紙6に記載する分析法(令和3年2月26日)」

別表2-12-(1) 『水の環境残留物質』その1

農薬等の環境残留実態調査分析法(平成12年1月 環境庁水質保全局編)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|--------------|------------------------|
| 有機塩素系化合物 | | |
| ヘキサクロロベンゼン(HCB) | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| ヘキサクロロシクロヘキセン (α , β , γ , δ -HCH) | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| DDT(p,p',o,p'-体) | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| DDD(p,p',o,p'-体) | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| DDE(p,p',o,p'-体) | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| クロルデン(cis-, trans-体) | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| オキシクロルデン | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| trans-ノナクロル | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| ケルセン | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| | I 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| アルドリン | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| エンドリン | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| ディルドリン | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| エンドスルファン(α , β , SO ₂ -体) | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| ヘプタクロル | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| | I 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘプタクロルエポキシド | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| メキシクロル | I 1. GC法 | GC(ECD) |
| トリアジン系、有機リン系及びその他の化合物 | | |
| アトラジン | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| アラクロール | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| CAT(シマジン) | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| NAC(カルバリル) | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| マラチオン | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| ニトロフェン | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| トリフルラリン | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| ビンクロゾリン | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| エチルパラチオン | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| メトリブジン | I 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| 合成ピレスロイド系化合物 | | |
| シペルメトリン | I 3. GC-MS 法 | GC-MS |
| ペルメトリン | I 3. GC-MS 法 | GC-MS |
| フェンバレレート | I 3. GC-MS 法 | GC-MS |

別表2-12-(2) 《水の環境残留物質》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|--|---|
| フェノキシ酢酸系化合物 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D) | I 4. プチルエステル化GC-MS 法 I 4. メチル化GC法 | GC-MS GC(ECD) |
| 2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸(2,4,5-T) | I 4. プチルエステル化GC-MS 法 | GC-MS |
| ジチオカルバマート系化合物 マンネブ マンゼブ ジネブ ジラム メソミル カルベンダジム(ベノミル含む) 1,2-ジブロモ-3-クロロプロパン(DBCP) ペンタクロロフェノール(PCP) アミトロール | I 5. メチル化HPLC法 I 5. メチル化HPLC法 I 5. メチル化HPLC法 I 5. メチル化HPLC法 I 6. HPLC-ポストカラム誘導体化法 I 7. HPLC法 I 8. GC法 I 9. HPLC法 I 10. 蛍光誘導体化HPLC法 I 10. GC-MS 法 I 10. LC-MS 法 | HPLC(UV) HPLC(UV) HPLC(UV) HPLC(UV) HPLC(FL) HPLC(UV) GC(ECD) HPLC(UV) HPLC(FL) GC-MS LC-MS |

別表2-13 《排水・環境水の臭素系ダイオキシン》

ポリブロモジベンゾーパラ-ジオキシン及びポリブロモジベンゾフランの暫定調査方法(平成19年3月環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|--------|------------------------|
| 臭素系ダイオキシン(4~8臭素化) | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

別表2-14 《水のPOPs》

モニタリング調査マニュアル(平成16年3月 環境省環境保健部環境安全課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------|-----------------|----------------------------|
| ポリ塩化ビフェニル(PCB) | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| DDT類 | | |
| o,p'-DDT | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| p,p'-DDT | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| o,p'-DDE | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| p,p'-DDE | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| o,p'-DDD | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| p,p'-DDD | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| クロルデン類 | | |
| trans-クロルデン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| cis-クロルデン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| trans-ノナクロル | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| cis-ノナクロル | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| オキシクロルデン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ディルドリン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| アルドリン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| エンドリン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ヘプタクロル | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ヘプタクロルエポキサイド | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ヘキサクロロベンゼン(HCB) | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| マイレックス | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| トキサフエン | II GC-MS(NCI) 法 | GC-MS(NCI式)(NCI:負イオン化イオン化) |
| ヘキサクロロシクロヘキサン | | |
| α-HCH | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| β-HCH | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| γ-HCH | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |

別表2-15《水の地域環境目標・要測定指標等》

《要測定指標》要測定指標の測定の実施について(平成23年3月24日環水大水発第110324001号環境省水・大気環境局水環境課長通知)

《補足測定項目》要測定指標等の測定の実施について(平成24年3月30日環水大水発第120330018号環境省水・大気環境局水環境課長通知)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------|--|---|
| 透明度(沿岸透明度)*(1) | H23 環水大水発第110324001号 別添1 白色の透明度板(直径30cm)による測定法 | — |
| 全有機炭素(TOC) | H24 環水大水発第120330018号 別添3 乾式酸化法(高温燃焼酸化法(TC-ICによる方法))*(2)(3) H24 環水大水発第120330018号 別添3 乾式酸化法(高温燃焼酸化法(NPOCによる方法))*(2)(4) H24 環水大水発第120330018号 別添3 湿式酸化法(高温湿式酸化法)*(2)(3)(4) | TOC分析装置(TOC計) TOC分析装置(TOC計) TOC分析装置(TOC計) |

注*(1):計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2):「ろ過を行いDOC(溶存有機炭素)を測定し、ろ紙上のPOC(懸濁有機炭素)を測定し、合算してTOCを求める方法」で測定を行ってよい。TOC、DOCについてはその他(紫外線酸化法など)の方法もある。POCについては元素分析装置による方法がある。

注*(3):海水は除く。

注*(4):河川水、湖沼水について、NPOC(不揮発性有機炭素)による方法では、反応器の中で酸を添加、通気する場合を除いて、「酸を添加しpHを4程度としてから通気する」変法を用いる。

別表3（土壌中の物質の濃度に係る事業）

別表3-1-(1) 『土壌の汚染に係る環境基準・土壌汚染対策の溶出量基準』その1

『土壌の汚染に係る環境基準』 1)土壌汚染に係る環境基準について(平成3年8月23日環境庁告示第46号・**令和7年3月31日環境省告示第37号改正現在**)『土壌汚染対策の溶出量基準』 2)土壌汚染対策法施行規則第六条第三項第四号の規定に基づく環境大臣が定める土壌溶出量調査に係る測定方法(平成15年3月6日環境省告示第18号・**令和7年3月31日環境省告示第39号改正現在**)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|---|--|
| カドミウム 1) カドミウム及びその化合物 2) | JIS K 0102-3-14.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-14.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-14.5 ICP 質量分析法 S46 農林省令47号別表第1 原子吸光法*(1) 1)のみ S46 農林省令47号別表第2 ICP発光分析法*(1) 1)のみ S46 農林省令47号別表第3 ICP質量分析法*(1) 1)のみ | FLAA ICP-AES ICP-MS AA ICP-AES ICP-MS SP SP |
| 全シアン 1) シアン化合物 2) | JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.4 ピリジン-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.5 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.6 JIS K 0170-9-7.3.2 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色FIA法 JIS K 0102-2-9.3.2又は9.3.3,9.6 JIS K 0170-9-7.3.4 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 S46 環告第59号付表1 蒸留・4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 | フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) 電位差計、シアン化合物イオン電極及び参照電極 GC(FTD又はFPD) |
| 有機燐 1) 有機りん化合物 2) (パラチオン、メチルパラチオン、EPN) (パラチオン、メチルパラチオン、EPN) | JIS K 0102-4-7.2.5 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 JIS K 0102-4-7.2.6 p-ニトロフェノール吸光光度法 JIS K 0102-3-13.2 フレーム原子吸光法 | SP SP |
| 鉛 1) 鉛及びその化合物 2) | JIS K 0102-3-13.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-13.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-13.5 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |

注*(1):農用地に係る米にのみ適用する(計量法第107条の登録対象の範囲ではない)。

別表3-1-(2) 《土壤の汚染に係る環境基準・土壤汚染対策の溶出量基準》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------|--|--|
| 六価クロム 1) | JIS K 0102-3-24.3.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 | SP |
| 六価クロム化合物 2) | JIS K 0102-3-24.3.2. JIS K 0170-7-6.3.2 ジフェニルカルバジド発色(3流路)FIA JIS K 0102-3-24.3.2. JIS K 0170-7-6.3.3 ジフェニルカルバジド発色(2流路)FIA JIS K 0102-3-24.3.2. JIS K 0170-7-6.3.4 ジフェニルカルバジド発色CFA法 JIS K 0102-3-24.3.3 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-24.3.4 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-24.3.5 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-24.3.6 ICP 質量分析法 | フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) AA FLAA ICP-AES ICP-MS SP |
| 砒素 1) | JIS K 0102-3-20.2 ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光光度法 | 水素化物発生装置及びAA |
| 砒素及びその化合物 2) | JIS K 0102-3-20.3 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-20.4 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-20.5 ICP 質量分析法 | 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| 総水銀 1) | S50 総理府令31号 原子吸光法 1)のみ | 水素化物発生装置及びAA |
| 水銀 2) | S46 環告第59号付表2 原子吸光法 | AA又は水銀用原子吸光分析装置 |
| アルキル水銀 | S46 環告第59号付表3 GC法及び S49 環告第64号付表1 薄層クロマトグラフー原子吸光法 S46 環告第59号付表4 GC法 | GC(ECD) AA又は水銀用原子吸光分析装置 GC(ECD) |
| PCB 1) | S47 総理府令66号 原子吸光法 | AA |
| ポリ塩化ビフェニル 2) | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| 銅 1)のみ | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| トリクロロエチレン | | |
| テトラクロロエチレン | | |

別表3-1-(3) 《土壤の汚染に係る環境基準・土壤汚染対策の溶出量基準》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------------|---|--|
| 四塩化炭素 | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー) | H9 環告第10号付表(第1)パージ・トラップ・GC-MS 法 H9 環告第10号付表(第2)ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1,1,1-トリクロロエタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| 1,1,2-トリクロロエタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125-5.5 溶媒抽出GC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| ジクロロメタン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) |
| 1,1-ジクロロエチレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) |
| 1,2-ジクロロエチレン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法(トランス体のみ) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| 1,2-ジクロロエタン | JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法(シス体のみ) JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) |

別表3-1-(4) 《土壤の汚染に係る環境基準・土壤汚染対策の溶出量基準》その4

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------------|---|--|
| 1,3-ジクロロプロペン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.1 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) |
| ベンゼン | JIS K 0125-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) |
| チウラム シマジン | S46 環告第59号付表5 溶媒又は固相抽出HPLC法 S46 環告第59号付表6(第1) 溶媒又は固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号付表6(第2) 溶媒又は固相抽出GC法 | HPLC(UV) GC-MS GC(FTD 又はECD) |
| チオベンカルブ | S46 環告第59号付表6(第1) 溶媒又は固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号付表6(第2) 溶媒又は固相抽出GC法 | GC-MS GC(FTD 又はECD) |
| セレン 1) セレン及びその化合物 2) | JIS K 0102-3-26.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-26.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-26.4 ICP 質量分析法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.3 ランタンーアリザリンコンプレキソン 吸光光度法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES |
| ふつ素 1) ふつ素及びその化合物 2) | JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.4.JIS K 0170-6-6.3.2 ランタンーアリザリンコンプレキソン発色FIA法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.4.JIS K 0170-6-6.3.3 蒸留・ランタンーアリザリンコンプレキソン発色CFA法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.5 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0102-3-5.2 メチレンブルー吸光光度法 JIS K 0102-3-5.5 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-5.6 ICP 質量分析法 | Fローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) |
| ほう素 1) ほう素及びその化合物 2) | | IC SP |
| 1,4-ジオキサン 1)のみ | S46 環告第59号付表7(第1) 固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号付表7(第2) パージ・トラップ・GC-MS 法 S46 環告第59号付表7(第3) ヘッドスペース・GC-MS 法 | ICP-AES ICP-MS GC-MS GC-MS GC-MS |

別表3-2-(1) 《土壤汚染対策の含有量基準》その1

土壤汚染対策法施行規則第六条第四項第二号の規定に基づく環境大臣が定める土壤含有量調査に係る測定方法(平成15年3月6日環境省告示第19号・令和7年3月31日環境省告示第40号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------|--|--|
| カドミウム及びその化合物 | JIS K 0102-3-14.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-14.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-14.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-14.5 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS SP |
| 六価クロム化合物 | JIS K 0102-3-24.3.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102-3-24.3.2.JIS K 0170-7-6.3.2 ジフェニルカルバジド発色(3流路)FIA JIS K 0102-3-24.3.2.JIS K 0170-7-6.3.3 ジフェニルカルバジド発色(2流路)FIA JIS K 0102-3-24.3.2.JIS K 0170-7-6.3.4 ジフェニルカルバジド発色CFA法 JIS K 0102-3-24.3.3 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-24.3.4 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-24.3.5 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-24.3.6 ICP 質量分析法 | フローインジェクション分析装置(FIA) フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) AA FLAA ICP-AES ICP-MS SP |
| シアノ化合物 | JIS K 0102-2-9.4 ピリジン-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102-2-9.5 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102-2-9.6.JIS K 0170-9-7.3.2 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色FIA法 JIS K 0102-2-9.6.JIS K 0170-9-7.3.4 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 JIS K 0102-2-9.6.JIS K 0170-9-6.3.7 蒸留・4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 JIS K 0102-2-9.7 イオン電極法 | フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) 連続流れ分析装置(CFA) |
| 水銀及びその化合物 | S46 環告第59号付表2 原子吸光法 | 電位差計、シアノ化合物イオン電極及び参照電極 AA又は水銀用原子吸光分析装置 |
| セレン及びその化合物 | JIS K 0102-3-26.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-26.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-26.4 ICP 質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| 鉛及びその化合物 | JIS K 0102-3-13.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102-3-13.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102-3-13.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-13.5 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS SP |
| 砒素及びその化合物 | JIS K 0102-3-20.2 ジエチルジオカルバミド酸銀吸光光度法 JIS K 0102-3-20.3 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102-3-20.4 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-20.5 ICP 質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |

別表3-2-(2) 《土壤汚染対策の含有量基準》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------|---|--|
| ふつ素及びその化合物 | JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.3 ランタン-アリザリンコンプレキソン 吸光度法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.4.JIS K 0170-6-6.3.2 ランタン-アリザリンコンプレキソン発色FIA法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.4.JIS K 0170-6-6.3.3 蒸留・ランタン-アリザリンコンプレキソン発色CFA法 JIS K 0102-2-5.2.2又は5.2.3,5.5 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0102-3-5.2 メチレンブルー吸光度法 JIS K 0102-3-5.5 ICP 発光分析法 JIS K 0102-3-5.6 ICP 質量分析法 | SP フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) IC SP ICP-AES ICP-MS |
| ほう素及びその化合物 | | |

別表3-3-(1) 《土壤汚染対策の土壤ガス》その1

土壤汚染対策法施行規則第六条第二項第一号及び二号の規定に基づく環境大臣が定める土壤ガス調査に係る採取及び測定の方法(平成15年3月6日環境省告示第16号・令和2年3月30日環境省告示第35号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------------|---|---|
| クロロエチレン(塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー) | GC-PID法 GC-FID法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID)(但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ELCD) GC-MS |
| 四塩化炭素 | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID)(但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |
| 1,2-ジクロロエタン | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID)(但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |
| 1,1-ジクロロエチレン | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID)(但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |
| 1,2-ジクロロエチレン | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID)(但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |
| 1,3-ジクロロプロペン | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID)(但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |
| ジクロロメタン | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID)(但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |

別表3-3-(2) 《土壤汚染対策の土壤ガス》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------|---|--|
| テトラクロロエチレン | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID) (但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |
| 1,1,1-トリクロロエタン | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID) (但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |
| 1,1,2-トリクロロエタン | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID) (但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |
| トリクロロエチレン | GC-PID法 GC-FID法 GC-ECD法 GC-ELCD法 GC-MS法 | GC(PID) (但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC(ECD) GC(ELCD) GC-MS |
| ベンゼン | GC-PID法 GC-FID法 GC-MS法 | GC(PID) (但し、UVランプの種類により分析可能な物質は異なる) GC(FID) GC-MS |

別表3-4 《農用地土壤汚染の特定有害物質》

農用地土壤汚染対策地域の指定要件に係るカドミウムの量の検定の方法を定める省令(昭和46年6月24日農林省令第47号・令和2年3月30日環境省令第9号改正現在)

農用地土壤汚染対策地域の指定要件に係る銅の量の検定の方法を定める省令(昭和47年10月27日総理府令第66号・令和2年3月30日環境省令第9号改正現在)

農用地土壤汚染対策地域の指定要件に係る砒素の量の検定の方法を定める省令(昭和50年4月8日総理府令第31号・令和2年3月30日環境省令第9号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------|--|--|
| カドミウム及びその化合物 | S46 農林省令47号別表第1 原子吸光法*(1) S46 農林省令47号別表第2 ICP発光分析法*(1) S46 農林省令47号別表第3 ICP質量分析法*(1) S46 農林省令47号別表第4 原子吸光法 S46 農林省令47号別表第5 ICP発光分析法 S46 農林省令47号別表第6 ICP質量分析法 | AA ICP-AES ICP-MS AA ICP-AES ICP-MS |
| 銅及びその化合物 | S47 総理府令66号 原子吸光法 | AA |
| 砒素及びその化合物 | S50 総理府令31号 原子吸光法 | 水素化物発生装置及びAA |

注*(1):米にのみ適用する(計量法第107条の登録対象の範囲ではない)。

別表3-5 《農用地における土壤中の重金属等の蓄積防止》

農用地における土壤中の重金属等の蓄積防止に係る管理基準について(昭和59年11月8日環水土第149号 環境庁水質保全局長通知)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------|--------|------------------------|
| 亜鉛 | 原子吸光法 | AA |

別表3-6-(1) 《土壤の環境残留物質》その1

農薬等の環境残留実態調査分析法(平成12年1月 環境庁水質保全局編)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|------------------------------------|---------------|------------------------|
| 有機塩素系化合物 | | |
| ヘキサクロロベンゼン(HCB) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘキサクロロシクロヘキセン(α, β, γ, δ-HCH) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| DDT(p,p'体) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| DDD(p,p'体) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| DDE(p,p'体) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| DDT(o,p'体) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| DDD(o,p'体) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| DDE(o,p'体) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| クロルデン(cis-, trans-体) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| オキシクロルデン | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| trans-ノナクロル | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ケルセン | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| アルドリン | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドリン | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ディルドリン | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドスルファン(α, β, SO ₂ -体) | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘプタクロル | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘプタクロルエポキシド | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| メキシクロル | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| オクタクロロスチレン | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ベンゾ(a)ピレン | IV 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| トリアジン系、有機リン系、合成ピレスロイド系及びその他の化合物 | | |
| アトラジン | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| アラクロール | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| CAT(シマジン) | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| NAC(カルバリル) | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| マラチオン | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| ニトロフェン | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| トリフルラリン | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| ビンクロゾリン | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| エチルパラチオン | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| メトリブジン | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| シペルメトリン | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| ペルメトリン | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| フェンバレレート | IV 2. GC-MS 法 | GC-MS |

別表3-6-(2) 《土壤の環境残留物質》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|---|--|
| フェノキシ酢酸系化合物 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D) 2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸(2,4,5-T) | IV 3. メチルエステル化GC-MS 法 IV 3. メチルエステル化GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ジチオカルバマート系化合物 マンネブ マンゼブ ジネブ ジラム メソミル カルベンダジム(ベノミル含む) 1,2-ジブロモ-3-クロロプロパン(DBCP) n-ブチルベンゼン ペンタクロロフェノール(PCP) 2,4-ジクロロフェノール アルキルフェノール類 4-t-ブチルフェノール 4-n-ペンチルフェノール 4-n-ヘキシルフェノール p-ヘプチルフェノール 4-n-オクチルフェノール 4-t-オクチルフェノール ノニルフェノール ビスフェノールA アミトロール ポリ塩化ビフェニル(PCB) ポリ臭化ビフェニル(PBB) | IV 4. メチル化HPLC法 IV 4. メチル化HPLC法 IV 4. メチル化HPLC法 IV 4. メチル化HPLC法 IV 5. LC-MS/MS法 IV 6. LC-MS/MS法 IV 7. GC-MS 法 IV 7. GC-MS 法 IV 8. エチル化 GC-MS法 IV 9. LC-MS/MS法 IV10. GC-MS 法 IV11. GC法 IV11. GC-MS 法 | HPLC(UV) HPLC(UV) HPLC(UV) HPLC(UV) LC-MS/MS LC-MS/MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC-MS |
| フタル酸エステル類 フタル酸ジエチル フタル酸ジプロピル フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ジ-n-ペンチル フタル酸ジヘキシル フタル酸ジ-2-エチルヘキシル フタル酸ジシクロヘキシル フタル酸ブチルベンジル アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル(DEHA) ベンゾフェノン 4-ニトロトルエン | IV12. GC-MS 法 IV12. GC-MS 法 IV13. GC-MS 法 IV13. GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |

別表3-6-(3) 《土壤の環境残留物質》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------------|---------------|------------------------|
| スチレン2量体 | | |
| 1,3-ジフェニルプロパン | IV14. GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4-ジフェニル-1-ブテン | IV14. GC-MS 法 | GC-MS |
| trans-1,2-ジフェニルシクロブタン | IV14. GC-MS 法 | GC-MS |
| スチレン3量体 | | |
| 2,4,6-トリフェニル-1-ヘキセン | IV14. GC-MS 法 | GC-MS |
| 1-フェニル-4-(1'フェニルエチル)テトラリン | IV14. GC-MS 法 | GC-MS |

別表3-7-(1) 《底質の暫定除去基準》その1

底質調査方法(平成24年8月8日環水大水発第120725002号環境省水・大気環境局長通知)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------------------|---|------------------------|
| 乾燥減量 | 底質調査方法 II-4.1 105～110℃乾燥重量法 | — |
| 強熱減量 | 底質調査方法 II-4.2 600℃強熱重量法 | — |
| 泥分率 | 底質調査方法 II-4.3 ふるい分け－105～110℃乾燥重量法 | — |
| 水素イオン濃度(pH) | 底質調査方法 II-4.4 遠心分離－ガラス電極法 | pH計 |
| 酸化還元電位(ORP)*(1) | 底質調査方法 II-4.5 現場ガラス電極法 | ORP計 |
| 硫化物 | 底質調査方法 II-4.6 水蒸気蒸留－ヨウ素滴定法 | — |
| 過マンガン酸カリウムによる酸素消費量(CODsed) | 底質調査方法 II-4.7 滴定法 | — |
| 全窒素 | 底質調査方法 II-4.8.1.1 中和滴定法 底質調査方法 II-4.8.1.2 インドフェノール青吸光光度法 | — SP |
| アンモニア態窒素 | 底質調査方法 II-4.8.2.1 中和滴定法 底質調査方法 II-4.8.2.2 インドフェノール青吸光光度法 | — SP |
| 亜硝酸態窒素 | 底質調査方法 II-4.8.3.1 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 | SP |
| 硝酸態窒素 | 底質調査方法 II-4.8.3.2 銅・カドミウムカラム還元－ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 | SP |
| 全りん | 底質調査方法 II-4.9.1(4)a) 硝酸－過塩素酸分解法 底質調査方法 II-4.9.1(4)b) 硝酸－硫酸分解法 | SP SP |
| りん酸態りん | 底質調査方法 II-4.9.2(4)a) CDB-P分画－吸光光度法 底質調査方法 II-4.9.2(4)b) NaOH-P分画－吸光光度法 底質調査方法 II-4.9.2(4)c) HCL-P分画－吸光光度法 | SP SP SP |
| 全有機炭素(TOC) | 底質調査方法 II-4.10 元素分析計法*(2) | 元素分析計 |
| シアノ化合物 | 底質調査方法 II-4.11.1 4-ピリジンカルボン酸－ピラゾロン吸光光度法 底質調査方法 II-4.11.2 ピリジン－ピラゾロン吸光光度法 | SP SP |
| ふつ素化合物 | 底質調査方法 II-4.12.1.1 ランタン－アリザリンコンプレキソ吸光光度法 底質調査方法 II-4.12.1.2 イオン電極法 底質調査方法 II-4.12.1.3 イオンクロマトグラフ法 | SP SP SP |
| ふつ素(全分解) | 底質調査方法 II-4.12.2 炭酸ナトリウム融解－吸光光度法 | 電位差計、ふつ化物イオン電極及び参照電極 |
| ヘキサン抽出物質 | 底質調査方法 II-4.13.1 抽出・重量法 | — |
| 全有機塩素化合物 | 底質調査方法 II-4.14 イオンクロマトグラフ法 | IC |

注*(1):計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2):同時に全窒素及び全有機窒素(TON)も測定可能。

別表3-7-(2) 《底質の暫定除去基準》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------|--|---------------------------------|
| カドミウム | 底質調査方法 II-5.1.1 フレーム原子吸光法 底質調査方法 II-5.1.2 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.1.3 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.1.4 ICP 発光分析法 | AA FLAA ICP-MS ICP-AES |
| 鉛 | 底質調査方法 II-5.2.1 フレーム原子吸光法 底質調査方法 II-5.2.2 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.2.3 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.2.4 ICP 発光分析法 | AA FLAA ICP-MS ICP-AES |
| 銅 | 底質調査方法 II-5.3.1 フレーム原子吸光法 底質調査方法 II-5.3.2 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.3.3 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.3.4 ICP 発光分析法 | AA FLAA ICP-MS ICP-AES |
| 亜鉛 | 底質調査方法 II-5.4.1 フレーム原子吸光法 底質調査方法 II-5.4.2 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.4.3 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.4.4 ICP 発光分析法 | AA FLAA ICP-MS ICP-AES |
| 鉄 | 底質調査方法 II-5.5.1 フレーム原子吸光法 底質調査方法 II-5.5.2 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.5.3 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.5.4 ICP 発光分析法 | AA FLAA ICP-MS ICP-AES |
| マンガン | 底質調査方法 II-5.6.1 フレーム原子吸光法 底質調査方法 II-5.6.2 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.6.3 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.6.4 ICP 発光分析法 | AA FLAA ICP-MS ICP-AES |
| ニッケル | 底質調査方法 II-5.7.1 フレーム原子吸光法 底質調査方法 II-5.7.2 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.7.3 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.7.4 ICP 発光分析法 | AA FLAA ICP-MS ICP-AES |
| モリブデン | 底質調査方法 II-5.8.1 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.8.2 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.8.3 ICP 発光分析法 | FLAA ICP-MS ICP-AES |

別表3-7-(3) 《底質の暫定除去基準》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------|--|--|
| ひ素 | 底質調査方法 II-5.9.1 ジエチルジチオカルバミン酸銀吸光光度法 底質調査方法 II-5.9.2 水素化物発生原子吸光法 底質調査方法 II-5.9.3 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.9.4 水素化物発生ICP 発光分析法 | SP 水素化物発生装置及びAA ICP-MS |
| セレン | 底質調査方法 II-5.10.1 水素化物発生原子吸光法 底質調査方法 II-5.10.2 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.10.3 水素化物発生ICP 発光分析法 | 水素化物発生装置及びICP-AES 水素化物発生装置及びAA ICP-MS |
| アンチモン | 底質調査方法 II-5.11.1 水素化物発生原子吸光法 底質調査方法 II-5.11.2 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.11.3 水素化物発生ICP 発光分析法 | 水素化物発生装置及びICP-AES 水素化物発生装置及びAA ICP-MS |
| クロム(酸抽出) | 底質調査方法 II-5.12.1.1 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.12.1.2 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.12.1.3 ICP 発光分析法 | FLAA ICP-MS ICP-AES |
| 総クロム(全分解) | 底質調査方法 II-5.12.2.1 アルカリ融解-ジフェニルカルバシド吸光光度法 底質調査方法 II-5.12.2.2 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.12.2.3 ICP 発光分析法 | SP ICP-MS ICP-AES |
| 六価クロム | 底質調査方法 II-5.12.3 ジフェニルカルバシド吸光光度法 | SP |
| ほう素 | 底質調査方法 II-5.13.1 アルカリ融解-メチレンブルー吸光光度法 底質調査方法 II-5.13.2 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.13.3 ICP 発光分析法 | SP ICP-MS ICP-AES |
| 総水銀 | 底質調査方法 II-5.14.1.1 硝酸-過マンガン酸カリウム還流分解法 底質調査方法 II-5.14.1.2 硝酸-硫酸-過マンガン酸カリウム分解法 | 水銀還元化装置及びAA、又は水銀用原子吸光分析装置 水銀還元化装置及びAA、又は水銀用原子吸光分析装置 |
| 総水銀(溶出試験) | 底質調査方法 III-2 原子吸光法*(3) | 水銀還元化装置及びAA、又は水銀用原子吸光分析装置 |
| アルキル水銀(II)化合物 | 底質調査方法 II-5.14.2.1 アルカリ処理-トルエン抽出法(GC法) 底質調査方法 II-5.14.2.2 アルカリ処理-ジチゾントルエン抽出法(GC法) | GC(ECD) GC(ECD) |
| ベリリウム | 底質調査方法 II-5.15.1 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.15.2 ICP 質量分析法 | FLAA ICP-MS |
| バナジウム | 底質調査方法 II-5.15.3 ICP 発光分析法 底質調査方法 II-5.16.1 電気加熱原子吸光法 底質調査方法 II-5.16.2 ICP 質量分析法 底質調査方法 II-5.16.3 ICP 発光分析法 | ICP-AES FLAA ICP-MS ICP-AES |
| ウラン | 底質調査方法 II-5.17.1 ICP 質量分析法 | ICP-MS |

注*(3):分析操作は、S46 環告第59号付表1(R7年3月現在付表2)による。

別表3-7-(4) 《底質の暫定除去基準》その4

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|---|------------------------|
| 揮発性有機化合物(VOC) (ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロヘンゼン、ヘンゼン、クロロホルム、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロヘンゼン、トルエン、キシレン、1,2-ジブロモ-3-クロロブロパン、スチレン、n-ブチルヘンゼン、トリブロモメタン(ブロモホルム)、エチルヘンゼン、ブロピルヘンゼン、塩化アリル(アリルクロライト)、塩化エチル(クロロエタン)、塩化ビニル、塩化メチル、ジシクロヘンタジエン、シクロヘンタン、1,1-ジクロロエタン、ジブロモクロロメタン、臭化メチル、1,1,1,2-テトラクロロエタン、1,1,2,2-テトラクロロエタン、1,2,3-トリクロロブロパン、1,3-ブタジエン、ブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン、1-ブロモブロパン、2-ブロモブロパン、n-ヘキサン、メチル-t-ブチルエーテル、クロロヘンゼン、アクリル酸メチル、アクリル酸エチル、アクリル酸ブチル、イソブレン、イソブロピルヘンゼン(クメン)、エピクロロヒドリン、塩化ヘンジル、1-オクテン、クロロ酢酸エチル、p-クロロトルエン、酢酸ビニル、酸化ブロピレン、1,2-ジエチルヘンゼン、1,3-ジエチルヘンゼン、1,4-ジエチルヘンゼン、1,2-ジクロロヘンゼン、1,3-ジクロロヘンゼン、1,2,3-トリクロロヘンゼン、1,2,4-トリクロロヘンゼン、1,3,5-トリクロロヘンゼン、二硫化炭素、ヘキサクロロブタジエン、ヘンタクロロエタン) | 底質調査方法 II-6.1.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 底質調査方法 II-6.1.2 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 農薬 (シマジン(CAT)、チオヘンカルブ、ジクロルボス(DDVP)、フェノブカルブ(BPMC)、ブロビサミド、ダイアジン、イブロヘンホス(IPB)、フェニトロチオン(MEP)、イソブロチオラン、イソキサチオン、クロルニトロフェン(CNP)、EPN、アトラジン、アラクロール、エチルハラチオン、カルバリル、マラチオン、ニトロフェン、トリフルラリン、メトリブジン、シペルメトリル、エスフェンバレート、フェンバレート、ペルメトリル、ビンクロゾリン) | 底質調査方法 II-6.2.1 溶媒抽出-GC-MS 法*(4) 底質調査方法 II-6.2.1 固相抽出-GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |

注*(4):イソキサチオンは除く。

別表3-7-(5) 《底質の暫定除去基準》その5

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|---------------------------------------|------------------------|
| 有機塩素系農薬 (α -HCH、 β -HCH、 γ -HCH(リンデン)、 δ -HCH、p,p'-DDT、p,p'-DDE、p,p'-DDD、メキシクロル、ケルセン(デイコホル)、アルドリン、デイルドリン、エントリン、エントサルファンI、エントサルファンII、ヘプタクロル、ヘプタクロルエボキシド、trans-クロルデン、cis-クロルデン、オキシクロルデン、trans-ノナクロル、cis-ノナクロル、ヘキサクロロヘンゼン(HCB)、オクタクロロスチレン) | 底質調査方法 II-6.2.2 GC-MS 法*(5) | GC-MS |
| ポリ臭化ビフェニル(PBB) | 底質調査方法 II-6.2.2 GC-MS 法*(5) | GC-MS |
| 陰イオン界面活性剤 | 底質調査方法 II-6.3.1.1 メチレンブルー吸光光度法 | SP |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(LAS) | 底質調査方法 II-6.3.1.2 HPLC法 | HPLC(FL) |
| ポリオキシエチレン型非イオン界面活性剤 | 底質調査方法 II-6.3.1.2 LC-MS 法 | LC-MS |
| ノニルフェノールエトキシレート(NPE) | 底質調査方法 II-6.3.2.1 臭化水素酸分解-GC-MS 法 | GC-MS |
| ポリ塩化ビフェニル(PCB) | 底質調査方法 II-6.3.2.2 HPLC法 | HPLC(FL) |
| | 底質調査方法 II-6.4.1 パックドカラム-GC法 | GC(ECD) |
| | 底質調査方法 II-6.4.2 キャピラリーカラム-GC法 | GC(ECD) |
| | 底質調査方法 II-6.4.3 キャピラリーカラム-GC-MS 法 | GC-MS |
| | 底質調査方法 II-6.4.4 キャピラリーカラム-高分解能GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| 有機スズ化合物 (ジブチルスズ(DBT)、トリブチルスズ(TBT)、モノフェニルスズ(MPT)、ジフェニルスズ(DPT)、トリフェニルスズ(TPT)) | 底質調査方法 II-6.5.1 プロピル誘導体化-GC-MS法*(6) | GC-MS |
| 多環芳香族炭化水素(PAHs) (アントラゼン、ベンゾ[a]アントラゼン、ジベンゾ[a,h]アントラゼン、フェナントレン、フルオランテン、ベンゾ[b]フルオランテン、ベンゾ[k]フルオランテン、ベンゾ[j]フルオランテン、ピレン、ベンゾ[a]ピレン、ベンゾ[e]ピレン、インデノ[1,2,3-cd]ピレン、クリセン、ペリレン、ベンゾ[ghi]ペリレン) | 底質調査方法 II-6.5.1 プロピル誘導体化-GC法*(6) | GC(FPD) |
| | 底質調査方法 II-6.5.2 (参考法)エチル誘導体化-GC-MS法 | GC-MS |
| | 底質調査方法 II-6.6 GC-MS 法*(7) | GC-MS |

注*(5):有機塩素系農薬とポリ臭化ビフェニル(PBB)は同時分析できる。

注*(6):トリブチルスズ(TBT)、トリフェニルスズ(TPT)のみ。

注*(7):多環芳香族炭化水素(PAHs)とスチレン2量体及びスチレン3量体は同時分析できる。

別表3-7-(6) 《底質の暫定除去基準》その6

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|--------------------------------------|
| スチレン2量体及びスチレン3量体 (1,3-ジフェニルプロパン(DPP)、cis-1,2-ジフェニルシクロブタン(cis-DPCB)、trans-1,2-ジフェニルシクロブタン(trans-DPCB)、2,4-ジフェニル-1-ブテン(DBP)、2,4,6-トリフェニル-1-ヘキセン(TPH)、1-フェニル-4-(1'-フェニルエチル)テラリン類(PPET)、1,3,5-トリフェニルシクロヘキサン(TPCH)) | 底質調査方法 II-6.6 GC-MS 法*(7) | GC-MS |
| ベンゾフェノン | 底質調査方法 II-6.7 GC-MS 法*(8) | GC-MS |
| 4-ニトロトルエン | 底質調査方法 II-6.7 GC-MS 法*(8) | GC-MS |
| フタル酸エステル類 (フタル酸ジエチル、フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジイソプロピル、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジヘンチル、フタル酸ジ-n-ヘキシル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、フタル酸ジシクロヘキシル、フタル酸ブチルヘンジル) | 底質調査方法 II-6.8 GC-MS 法 | GC-MS |
| アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル(DEHA) | 底質調査方法 II-6.9 GC-MS 法 | GC-MS |
| アルキルフェノール類 (4-t-ブチルフェノール、4-n-ヘンチルフェノール、4-n-ヘキシルフェノール、4-ヘプチルフェノール、4-t-オクチルフェノール、4-n-オクチルフェノール、ノニルフェノール) | 底質調査方法 II-6.10.1 GC-MS 法 底質調査方法 II-6.10.2 エチル誘導体化-GC-MS法*(9) | GC-MS GC-MS |
| ビスフェノールA | 底質調査方法 II-6.10.1 トリメチルシリル誘導体化-GC-MS法*(10) 底質調査方法 II-6.10.2 エチル誘導体化-GC-MS法*(9) | GC-MS GC-MS |
| クロロフェノール類 (2,4-ジクロロフェノール、ヘンタクロロフェノール) | 底質調査方法 II-6.10.1 トリメチルシリル誘導体化-GC-MS法*(10) | GC-MS |
| エストラジオール類 (17 α -エストラジオール、17 β -エストラジオール、エチニルエストラジオール) | 底質調査方法 II-6.11.1 メチル誘導体化-GC-MS法 底質調査方法 II-6.11.2 ヘンタフルオロヘンジル誘導体化-GC-MS(NCI)法 | GC-MS GC-MS(NCI式)(NCI:負イオン化学イオン化) |
| 1,4-ジオキサン | 底質調査方法 II-6.12 固相抽出-GC-MS 法 | GC-MS |
| フェノール | 底質調査方法 II-6.13 ヘンタフルオロヘンジル誘導体化-GC-MS法 | GC-MS |
| ホルムアルデヒト | 底質調査方法 II-6.14 PFBOA誘導体化-GC-MS法 | GC-MS |

注*(7):多環芳香族炭化水素(PAHs)とスチレン2量体及びスチレン3量体は同時分析できる。

注*(8):ベンゾフェノンと4-ニトロトルエンは同時分析できる。

注*(9):アルキルフェノール類とビスフェノールAは同時分析できる。

注*(10):ビスフェノールAとクロロフェノール類は同時分析できる。

別表3-8-(1) 《底質の環境ホルモン》その1

外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル(平成10年10月 日環水管第 278号 環境庁水質保全局水質管理課長通知)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------|------------|------------------------|
| ポリ塩化ビフェニル(PCB) | I GC-MS 法 | GC-MS又は高分解能GC-MS |
| α -HCH | II GC-MS 法 | GC-MS |
| β -HCH | II GC-MS 法 | GC-MS |
| γ -HCH(リンデン) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| δ -HCH | II GC-MS 法 | GC-MS |
| p,p'-DDT | II GC-MS 法 | GC-MS |
| p,p'-DDE | II GC-MS 法 | GC-MS |
| p,p'-DDD | II GC-MS 法 | GC-MS |
| メトキシクロル | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ケルセン(ディコホル) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| アルドリン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ディルドリン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドリン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドサルファン I | II GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドサルファン II | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘプタクロル | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘプタクロルエポキサイド | II GC-MS 法 | GC-MS |
| trans-クロルデン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| cis-クロルデン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| オキシクロルデン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| trans-ノナクロル | II GC-MS 法 | GC-MS |
| cis-ノナクロル | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘキサクロロベンゼン(HCB) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| オクタクロロスチレン | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ポリ臭化ビフェニル(PBB) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| ベンゾ(a)ピレン(BaP) | II GC-MS 法 | GC-MS |
| | VI GC-MS 法 | GC-MS |

別表3-8-(2) 《底質の環境ホルモン》その2

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------------|---|------------------------|
| 4-t-ブチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-n-ペンチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-n-ヘキシルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-ヘプチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-t-オクチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-n-オクチルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ノニルフェノール | III i GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ビスフェノールA | III ii トリメチルシリル誘導体化GC-MS 法 III iii (参考法)エチル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4-ジクロロフェノール | III ii トリメチルシリル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ペンタクロロフェノール(PCP) | III ii トリメチルシリル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジエチル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジプロピル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジイソブチル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-ブチル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-ペンチル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-ヘキシル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジシクロヘキシル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ブチルベンジル | IV GC-MS 法 | GC-MS |
| アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル(DEHA) | V GC-MS 法 | GC-MS |
| ベンゾフェノン | VI GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-ニトロトルエン | VI GC-MS 法 | GC-MS |
| スチレン2量体 | VI GC-MS 法 | GC-MS |
| スチレン3量体 | VI GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,2-ジブロモ-3-クロロプロパン(DBCP) | VII ヘッドスペース・GC-MS 法 VIII パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| スチレン | VII ヘッドスペース・GC-MS 法 VIII パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| n-ブチルベンゼン | VII ヘッドスペース・GC-MS 法 VIII パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |

別表3-8-(3) 《底質の環境ホルモン》その3

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------------|--------------------------|------------------------|
| アトラジン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| シマジン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| メトリブジン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| カルバリル | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| アラクロール | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| エチルパラチオン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| マラチオン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| ニトロフェン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| トリフルラリン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| シペルメトリン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| エスフェンバレレート | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| フェンバレレート | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| ペルメトリン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| ビンクロゾリン | IX i GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸(2,4,5-T) | IX ii ジアゾメタン誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D) | IX ii ジアゾメタン誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| ベノミル | IX iii ジアゾメタン誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| アミトロール(3-アミノ-1,2,4-トリアゾール) | IX iv フルオレスカミン誘導体化HPLC法 | HPLC(FL) |
| メソミル | IX v o-フタルアルデヒド誘導体化HPLC法 | HPLC(FL) |
| トリブチルスズ化合物 | X プロピル誘導体化GC法 | GC(FPD) |
| トリフェニルスズ化合物 | X プロピル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| β-エストラジオール | X プロピル誘導体化GC法 | GC(FPD) |
| | X プロピル誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| | XI t-BDMS誘導体化GC-MS 法 | GC-MS |
| | XI ELISA法 | — |

別表3-9-1-(1) 《底質の要調査項目等》その1

要調査項目等調査マニュアル(平成11年12月 環境庁水質保全局水質管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|--|------------------------|
| 揮発性有機物質 | | |
| エチルベンゼン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 塩化アリル(アリルクロライド) | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 塩化エチル(クロロエタン) | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 塩化ビニル | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 塩化メチル | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジシクロペンタジエン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| シクロペンタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,1-ジクロロエタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジブロモクロロメタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 臭化メチル | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,1,1,2-テトラクロロエタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,1,2,2-テトラクロロエタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,2,3-トリクロロプロパン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,3-ブタジエン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| ブロモクロロメタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| ブロモジクロロメタン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1-ブロモプロパン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2-ブロモプロパン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |

別表3-9-1-(2) 《底質の要調査項目等》その2

要調査項目等調査マニュアル(平成11年12月 環境庁水質保全局水質管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|---|---|
| 揮発性有機物質 n-ヘキサン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| メチルt-ブチルエーテル | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| クロロベンゼン | I ヘッドスペース・GC-MS 法 II パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ホルムアルデヒド ピリチオン類 ジンクピリチオン カッパーピリチオン | III PFBOA 誘導体化GC-MS 法 IV LC-MS 法 IV LC-MS 法 | GC-MS LC-MS LC-MS |
| エストラジオール類 17 β -エストラジオール 17 α -エストラジオール エチニルエストラジオール | V メチル誘導体化GC-MS 法 VI ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS(NCI)法 V メチル誘導体化GC-MS 法 VI ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS(NCI)法 V メチル誘導体化GC-MS 法 VI ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS(NCI)法 | GC-MS GC-MS(NCI 式)(NCI:負イオン化学イオン化) GC-MS GC-MS(NCI 式)(NCI:負イオン化学イオン化) GC-MS GC-MS(NCI 式)(NCI:負イオン化学イオン化) |

別表3-9-2-(1) 《底質の要調査項目等》その3

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------|--|----------------------------------|
| 金属 | | |
| 亜鉛及びその化合物(総亜鉛) | IV- i 電気加熱原子吸光法 IV- i ICP 発光分析法 IV- i ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 銅及びその化合物(総銅) | IV- i 電気加熱原子吸光法 IV- i ICP 発光分析法 IV- i ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| ベリリウム及びその化合物(総ベリリウム) | IV- i 電気加熱原子吸光法 IV- i ICP 発光分析法 IV- i ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 揮発性有機物質 | | |
| アクリル酸メチル | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| アクリル酸エチル | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| アクリル酸ブチル | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| エピクロロヒドリン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| イソプレン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| イソプロピルベンゼン(クメン) | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 塩化ベンジル(ベンジルクロライド) | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1-オクテン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| クロロ酢酸エチル(エチルクロロアセテート) | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |

別表3-9-2-(2) 《底質の要調査項目等》その4

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|------------------------|
| 揮発性有機物質 | | |
| p-クロロトルエン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 酢酸ビニル | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 酸化プロピル(プロピレンオキシド、1,2-エボ ^{キシ} プロパン) | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1, 2-ジエチルベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1, 3-ジエチルベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1, 4-ジエチルベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1, 2-ジクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1, 3-ジクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1, 2, 3-トリクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1, 2, 4-トリクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1, 3, 5-トリクロロベンゼン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 二硫化炭素 | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ヘキサクロロブタジエン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ペンタクロロエタン | IV- ii パージ・トラップ・GC-MS 法 IV- iii ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 水溶性物質 | | |
| アクリロニトリル | IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| エチレングリコールモノメチルエーテル(2-メキシエタノール) | IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| エチレングリコールモノエチルエーテル(2-エトキシエタノール) | IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| エチレングリコールモノブチルエーテル(2-ブトキシエタノール) | IV- iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |

別表3-9-2-(3) 《底質の要調査項目等》その5

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|---|------------------------|
| 水溶性物質 | | |
| エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(2-エトキシエチルアセテート) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| 1,4-ジオキサン | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ピリジン | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| アクリル酸2-ヒドロキシエチル | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 IV- v 活性炭抽出・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| アセトニトリル | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| アリルアルコール | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| アリルグリシジルエーテル | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジメチルスルホキシド(DMSO) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| N,N-ジメチルホルムアミド | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1-ブタノール | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1-ブロハノール(ノルマルブロピルアルコール) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2-ブロハノール(イソブロピルアルコール) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2-メチルピリジン(α-ピリジン, 2-ピリジン) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 3-メチルピリジン(β-ピリジン, 3-ピリジン) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 4-メチルピリジン(γ-ピリジン, 4-ピリジン) | IV-iv 固相マイクロ抽出(SPME)・GC-MS 法 | GC-MS |
| 置換ベンゼン類 | | |
| o-クロロニトロベンゼン(o-CNBz) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| p-クロロニトロベンゼン(p-CNBz) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4-ジニトロトルエン(2,4-DNT) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,6-ジニトロトルエン(2,6-DNT) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 有機酸エステル類 | | |
| アクリル酸2-エチルヘキシル(EHAc) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジアリル(DAP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-i-ヘプチル(DIHP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジメチル(DMP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-オクチル(DNOP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-i-ブチル(DIBP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フタル酸ジ-n-ヘプチル(DNHP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |

別表3-9-2-(4) 《底質の要調査項目等》その6

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 有機リン酸エステル類 | | |
| リン酸トリキシレニル(TXP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリクロシル(TCP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリス(イソプロピルフェニル)(TIPP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリス(2-エチルヘキシル)(TEHP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリス(2-クロロエチル)(TCEP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリフェニル(TPP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| リン酸トリブチル(TBP) | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| 農薬類 | | |
| カルボフラン | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| クロルピリホス | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| シメトリン | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| プレチラクロール | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| モリネート | IV-vi 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フェノール類 | | |
| o-クレゾール | IV-vii ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| m-クレゾール | IV-vii ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| p-クレゾール | IV-vii ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| フェノール | IV-vii ペンタフルオロベンジル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アニリン類 | | |
| アニリン | IV-viii 水蒸気蒸留後アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| o-クロロアニリン | IV-viii 水蒸気蒸留後アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| m-クロロアニリン | IV-viii 水蒸気蒸留後アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| p-クロロアニリン | IV-viii 水蒸気蒸留後アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ジフェニルアミン | IV-viii 水蒸気蒸留後アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| N-メチルアニリン | IV-viii 水蒸気蒸留後アルカリ性溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 2,4-ジ'アミントルエン(m-トルイレンジ'アミン) | IV-ix ヘプタフルオロブチリル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 4,4'-メチレンジ'アニリン(4,4'-ジ'アミノジ'フェニルメタン) | IV-x トリフルオロアセチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| エチレンジ'アミン四酢酸(EDTA) | IV-x i メチルエステル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| クロロ酢酸類 | | |
| モノクロロ酢酸 | IV-x ii メチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ジ'クロロ酢酸 | IV-x ii メチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| トリクロロ酢酸 | IV-x ii メチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |

別表3-9-2-(5) 《底質の要調査項目等》その7

要調査項目等調査マニュアル(平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------------|--|----------------------------|
| アルデヒド類 | | |
| アクリロイン | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アセトアルデヒド | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| グルタルアルデヒド | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ベンズアルデヒド | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| グリオキサール | IV-x iii PFBOA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(LAS) | IV-x iv HPLC法 IV-x iv LC-MS法 IV-x vi キサンチル誘導体化GC-MS法 | HPLC(FL) LC-MS GC-MS |
| アクリルアミド | | |
| ポリオキシエチレン型非イオン界面活性剤 | | |
| ポリオキシエチレンアルキルエーテル | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ポリオキシエチレンアルキルアミン | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ポリオキシエチレンアルキルアミド | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル | IV-x vii 臭化エチレン誘導体化GC-MS法 | GC-MS |

別表3-9-3-(1) 《底質の要調査項目等》その8

要調査項目等調査マニュアル(平成14年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------------------------|---|---------------------------------------|
| ウラン | IV-i ICP 質量分析法 | ICP-MS |
| マンガン及びその化合物(総マンガン) | IV-i 電気加熱原子吸光法 IV-i ICP 発光分析法 IV-i ICP 質量分析法 | FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 三価クロム | IV-ii ジフェニルカルバジド吸光光度法 IV-ii フレーム原子吸光法 IV-ii 電気加熱原子吸光法 IV-ii ICP 発光分析法 IV-ii ICP 質量分析法 | SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 酸化エチレン(エチレンオキサイド) | IV-iii パージ・固相捕集・臭化物誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アルコール類 | | |
| 1-オクタノール | IV-iv BSTFA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 1-ノナノール(1-ノニルアルコール) | IV-iv BSTFA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 1-デカノール(1-デシルアルコール) | IV-iv BSTFA 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 1,3-ジクロロ-2-プロパノール | IV-v 水蒸気蒸留後固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| モノエタノールアミン | IV-vi BSC 誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アルキルアミン類 | | |
| シクロヘキシルアミン | IV-vii アルカリ性蒸留後溶媒抽出・アセチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ジシクロヘキシルアミン | IV-vii アルカリ性蒸留後溶媒抽出・アセチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ビス(2-エチルヘキシル)アミン | IV-vii アルカリ性蒸留後溶媒抽出・アセチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ニトリロ三酢酸(NTA) | IV-viii メチルエステル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 芳香族炭化水素化合物 | | |
| α-メチルスチレン(イソプロペニルベンゼン) | IV-ix パージ・トラップ・GC-MS 法 IV-ix (参考法1)ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ニトロベンゼン | IV-ix パージ・トラップ・GC-MS 法 IV-ix (参考法1)ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS |
| ポリプロモジフェニルエーテル(テカブロモジフェニルエーテル含む) | IV-x 溶媒又は固相抽出・GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| フェノール類 | | |
| 2,4-キシレノール(2,4-ジメチルフェノール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,5-キシレノール(2,5-ジメチルフェノール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,6-キシレノール(2,6-ジメチルフェノール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 3,5-キシレノール(3,5-ジメチルフェノール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,4,6-トリクロロフェノール | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,4,6-トリブロモフェノール | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| o-メキシフェノール(グアヤコール) | IV-x i 硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |

別表3-9-3-(2) 《底質の要調査項目等》その9

要調査項目等調査マニュアル(平成14年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|--|
| メチレンビスアミン類 4,4'-ジアミノ-3,3'-ジクロロジフェニルメタン (4,4'-メチレンビス(2-クロロアニリン))(DACP) | IV-x ii MBTFA誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ベンジシン類 3,3'-ジクロロベンジシン(3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノビフェニル)(DCB) | IV-x ii MBTFA誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 有機スズ化合物 ジブチルスズ化合物(DBT) トリブチルスズ化合物(TBT) モノフェニルスズ化合物(MPT) ジフェニルスズ化合物(DPT) トリフェニルスズ化合物(TPT) | IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 IV-x iii NaBEt4誘導体化GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| トリクロピル ベンタゾン及びヘンタゾンのナトリウム塩 | IV-x iv アルカリ加水分解後ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-x iv アルカリ加水分解後ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 | GC-MS GC-MS |
| グリホサート アセフェート トリクロルホン(DEP) | IV-x v FMOC-Cl誘導体化HPLC法 IV-x vi 活性炭抽出・GC-MS法 IV-x vii アセチル誘導体化GC-MS法 | HPLC(FL) GC-MS GC-MS |
| ニトロベンゼン類 1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン 1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン キントゼン(ペントクロロニトロベンゼン)(PCNB) | IV-x viii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x viii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x viii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| 農薬類 シアナジン ジチオピル ピリズチカルブ ブタミホス ベンディメタリン メタラキシル | IV-x viii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x viii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x viii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x viii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x viii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 IV-x viii 固相又は溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |

別表3-9-4-(1) 《底質の要調査項目等》その10

要調査項目等調査マニュアル(平成15年3月 環境省環境管理局水環境部企画課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|---|
| テルル及びその化合物(総テルル) | IV-i 水素化物発生原子吸光法 IV-i 水素化物発生ICP発光分析法 IV-i ICP質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| バリウム及びその化合物(総バリウム) | IV-i ICP発光分析法 IV-i ICP質量分析法 | ICP-AES ICP-MS |
| アニシン類 o-アニシン m-アニシン p-アニシン | IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| キシリシン類 2,3-キシリシン 2,4-キシリシン 2,5-キシリシン 2,6-キシリシン 3,4-キシリシン 3,5-キシリシン | IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| トルイシン類 o-トルイシン m-トルイシン p-トルイシン | IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| N-エチルアニリン N,N-ジ'メチルアニリン | IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 IV-ii 水蒸気蒸留後溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS |
| 4-クロロ-3-メチルフェノール | IV-iii アルカリ性溶媒抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| クロロフェノール類 o-クロロフェノール m-クロロフェノール p-クロロフェノール p-ブロモフェノール | IV-iii アルカリ性溶媒抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 IV-iii アルカリ性溶媒抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 IV-iii アルカリ性溶媒抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 IV-iii アルカリ性溶媒抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |
| トリクロサン及びその塩素置換体 トリクロサン 3-クロロトリクロサン 5-クロロトリクロサン 3,5-ジ'クロロトリクロサン 2,6-ジ'ーt-ブ'チル-4-メチルフェノール (2,6-di-tB-4MP) 2,6-ジ'ーt-ブ'チル-4-エチルフェノール (2,6-di-tB-4EP) 2,4,6-トリ-t-ブ'チルフェノール(2,4,6-tri-tBP) | IV-iv ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-iv ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-iv ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-iv ジアゾメタン誘導体化GC-MS法 IV-v 溶媒抽出・GC-MS法 IV-v 溶媒抽出・GC-MS法 IV-v 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |

別表3-9-4-(2) 《底質の要調査項目等》その11

要調査項目等調査マニュアル(平成15年3月 環境省環境管理局水環境部企画課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|--|------------------------|
| テトラブロモビスフェノールA | IV-vi 溶媒抽出・硫酸ジエチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| 2,2-ビス[4-(2-ヒドロキシエトキシ)-3,5-ジブロモフェニル]プロパン (TBA-EO) | IV-vii 溶媒抽出・トリメチルシリル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾチアゾール | IV-viii 水蒸気蒸留後固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 多環芳香族炭化水素(PAHs) | | |
| アントラセン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[a]アントラセン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ジベンゾ[a,h]アントラセン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| フェナントレン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| フルオランテン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[b]フルオランテン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[k]フルオランテン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[j]フルオランテン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ピレン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[a]ピレン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[e]ピレン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| インデノ[1,2,3-cd]ピレン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| クリセン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ヘリレン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| ベンゾ[g,h,i]ヘリレン | IV-ix 溶媒抽出アルカリ分解後・GC-MS法 | GC-MS |
| 農薬類 | | |
| イソフェンホス | IV-x 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| イプロジオン | IV-x 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| キャブタン | IV-x 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| トルクロホスメチル | IV-x 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| ナプロハミド | IV-x 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| ブタクロール | IV-x 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| フルトラニル | IV-x 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| プロペナゾール | IV-x 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| ポリ塩化ナフタレン(PCN)(1~8塩化物) | IV-x i 溶媒抽出・GC-MS 法 | GC-MS |
| ミクロシスチン類(MMPB) | IV-x ii 固相抽出・酸化分解・GC-MS 法 IV-x ii 固相抽出・酸化分解・LC-MS 法 | GC-MS LC-MS |

別表3-9-4-(3) 《底質の要調査項目等》その12
要調査項目等調査マニュアル(平成15年3月 環境省環境管理局水環境部企画課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------------------|-----------------------------|------------------------|
| エストラジオール及びその代謝産物 | | |
| 17 α -エストラジオール | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 17 β -エストラジオール | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストロン | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストリオール | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エチニルエストラジオール | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 17 β -エストラジオール-3-硫酸 | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 17 β -エストラジオール-3-グルクロニド | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| 17 β -エストラジオール-17-グルクロニド | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストロン-3-硫酸 | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストロン-3-グルクロニド | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストリオール-3-硫酸 | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |
| エストリオール-3-グルクロニド | IV-x iii 固相抽出・分画・LC-MS/MS 法 | LC-MS/MS |

別表3-9-5 《底質の要調査項目等》その13

要調査項目等調査マニュアル(平成16年3月 環境省環境管理局水環境部企画課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------------------|-----------------------------------|------------------------|
| ヘキサクロロベン | IV-i 溶媒抽出・ジアゾメタンメチル化GC-MS法 | GC-MS |
| アシュラム | IV-ii 溶媒抽出・LC-MS法 | LC-MS |
| ベンズリト(SAP) | IV-ii 溶媒抽出・LC-MS法 | LC-MS |
| イソバレルアルテヒド(3-メチルブチルアルテヒド) | IV-iii 水抽出・PFBOA 誘導体化溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 2-ブタノン(メチルエチルケトン、MEK) | IV-iii 水抽出・PFBOA 誘導体化溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| モルホリン | IV-iv 加水・蒸留・ベンゼンスルホニル化溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| メラミン(2,4,6-トリアミノ-1,3,5-トリアゾン) | IV-vi 溶媒抽出・LC-MS法 | LC-MS |
| ジクロロアニリン類 | | |
| 2,4-ジクロロアニリン | IV-vii 水蒸気蒸留・固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 2,5-ジクロロアニリン | IV-vii 水蒸気蒸留・固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| 3,4-ジクロロアニリン | IV-vii 水蒸気蒸留・固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| ナフチルアミン類 | | |
| α -ナフチルアミン(1-ナフチルアミン) | IV-vii 水蒸気蒸留・固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| β -ナフチルアミン(2-ナフチルアミン) | IV-vii 水蒸気蒸留・固相抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| N-フェニルナフチルアミン類 | | |
| N-フェニル-1-ナフチルアミン | IV-viii 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| N-フェニル-2-ナフチルアミン | IV-viii 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS |
| フルオレスセント | | |
| フルオレスセント・260 | IV-ix 溶媒抽出・HPLC法 | HPLC(FL) |
| フルオレスセント・351 | IV-ix 溶媒抽出・HPLC法 | HPLC(FL) |
| クロロピクリン(トリクロロニトロメタン) | IV-x 溶媒抽出・加水・ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| ホリ塩化ターフェニル(PCT) | IV-x i 溶媒抽出・アルカリ分解・GPC処理・GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |

別表3-9-6 《底質の要調査項目等》その14

要調査項目等調査マニュアル(平成20年3月 環境省水・大気環境局水環境課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|---|--|
| ジニトロフェノール類 2,4-ジニトロフェノール 2,5-ジニトロフェノール 2,6-ジニトロフェノール 2,6-ジニトロ-4-クレゾール 4,6-ジニトロ-4-クレゾール | IV-i 塩酸酸性還元菌死活化-溶媒抽出・LC-MS/MS法 IV-i 塩酸酸性還元菌死活化-溶媒抽出・LC-MS/MS法 IV-i 塩酸酸性還元菌死活化-溶媒抽出・LC-MS/MS法 IV-i 塩酸酸性還元菌死活化-溶媒抽出・LC-MS/MS法 IV-i 塩酸酸性還元菌死活化-溶媒抽出・LC-MS/MS法 | LC-MS/MS LC-MS/MS LC-MS/MS LC-MS/MS LC-MS/MS |
| ニトロフェノール類 2-ニトロフェノール 3-ニトロフェノール 4-ニトロフェノール 3-メチル-2-ニトロフェノール | IV-i 塩酸酸性還元菌死活化-溶媒抽出・LC-MS/MS法 IV-i 塩酸酸性還元菌死活化-溶媒抽出・LC-MS/MS法 IV-i 塩酸酸性還元菌死活化-溶媒抽出・LC-MS/MS法 IV-i 塩酸酸性還元菌死活化-溶媒抽出・LC-MS/MS法 | LC-MS/MS LC-MS/MS LC-MS/MS LC-MS/MS |
| 塩化アルキルジメチルベンジルアンモニウム 塩化トデシルジメチルベンジルアンモニウム (C12BAC) 塩化テトラデシルジメチルベンジルアンモニウム (C14BAC) 塩化ヘキサデシルジメチルベンジルアンモニウム (C16BAC) 安息香酸 p-t-ブチル安息香酸 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) | IV-ii 高圧液体抽出・LC-MS法 IV-ii 高圧液体抽出・LC-MS/MS法 IV-ii 高圧液体抽出・LC-MS法 IV-ii 高圧液体抽出・LC-MS/MS法 IV-ii 高圧液体抽出・LC-MS法 IV-ii 高圧液体抽出・LC-MS/MS法 IV-iii 溶媒抽出・固相ろ過精製-活性炭抽出・メチル誘導体化GC-MS法 IV-iii 溶媒抽出・固相ろ過精製-活性炭抽出・メチル誘導体化GC-MS法 IV-iv 溶媒抽出・LC-MS法 IV-iv 溶媒抽出・LC-MS/MS法 IV-iv 溶媒抽出・LC-MS法 IV-iv 溶媒抽出・LC-MS/MS法 | LC-MS LC-MS/MS LC-MS LC-MS/MS LC-MS LC-MS/MS GC-MS GC-MS LC-MS LC-MS/MS LC-MS LC-MS |
| ペルフルオロオクタン酸(PFOA) | IV-v 水抽出・固相ろ過精製-活性炭抽出・メチル誘導体化GC-MS法 | GC-MS |
| アジピン酸 ジニトロベンゼン類 1,4-ジニトロベンゼン 1,2-ジニトロベンゼン 1,3-ジニトロベンゼン | IV-vii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-vii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-vii 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| ニトロアニソール類 o-ニトロアニソール(メキシニトロベンゼン) m-ニトロアニソール p-ニトロアニソール ペンタクロロベンゼン アントラキノン 1-フェニル-1-(3,4-ジメチルフェニル)エタン類 | IV-vii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-vii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-vii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-vii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-vii 溶媒抽出・GC-MS法 IV-vii 溶媒抽出・GC-MS法 | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS |

別表3-10-(1) 《底質の環境残留物質》その1

農薬等の環境残留実態調査分析法(平成12年1月 環境庁水質保全局編)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------------------------|-----------------------|------------------------|
| 有機塩素系化合物 | | |
| ヘキサクロロベンゼン(HCB) | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘキサクロロシクロヘキセン(α, β, γ, δ-HCH) | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| DDT(p,p',o,p'-体) | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| DDD(p,p',o,p'-体) | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| DDE(p,p',o,p'-体) | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| クロルデン(cis-, trans-体) | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| オキシクロルデン | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| trans-ノナクロル | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ケルセン | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| アルドリン | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドリン | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ディルドリン | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| エンドスルファン(α, β, SO ₂ 体) | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘプタクロル | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| ヘプタクロルエポキシド | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| メキシクロル | II 1. GC-MS 法 | GC-MS |
| トリアジン系、有機リン系及びその他の化合物 | | |
| アトラジン | II 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| アラクロール | II 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| CAT(シマジン) | II 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| NAC(カルバリル) | II 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| マラチオン | II 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| ニトロフェン | II 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| トリフルラリン | II 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| ビンクロゾリン | II 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| エチルパラチオン | II 2. GC-MS 法 | GC-MS |
| 合成ピレスロイド系化合物 | | |
| シペルメトリン | II 3. GC法 | GC(ECD) |
| ペルメトリン | II 3. GC法 | GC(ECD) |
| フェンバレレート | II 3. GC法 | GC(ECD) |
| フェノキシ酢酸系化合物 | | |
| 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D) | II 4. メチルエステル化GC法 | GC(ECD) |
| | II 4. メチルエステル化GC-MS 法 | GC-MS |
| 2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸(2,4,5-T) | II 4. メチルエステル化GC法 | GC(ECD) |

別表3-10-(2) 《底質の環境残留物質》その2

農薬等の環境残留実態調査分析法(平成12年1月 環境庁水質保全局編)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------------------|-----------------|------------------------|
| ジオカルバマート系化合物 | | |
| マンネブ | II 5. メチル化HPLC法 | HPLC(UV) |
| マンゼブ | II 5. メチル化HPLC法 | HPLC(UV) |
| ジネブ | II 5. メチル化HPLC法 | HPLC(UV) |
| ジラム | II 5. メチル化HPLC法 | HPLC(UV) |
| メソミル | II 6. GC法 | GC(NPD) |
| カルベンダジム(ベノミル含む) | II 7. HPLC法 | HPLC(UV) |
| 1,2-ジブロモ-3-クロロプロパン(DBCP) | II 8. GC法 | GC(ECD) |
| ペンタクロロフェノール(PCP) | II 9. HPLC法 | HPLC(UV) |
| アミトロール | II 10. LC-MS 法 | LC-MS |

別表3-11-(1) 《建設発生土及び水底土砂(産業廃棄物)》その1*(1)

産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法(昭和48年2月17日環境庁告示第13号・令和2年3月30日環境省告示第35号改正現在)

特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号・令和7年3月11日環境省告示第22号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|--|---|
| アルキル水銀化合物 | S46 環告第59号(R 7年3月改正前)付表3 GC法及び S49 環告第64号(R 7年3月改正前)付表3 薄層クロマトグラフー原子吸光法 | GC(ECD) AA又は水銀用原子吸光分析装置 |
| 水銀又はその化合物 カドミウム又はその化合物 | S46 環告第59号(R 7年3月改正前)付表2 原子吸光法 JIS K 0102(2016)-55.1 フレーム原子吸光法*(8) JIS K 0102(2016)-55.2 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-55.3 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-55.4 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 鉛又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-54.1 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-54.2 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-54.3 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-54.4 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 有機燐化合物 (パラチオン、メチルパラチオン、EPN、メチルジメトン) (パラチオン、メチルパラチオン、EPN) (パラチオン、メチルパラチオン、EPN) (メチルジメトン) | S49 環告第64号(R 7年3月改正前)付表1 GC法 JIS K 0102(2016)-31.1.3 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 JIS K 0102(2016)-31.1.4 p-ニトロフェノール吸光光度法 | GC(FTD又はFPD) SP SP |
| 六価クロム化合物 | S49 環告第64号(R 7年3月改正前)付表2 薄層クロマトグラフー吸光光度法 S48 環告第13号別表第一 逆添加法によるジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102(2016)-65.2.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102(2016)-65.2.2 前処理後フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-65.2.3 前処理後電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-65.2.4 前処理後ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-65.2.5 前処理後ICP 質量分析法 | SP SP SP SP SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 砒素又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-61.1 ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光光度法 JIS K 0102(2016)-61.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102(2016)-61.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-61.4 ICP 質量分析法 | SP 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| シアン化合物 | JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.2 ピリジン-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.3 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.4 イオン電極法 JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.5. JIS K 0170(2011)-9-7.3.2 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色FIA法 JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.5. JIS K 0170(2011)-9-7.3.5 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 | SP SP 電位差計、シアン化合物イオン電極及び参照電極 フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(8):海洋投入処分を行おうとする無機性の汚泥は除く。

別表3-11-(2) 《建設発生土及び水底土砂(産業廃棄物)》その2*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------|---|---|
| ポリ塩化ビフェニル(PCB) | S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表4 GC法 JIS K 0093(2006)-5 GC法 | GC(ECD) GC(ECD) |
| セレン又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-67.1 3,3'-ジアミノベンジン吸光光度法*(2) JIS K 0102(2016)-67.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102(2016)-67.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-67.4 ICP 質量分析法 | SP 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| 有機塩素化合物 | S48 環告第13号別表第六,JIS K 0102(2016)-35.3 イオンクロマトグラフ法 | IC |
| 銅又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-52.1 ジエチルジチオカルバミド酸吸光光度法*(3) JIS K 0102(2016)-52.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-52.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-52.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-52.5 ICP 質量分析法 | SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 亜鉛又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-53.1 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-53.2 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-53.3 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-53.4 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 弗化物 | JIS K 0102(2016)-34.1 ランタンーアリザリンコンプレキソン 吸光光度法 JIS K 0102(2016)-34.2 イオン電極法 JIS K 0102(2016)-34.3 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0102(2016)-34.4.JIS K 0170(2011)-6-6.3.2 ランタンーアリザリンコンプレキソン発色FIA法(JIS K 0102-34.1 の蒸留後) JIS K 0102(2016)-34.4.JIS K 0170(2011)-6-6.3.3 蒸留・ランタンーアリザリンコンプレキソン発色CFA法 | SP 電位差計、ふつ化物イオン電極及び参照電極 IC フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) |
| ベリリウム又はその化合物 | S48 環告第13号別表第七第一 フレーム原子吸光法 S48 環告第13号別表第七第二 電気加熱原子吸光法 S48 環告第13号別表第七第三 ICP 発光分析法 S48 環告第13号別表第七第四 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| クロム又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-65.1.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102(2016)-65.1.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-65.1.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-65.1.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-65.1.5 ICP 質量分析法 | SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| ニッケル又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-59.1 ジメチルグリオキシム吸光光度法 JIS K 0102(2016)-59.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-59.3 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-59.4 ICP 質量分析法 | SP AA ICP-AES ICP-MS |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2):海洋投入処分を行おうとする汚泥は除く。

注*(3):海洋投入処分を行おうとする有機性の汚泥は除く。

別表3-11-(3) 《建設発生土及び水底土砂(産業廃棄物)》その3*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---------------------|---|--|
| バナジウム又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-70.1 N-ペンゾイル-N-フェニルヒドロキシルアミン吸光光度法 JIS K 0102(2016)-70.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-70.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-70.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-70.5 ICP 質量分析法 | SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| フェノール類 1,4-ジオキサン | JIS K 0102(2016)-28.1.1,28.1.2 4-アミノアンチピリン吸光光度法 S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表8(第1) 固相抽出GC-MS 法*(3) S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表8(第2) パージ・トラップ・GC-MS 法*(3) S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表8(第3) ヘッドスペース・GC-MS 法*(3) | SP GC-MS GC-MS GC-MS |
| トリクロロエチレン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.3.1 パージ・トラップGC法*(6) JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5) JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(4) S48 環告第13号別表第三 溶媒抽出GC法*(5)(6) S48 環告第13号別表第四 溶媒抽出GC法*(7) | GC-MS GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| テトラクロロエチレン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.3.1 パージ・トラップGC法*(6) JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5) JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(4) S48 環告第13号別表第三 溶媒抽出GC法*(5)(6) S48 環告第13号別表第四 溶媒抽出GC法*(7) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(3):海洋投入処分を行おうとする有機性の汚泥は除く。

注*(4):S48 環告第13号第一の三に掲げる検液にのみ適用する。

注*(5):埋立処分を行おうとする汚泥及び汚泥を処分するために処理したものにのみ適用する。

注*(6):海洋投入処分を行おうとする無機性の汚泥にのみ適用する。

注*(7):海洋投入処分を行おうとする有機性の汚泥にのみ適用する。

別表3-11-(4) 《建設発生土及び水底土砂(産業廃棄物)》その4*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------|---|--|
| 四塩化炭素 | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.3.1 パージ・トラップGC法*(6) JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5) JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(4) S48 環告第13号別表第三 溶媒抽出GC法*(5)(6) S48 環告第13号別表第四 溶媒抽出GC法*(7) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| 1,1,1-トリクロロエタン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.3.1 パージ・トラップGC法*(6) JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5) JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(4) S48 環告第13号別表第三 溶媒抽出GC法*(5)(6) S48 環告第13号別表第四 溶媒抽出GC法*(7) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| 1,1,2-トリクロロエタン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.3.1 パージ・トラップGC法*(6) JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5) JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(4) S48 環告第13号別表第三 溶媒抽出GC法*(5)(6) S48 環告第13号別表第四 溶媒抽出GC法*(7) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(ECD) GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| ジクロロメタン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5) JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5)(6) JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(4) S48 環告第13号別表第三 溶媒抽出GC法*(5)(6) S48 環告第13号別表第四 溶媒抽出GC法*(7) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(4):S48 環告第13号第一の三に掲げる検液にのみ適用する。

注*(5):埋立処分を行おうとする汚泥及び汚泥を処分するために処理したものにのみ適用する。

注*(6):海洋投入処分を行おうとする無機性の汚泥にのみ適用する。

注*(7):海洋投入処分を行おうとする有機性の汚泥にのみ適用する。

別表3-11-(5) 《建設発生土及び水底土砂(産業廃棄物)》その5*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------|---|------------------------|
| 1,2-ジクロロエタン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.1 パージ・トラップGC法*(6) | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5)(6) | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5) | GC(ECD) |
| 1,1-ジクロロエチレン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5)(6) | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5) | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| シス-1,2-ジクロロエチレン | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5)(6) | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5) | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| 1,3-ジクロロプロペン | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.1 パージ・トラップGC法*(6) | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5) | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5) | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| ベンゼン | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.1 パージ・トラップGC法*(6) | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5) | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法*(4)(5) | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| チウラム シマジン | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法*(4)(5)(6) | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法*(4)(5)(6) | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.2 ヘッドスペースGC法*(4)(5) | GC(FID) |
| | S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表5 溶媒抽出又は固相抽出HPLC法 | HPLC(UV) |
| | S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表6(第1)溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC-MS |
| | S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表6(第2)溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC(FTD又はECD) |
| チオベンカルブ | S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表6(第1)溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | GC-MS |
| | S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表6(第2)溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC(FTD又はECD) |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(4):S48 環告第13号第一の三に掲げる検液にのみ適用する。

注*(5):埋立処分を行おうとする汚泥及び汚泥を処分するために処理したものにのみ適用する。

注*(6):海洋投入処分を行おうとする無機性の汚泥にのみ適用する。

別表3-12-(1) 《建設発生土及び水底土砂(海洋汚染廃棄物)》その1*(1)

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法(昭和48年2月17日環境庁告示第14号・令和2年6月4日環境省告示第56号改正現在)

特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号・令和7年3月11日環境省告示第22号改正現在)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--|--|---|
| アルキル水銀化合物 | S46 環告第59号(R 7年3月改正前)付表3 GC法及び S49 環告第64号(R 7年3月改正前)付表3 薄層クロマトグラフー原子吸光法 | GC(ECD) AA又は水銀用原子吸光分析装置 |
| 水銀又はその化合物 カドミウム又はその化合物 | S46 環告第59号(R 7年3月改正前)付表2 原子吸光法 JIS K 0102(2016)-55.1 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-55.2 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-55.3 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-55.4 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 鉛又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-54.1 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-54.2 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-54.3 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-54.4 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 有機燐化合物 (パラチオン、メチルパラチオン、EPN、メチルジメトン) (パラチオン、メチルパラチオン、EPN) (パラチオン、メチルパラチオン、EPN) (メチルジメトン) | S49 環告第64号(R 7年3月改正前)付表1 GC法 JIS K 0102(2016)-31.1.3 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 JIS K 0102(2016)-31.1.4 p-ニトロフェノール吸光光度法 | GC(FPD又はFPD) SP SP |
| 六価クロム化合物 | S49 環告第64号(R 7年3月改正前)付表2 薄層クロマトグラフー吸光光度法 S48 環告第13号別表第一 逆添加法によるジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102(2016)-65.2.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102(2016)-65.2.2 前処理後フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-65.2.3 前処理後電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-65.2.4 前処理後ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-65.2.5 前処理後ICP 質量分析法 | SP SP SP SP SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| ひ素又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-61.1 ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光光度法 JIS K 0102(2016)-61.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102(2016)-61.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-61.4 ICP 質量分析法 | SP 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |
| シアノ化合物 | JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.2 ピリジン-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.3 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法 JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.4 イオン電極法 JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.5. JIS K 0170(2011)-9-7.3.2 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色FIA法 JIS K 0102(2016)-38.1.2,38.5. JIS K 0170(2011)-9-7.3.5 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン発色CFA法 | SP SP 電位差計、シアノ化合物イオン電極及び参照電極 フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) |
| ポリ塩化ビフェニル(PCB) | S46 環告第59号(R 7年3月改正前)付表4 GC法 JIS K 0093(2006)-5 GC法 | GC(ECD) GC(ECD) |
| 有機塩素化合物 | S48 環告第14号別表第一, JIS K 0102(2016)-35.3 イオンクロマトグラフ法 | IC |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

別表3-12-(2) 《建設発生土及び水底土砂(海洋汚染廃棄物)》その2*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------|--|---|
| 銅又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-52.1 ジエチルジチオカルバミド酸吸光光度法 JIS K 0102(2016)-52.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-52.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-52.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-52.5 ICP 質量分析法 | SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| 亜鉛又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-53.1 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-53.2 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-53.3 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-53.4 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| ふつ化物 | JIS K 0102(2016)-34.1 ランタン-アリザリンコンプレキソン 吸光光度法 JIS K 0102(2016)-34.2 イオン電極法 JIS K 0102(2016)-34.3 イオンクロマトグラフ法 JIS K 0102(2016)-34.4 JIS K 0170(2011)-6-6.3.2 ランタン-アリザリンコンプレキソン発色FIA法 (JIS K 0102-34.1 の蒸留後) JIS K 0102(2016)-34.4 JIS K 0170(2011)-6-6.3.3 蒸留・ランタン-アリザリンコンプレキソン発色CFA法 | SP 電位差計、ふつ化物イオン電極及び参照電極 IC フローインジェクション分析装置(FIA) 連続流れ分析装置(CFA) |
| ベリリウム又はその化合物 | S48 環告第13号別表第七第一 フレーム原子吸光法 S48 環告第13号別表第七第二 電気加熱原子吸光法 S48 環告第13号別表第七第三 ICP 発光分析法 S48 環告第13号別表第七第四 ICP 質量分析法 | AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| クロム又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-65.1.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102(2016)-65.1.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-65.1.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-65.1.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-65.1.5 ICP 質量分析法 | SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| ニッケル又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-59.1 ジメチルグリオキシム吸光光度法 JIS K 0102(2016)-59.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-59.3 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-59.4 ICP 質量分析法 | SP AA ICP-AES ICP-MS |
| バナジウム又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-70.1 N-ヘンゾイル-N-フェニルヒドロキルアミン吸光光度法 JIS K 0102(2016)-70.2 フレーム原子吸光法 JIS K 0102(2016)-70.3 電気加熱原子吸光法 JIS K 0102(2016)-70.4 ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-70.5 ICP 質量分析法 | SP AA FLAA ICP-AES ICP-MS |
| セレン又はその化合物 | JIS K 0102(2016)-67.1 3,3'-ジアミノベンジジン吸光光度法 JIS K 0102(2016)-67.2 水素化物発生原子吸光法 JIS K 0102(2016)-67.3 水素化物発生ICP 発光分析法 JIS K 0102(2016)-67.4 ICP 質量分析法 | 水素化物発生装置及びAA 水素化物発生装置及びICP-AES ICP-MS |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

別表3-12-(3) 《建設発生土及び水底土砂(海洋汚染廃棄物)》その3*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|----------------|--|---|
| 1,4-ジオキサン | S46 環告第59号(R 7年3月改正前)付表8(第1) 固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号(R 7年3月改正前)付表8(第2) パージ・トラップ・GC-MS 法 S46 環告第59号(R 7年3月改正前)付表8(第3) ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS GC-MS GC-MS |
| トリクロロエチレン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.2 トップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(2) S48 環告第14号別表第二 溶媒抽出GC法*(3) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| テトラクロロエチレン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.2 トップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(2) S48 環告第14号別表第二 溶媒抽出GC法*(3) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| 四塩化炭素 | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.2 トップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(2) S48 環告第14号別表第二 溶媒抽出GC法*(3) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |
| 1,1,1-トリクロロエタン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.2.2 トップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(2) S48 環告第14号別表第二 溶媒抽出GC法*(3) | GC-MS GC-MS GC-MS GC(FID) GC(ECD) GC(ECD) GC(ECD) |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2):S48 環告第14号第一の二に掲げる検液にのみ適用する。

注*(3):汚泥、汚泥を処分するために処理したもの及び水底土砂にのみ適用する。

別表3-12-(4) 《建設発生土及び水底土砂(海洋汚染廃棄物)》その4*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------|---|------------------------|
| 1,1,2-トリクロロエタン | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.5 溶媒抽出GC法*(2) | GC(ECD) |
| | S48 環告第14号別表第二 溶媒抽出GC法*(3) | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| ジクロロメタン | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,2-ジクロロエタン | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,1-ジクロロエチレン | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| シス-1,2-ジクロロエチレン | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| 1,3-ジクロロプロペン | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(ECD) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| ベンゼン | JIS K 0125(2016)-5.3.2 パージ・トラップGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.4.1 ヘッドスペースGC法 | GC(FID) |
| | JIS K 0125(2016)-5.1 パージ・トラップ・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.1 ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |
| | JIS K 0125(2016)-5.2.2 トラップ型ヘッドスペース・GC-MS 法 | GC-MS |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2):S48 環告第14号第一の二に掲げる検液にのみ適用する。

注*(3):汚泥、汚泥を処分するために処理したもの及び水底土砂にのみ適用する。

別表3-12-(5) 《建設発生土及び水底土砂(海洋汚染廃棄物)》その5*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------------|---|---------------------------------------|
| チウラム シマジン | S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表5 溶媒抽出又は固相抽出HPLC法 S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表6(第1)溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 | HPLC(UV) GC-MS |
| チオベンカルブ | S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表6(第2)溶媒抽出又は固相抽出GC法 S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表6(第1)溶媒抽出又は固相抽出GC-MS 法 S46 環告第59号(R 7年 3月改正前)付表6(第2)溶媒抽出又は固相抽出GC法 | GC(FTD又はECD) GC-MS GC(FTD又はECD) |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

別表3-13 《建設発生土及び水底土砂(海洋投入廃棄物の油分)》*(1)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第六条第一項第四号に規定する海洋投入処分を行うことができる産業廃棄物に含まれる油分の検定方法(昭和51年2月27日環境庁告示第3号・令和2年3月30日環境省告示第35号改正現在)

海洋投入処分できる産業廃棄物に含まれる油分の検定方法の当面の扱いについて(平成19年8月14日環廃産発第070814001号、環地保発第070814001号 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長、環境省地球環境局環境保全対策課長通知)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------|--|---|
| 油分 | 赤外線吸光光度法 S49 環告第64号(JIS K 0102-1-22.3) 抽出・重量法 S49 環告第64号(JIS K 0102-1-22.4) 容器抽出・重量法 | 赤外線分析計(波長3.5 μ m 分光型又は非分散型) — — |

注*(1):建設発生土と水底土砂以外は、計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

別表3-14 《土壤のTPH》

油汚染対策ガイドライン(平成18年3月22日環水大土発第060322001号環境省水・大気環境局土壤環境課長通知)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|--------|------------------|------------------------|
| TPH | 資料3 溶媒抽出・GC-FID法 | GC(FID) |

別表3-15 《土壤の臭素系ダイオキシン》

ポリブロモジベンゾーパラジオキシン及びポリブロモジベンゾフランの暫定調査方法(平成19年3月環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|--------|------------------------|
| 臭素系ダイオキシン(4~8臭素化) | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

別表3-16 《底質の臭素系ダイオキシン》

ポリブロモジベンゾーパラジオキシン及びポリブロモジベンゾフランの暫定調査方法(平成19年3月環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-------------------|--------|------------------------|
| 臭素系ダイオキシン(4~8臭素化) | GC-MS法 | 高分解能GC-MS |

別表3-17 《底質のPOPs》

モニタリング調査マニュアル(平成16年3月 環境省環境保健部環境安全課)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|-----------------|-----------------|-----------------------------|
| ポリ塩化ビフェニル(PCB) | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| DDT類 | | |
| o,p'-DDT | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| p,p'-DDT | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| o,p'-DDE | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| p,p'-DDE | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| o,p'-DDD | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| p,p'-DDD | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| クロルデン類 | | |
| trans-クロルデン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| cis-クロルデン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| trans-ノナクロル | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| cis-ノナクロル | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| オキシクロルデン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ディルドリン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| アルドリン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| エンドリン | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ヘプタクロル | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ヘプタクロルエポキサイド | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| ヘキサクロロベンゼン(HCB) | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| マイレックス | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| トキサフェン | II GC-MS(NCI) 法 | GC-MS(NCI式)(NCI: 負イオン化イオン化) |
| ヘキサクロロシクロヘキサン | | |
| α-HCH | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| β-HCH | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |
| γ-HCH | II GC-MS 法 | 高分解能GC-MS |

別表3-18 《土壤の有機フッ素化合物》

土壤中のPFOS、PFOA及びPFHxSに係る暫定測定方法*(1)

| 対象物質名等 | 測定分析方法 | 対象物質名等とその測定分析方法に対応する機器 |
|---|---------------|------------------------|
| ヘルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)、ヘルフルオロオクタン酸(PFOA)及びヘルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS) (溶出量試験) | 固相抽出LC-MS/MS法 | LC-MS/MS |
| ヘルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)、ヘルフルオロオクタン酸(PFOA)及びヘルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS) (含有量試験) | 固相抽出LC-MS/MS法 | LC-MS/MS |

注*(1):環境省ホームページに掲載の「土壤中のPFOS、PFOA及びPFHxSに係る暫定測定方法(溶出量試験)」及び「土壤中のPFOS、PFOA及びPFHxSに係る暫定測定方法(含有量試験(全量分析))」

別表4（音圧レベルに係る事業）

別表4-1-(1) 《音圧レベル》その1

- 1) 騒音に係る環境基準について（平成10年9月30日環境庁告示第64号・令和2年3月30日環境省告示第35号改正現在）
 - 騒音に係る環境基準の評価マニュアル 一般地域編（平成27年10月 環境省）
 - 騒音に係る環境基準の評価マニュアル 道路に面する地域編（平成27年10月 環境省）
- 2) 航空機騒音に係る環境基準について（昭和48年12月27日環境庁告示第154号・令和2年3月30日環境省告示第35号改正現在）
 - 航空機騒音測定・評価マニュアル（令和2年3月 環境省）
- 3) 新幹線鉄道騒音に係る環境基準について（昭和50年7月29日環境庁告示第46号・平成12年12月14日環境庁告示第78号改正現在）
 - 新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアル（平成27年10月 環境省）
- 4) 在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について（平成7年12月20日環大一第174号 環境庁大気保全局長通知）
- 5) 在来鉄道騒音測定マニュアル（平成27年10月 環境省水・大気環境局大気生活環境室）
- 6) 騒音規制法第十七条第一項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令（平成12年3月2日総理府令第15号・令和2年3月30日環境省令第9号改正現在）
- 7) 自動車騒音常時監視マニュアル（平成27年10月 環境省水・大気環境局自動車環境対策課）
- 8) 特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準（昭和43年11月27日厚生・農林・通商産業・運輸省告示第1号・令和2年3月30日環境省告示第35号改正現在）
- 9) 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準（昭和43年11月27日厚生省・建設省告示第1号・令和2年3月30日環境省告示第35号改正現在）

| 対象名等 | 測定方法 | 測定機器等 |
|------------------------------|---|--|
| 騒音（騒音環境基準） | H10 環告第64号 JIS Z 8731（等価騒音レベル） (H27 マニュアル) | 計量法第71条の条件に合格した騒音計 [JIS C 1509-1の仕様に適合する騒音計 *(1)] |
| （航空機騒音環境基準） | S48 環告第154号 JIS Z 8731（時間帯補正等価騒音レベル Lden） (R2 マニュアル) | 計量法第71条の条件に合格した騒音計 [JIS C 1509-1の仕様に適合する騒音計 *(1)] |
| （新幹線鉄道騒音環境基準） | S50 環告第46号（ピークレベル） (H27 マニュアル) | 計量法第71条の条件に合格した騒音計 [JIS C 1509-1の仕様に適合する騒音計 *(1)] |
| （在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針） | H7環大一第174号 別紙（等価騒音レベル LAeq） | 計量法第71条の条件に合格した騒音計 [JIS C 1509-1の仕様に適合する騒音計 *(1)] |
| （在来鉄道騒音） | H27 在来鉄道騒音測定マニュアル（等価騒音レベル LAeq） | 計量法第71条の条件に合格し、JIS C 1509-1の仕様に適合する騒音計 *(1) |
| （自動車騒音の要請限度） | H12 総令第15号 JIS Z 8731（等価騒音レベル） | 計量法第71条の条件に合格した騒音計 |
| （自動車騒音常時監視） | H27 自動車騒音常時監視マニュアル（等価騒音レベル LAeq） | 計量法第71条の条件に合格し、JIS C 1509-1の仕様に適合する騒音計 *(1) |
| （特定工場等騒音） | S43 厚・農・通・運告第1号備考 JIS Z 8731 | 計量法第71条の条件に合格した騒音計 |
| （特定建設作業騒音） | S43 厚・建告第1号備考 JIS Z 8731 | 計量法第71条の条件に合格した騒音計 |

注*(1)：廃止されたJIS C 1502またはJIS C 1505に適合する騒音計を使用してもよい。

別表4-1-(2) 《音圧レベル》その2

10)自動車騒音の大きさの許容限度 (昭和50年9月4日環境庁告示第53号・令和4年9月30日環境省告示第77号改正現在)

11)幹線道路の沿道の整備に関する法律施行規則 (昭和55年10月25日建設省令第12号・令和2年12月23日国土交通省令第98号改正現在)

| 対象名等 | 測定方法 | 測定機器等 |
|---|------------------------------------|--------------------|
| 騒音 (自動車騒音の大きさの許容限度)*(1) (幹線道路の沿道の道路交通騒音) | S50 環告第53号 S55 建令第12号 (等価騒音レベル) | 騒音計*(2) 騒音計*(3) |

注*(1) : 計量法第107条の登録対象の範囲ではない。

注*(2) : S50 環告第53号に測定器の指定はない。

注*(3) : S55 建令第12号に測定器の指定はない。

別表5 (振動加速度レベルに係る事業)

別表5-1 《振動加速度レベル》

1)振動規制法施行規則 (昭和51年11月10日総理府令第58号・令和3年3月25日環境省令第3号改正現在)

道路交通振動測定マニュアル (2022年6月 環境省水・大気環境局自動車環境対策課)

2)特定工場等において発生する振動の規制に関する基準 (昭和51年11月10日環境庁告示第90号・平成27年4月20日環境省告示第65号改正現在)

3)環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について (昭和51年3月12日環大特第32号 運輸大臣宛環境庁長官勧告)

| 対象名等 | 測定方法 | 測定機器等 |
|--------------------------------|--|---|
| 振動 (特定建設作業振動) (道路交通振動の要請限度) | S51 総令第58号別表第一備考 S51 総令第58号別表第二備考 (2022 マニュアル) | 計量法第71条の条件に合格した振動レベル計 計量法第71条の条件に合格した振動レベル計 [JIS C 1510、JIS C 1517の仕様に適合した振動レベル計] |
| (特定工場等振動) | S51 環告第90号備考 | 計量法第71条の条件に合格した振動レベル計 |
| (新幹線鉄道振動対策) | S51 環大特第32号 (補正加速度レベル) | 振動計*(1) |

注*(1):S51環大特第32号に測定器の指定はない。

別紙特1 (ダイオキシン類の濃度に係る事業)

別紙特1-1 関係法令等一覧表 ダイオキシン類その1

| 項目 | 関係法令等 |
|--|---|
| 環境基準 (一般環境大気・公共用 水域・地下水・底質・土 壌) | <p>ダイオキシン類対策特別措置法 改正 ダイオキシン類による大気の汚染、水質 の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び 土壤の汚染に係る環境基準について 改正 ダイオキシン類対策特別措置法の施行に ついて 改正 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく 底質環境基準の施行について ダイオキシン類に係る大気環境調査マニ ュアル ダイオキシン類に係る底質調査測定マニ ュアル ダイオキシン類に係る土壤調査測定マニ ュアル</p> |
| 排出ガス・排出水 | <p>ダイオキシン類対策特別措置法 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行令 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則 改正</p> |
| 下水 | <p>下水道法 改正 下水道法施行令 改正 下水道法施行規則 改正 下水の水質の検定方法等に関する省令 改正</p> |

別紙特1-2 関係法令等一覧表 ダイオキシン類その2

| 項目 | 関係法令等 |
|------------------------------------|--|
| 建設発生土及び水底土砂 廃酸・廃アルカリ (産業廃棄物) | <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律 改正 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 改正 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則 改正 金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令 改正 産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法 改正 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法 改正 ダイオキシン類対策特別措置法 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行令 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則 第二条第二項第一号の規定に基づき環境大臣が定める方法 改正</p> <p>昭和45年12月25日法律第137号 令和4年6月17日法律第68号 昭和46年9月23日政令第300号 令和5年12月1日政令第344号 昭和46年9月23日厚生省令第35号 令和7年3月3日環境省令第6号 昭和48年2月17日総理府令第5号 平成29年6月9日環境省令第11号 昭和48年2月17日環境庁告示第13号 令和2年3月30日環境省告示第35号 平成4年7月3日厚生省告示第192号 令和7年3月11日環境省告示第22号 平成11年7月16日法律第105号 令和4年6月17日法律第68号 平成11年12月27日政令第433号 平成30年8月10日政令第241号 平成11年12月27日総理府令第67号 令和6年4月1日環境省令第17号 平成16年12月27日環境省告示第80号 令和7年3月11日環境省告示第23号</p> |

別紙特1-3 関係法令等一覧表 ダイオキシン類その3

| 項目 | 関係法令等 |
|--------------------------------------|---|
| 建設発生土及び水底土砂 廃酸・廃アルカリ (海洋汚染廃棄物) | <p>海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 改正 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令 改正 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行規則 改正 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令 改正 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法 改正 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法 改正 ダイオキシン類対策特別措置法 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行令 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第二項第一号の規定に基づき環境大臣が定める方法 改正</p> <p>昭和45年12月25日法律第 136号 令和 6年 5月24日法律第38号 昭和46年 6月22日政令第 201号 令和 6年 6月 5日政令第 204号 昭和46年 6月23日運輸省令第38号 令和 7年 3月21日国土交通省令第16号 昭和48年 2月17日総理府令第 6号 令和 7年 3月 3日環境省令第 8号 昭和48年 2月17日環境庁告示第14号 令和 2年 6月 4日環境省告示第56号 平成 4年 7月 3日厚生省告示第 192号 令和 7年 3月11日環境省告示第22号 平成11年 7月16日法律第 105号 令和 4年 6月17日法律第68号 平成11年12月27日政令第 433号 平成30年 8月10日政令第 241号 平成11年12月27日総理府令第67号 令和 6年 4月 1日環境省令第17号 平成16年12月27日環境省告示第80号 令和 7年 3月11日環境省告示第23号</p> |

別紙特1-4 関係法令等一覧表 ダイオキシン類その4

| 項目 | 関係法令等 | |
|--------|--|--------------------------------------|
| 日本産業規格 | 排ガス中のダイオキシン類の測定方法 工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法 | JIS K 0311(2020) JIS K 0312(2020) |

別紙特1-5 関係法令等一覧表 ダイオキシン類（参考1）

| 項目 | 関係法令等 | |
|-------------|---|--|
| 降下ばいじん（参考） | 大気降下物中のダイオキシン類測定分析指針 | 平成10年 環境庁 |
| 作業環境（参考） | 労働安全衛生規則 改正 廃棄物焼却施設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱 改正 | 昭和47年 9月30日労働省令第32号 令和 7年 2月19日厚生労働省令第12号 平成13年 4月25日基発第 401号厚生労働省労働基準局長通達 令和 5年 3月27日基発0327第16号厚生労働省労働基準局長通達 |
| 水道原水・浄水（参考） | 水道原水及び浄水中のダイオキシン類調査マニュアル | 平成19年11月 厚生労働省健康局水道課 |
| 食品・食事試料（参考） | 食品中のダイオキシン類の測定方法暫定ガイドライン | 平成20年 2月 厚生労働省 |
| 野生生物（参考） | 野生生物のダイオキシン類蓄積状況等調査マニュアル | 平成14年 9月 環境省環境保健部環境安全課環境リスク評価室 |
| 水生生物（参考） | ダイオキシン類に係る水生生物調査暫定マニュアル | 平成10年 9月 環境庁水質保全局水質管理課 |
| 血液（参考） | 血液中のダイオキシン類測定暫定マニュアル 改正 | 平成12年12月22日 厚生省生活衛生局 平成19年 7月26日 厚生労働省医薬食品局審査管理課化学物質安全対策室事務連絡 |
| 母乳（参考） | 母乳中のダイオキシン類測定暫定マニュアル 改正 | 平成12年12月22日 厚生省生活衛生局 平成19年 7月26日 厚生労働省医薬食品局審査管理課化学物質安全対策室事務連絡 |
| 臍帶（参考） | 臍帶のダイオキシン類分析に関する暫定マニュアル | 平成14年10月 環境省環境保健部環境安全課環境リスク評価室 |
| 飼料・肥料（参考） | 飼料中のダイオキシン類の定量法暫定ガイドライン 改正 | 平成16年11月24日 16消安第5299号農林水産省消費・安全局衛生管理課長通知 平成20年 7月 1日 20消安第3750号農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課長通知 |

別紙特1-6 関係法令等一覧表 ダイオキシン類（参考2）

| 項目 | 関係法令等 |
|--|---|
| 簡易測定法(生物検定法、機器分析法)による排出ガス、ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻(参考) | <p>ダイオキシン類対策特別措置法 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行令 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則 改正 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第二条第一項第四号の規定に基づき環境大臣が定める方法 改正 排出ガス、ばいじん及び燃え殻のダイオキシン類簡易測定法マニュアル(生物検定法) 排出ガス、ばいじん及び燃え殻のダイオキシン類簡易測定法マニュアル(機器分析法)</p> <p>平成11年 7月16日法律第 105号 令和 4年 6月17日法律第68号 平成11年12月27日政令第 433号 平成30年 8月10日政令第 241号 平成11年12月27日総理府令第67号 令和 6年 4月 1日環境省令第17号 平成17年 9月14日環境省告示第92号</p> <p>平成22年 3月31日環境省告示第26号 平成22年 3月 環境省水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室 平成22年 3月 環境省水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室</p> |

別紙特1-7 関係法令等一覧表 ダイオキシン類（参考3）

| 項目 | 関係法令等 |
|---------------------|--|
| 簡易測定方法による底質(概略範囲調査) | <p>ダイオキシン類対策特別措置法に基づく底質環境基準の施行について 底質のダイオキシン類簡易測定法マニュアル</p> <p>平成14年 7月22日環水企第 117号・環水管第 170号 環境省環境管理局水環境部長通知 令和 4年 3月 環境省水・大気環境局水環境課</p> |
| 簡易測定方法による土壤(環境基準) | <p>ダイオキシン類対策特別措置法 改正 ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壤の汚染に係る環境基準について 改正 ダイオキシン類対策特別措置法の施行について 改正 土壤のダイオキシン類簡易測定法マニュアル</p> <p>平成11年 7月16日法律第 105号 令和 4年 6月17日法律第68号 平成11年12月27日環境庁告示第68号</p> <p>令和 4年11月25日環境省告示第89号 平成12年 1月12日環企企第11号他 環境庁通知</p> <p>平成20年 4月 1日環水大総発第080401001号、環水大水発第080401001号環境省水・大気環境局通知 令和 4年 3月 環境省水・大気環境局土壤環境課</p> |

別紙1 (大気中の物質の濃度に係る事業)

別紙1-1 関係法令等一覧表 大気その1

| 項目 | 関係法令等 |
|------------------------|--|
| 環境基準・指針及び有害 大気汚染物質等 | <p>環境基本法 改正 大気の汚染に係る環境基準について 改正 二酸化窒素に係る環境基準について 改正 微小粒子状物質による大気の汚染に係る環境基準について 環境大気常時監視マニュアル JIS B 7957追補に伴う環境大気常時監視の光化学オキシダント自動測定機及び環境大気常時監視マニュアルの取扱いについて 環境大気中の鉛・炭化水素の測定法について ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について 改正 有害大気汚染物質モニタリング指針について 改正 有害大気汚染物質モニタリング測定方法マニュアルの送付について 有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル 改正 改正</p> <p>平成 5年11月19日法律第91号 令和 3年 5月19日法律第36号 昭和48年 5月 8日環境庁告示第25号 平成 8年10月25日環境庁告示第73号 昭和53年 7月11日環境庁告示第38号 平成 8年10月25日環境庁告示第74号 平成21年 9月 9日環境省告示第33号 平成22年 3月31日環水大大発第100331002号、環水大自発第100331003号環境省水・大気環境局長通知 令和 5年 9月22日環境省水・大気環境局環境管理課環境汚染対策室 事務連絡 昭和52年 3月29日環大企第61号環境庁大気保全局長通知 平成 9年 2月 4日環境庁告示第 4号 平成30年11月19日環境省告示第 100号 平成 9年 2月12日環大規第26号環境庁大気保全局長通知 平成11年 3月31日環大規第87号環境庁大気保全局長通知 平成 9年 2月12日環大規第27号環境庁大気保全局大気規制課長通知 平成31年 3月（令和 6年 3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課 令和 5年 5月19日環水大大発第 2305191号環境省水・大気環境局大気環境課長通知 令和 6年 3月28日環水大管発第 2403282号環境省水・大気環境局環境管理課環境汚染対策室長通知</p> |

別紙1-2 関係法令等一覧表 大気その2

| 項目 | 関係法令等 |
|---|---|
| ばい煙・水銀等・特定粉じん・指定物質・特定物質・揮発性有機化合物及び自動車排出ガス要請限度 | <p>大気汚染防止法 改正</p> <p>大気汚染防止法施行令 改正</p> <p>大気汚染防止法施行規則 改正</p> <p>硫黄酸化物の量の測定法 改正</p> <p>窒素酸化物の量の測定法 改正</p> <p>窒素酸化物に係るばい煙濃度の測定法 改正</p> <p>大気汚染防止法施行規則第十五条第五号ただし書きに規定する特定工場等に設置されているばい煙発生施設に係る窒素酸化物に係るばい煙濃度の測定</p> <p>大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令の施行について</p> <p>排出ガス中の水銀測定法 改正</p> <p>石綿に係る特定粉じんの濃度の測定法 改正</p> <p>アスベストモニタリングマニュアル</p> <p>大気汚染防止法附則第九項の規定に基づく指定物質抑制基準</p> <p>有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル 改正</p> <p>大気汚染防止法施行規則第十五条の二及び第十五条の三第一号に規定する揮発性有機化合物濃度の測定法 環境大気中の揮発性有機化合物（VOC）濃度モニタリングに係る測定方法マニュアル</p> <p>大気汚染防止法第二十一条第一項の規定に基づく自動車排出ガスによる大気の汚染の限度を定める省令 改正</p> <p>昭和43年 6月10日法律第97号 令和 4年 6月17日法律第68号</p> <p>昭和43年11月30日政令第 329号 令和 3年 9月29日政令第 275号</p> <p>昭和46年 6月22日厚生省・通産省令第 1号 令和 7年 2月17日環境省令第 4号</p> <p>昭和57年 7月 3日環境庁告示第76号 令和 2年 3月30日環境省告示第35号</p> <p>昭和57年 3月29日環境庁告示第48号 令和 2年 3月30日環境省告示第35号</p> <p>昭和57年 3月29日環境庁告示第49号 平成12年12月14日環境庁告示第78号</p> <p>昭和57年 3月29日環境庁告示第50号</p> <p>平成22年 8月 4日環水大大発第100804001号環境省水・大気環境局大気環境課長通知</p> <p>平成28年 9月26日環境省告示第94号 令和 4年 9月22日環境省告示第75号</p> <p>平成元年12月27日環境庁告示第93号 令和 2年 3月30日環境省告示第35号</p> <p>令和 4年 3月 環境省水・大気環境局大気環境課</p> <p>平成 9年 2月 6日環境庁告示第 5号及び平成 9年 2月 6日環境庁告示第 6号</p> <p>平成31年 3月（令和 6年 3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課</p> <p>令和 5年 5月19日環水大大発第 2305191号環境省水・大気環境局大気環境課長通知</p> <p>平成17年 6月10日環境省告示第61号</p> <p>平成20年 3月 環境省水・大気環境局大気環境課</p> <p>昭和46年 6月23日総理府・厚生省令第 2号</p> <p>平成12年 8月14日総理府令第94号</p> |

別紙1-3 関係法令等一覧表 大気その3

| 項目 | 関係法令等 | |
|----------------|---|--|
| 悪臭物質 | 悪臭防止法 改正 悪臭防止法施行令 改正 悪臭防止法施行規則 改正 特定悪臭物質の測定の方法 改正 | 昭和46年 6月 1日法律第91号 令和 4年 6月17日法律第68号 昭和47年 5月30日政令第 207号 平成23年11月28日政令第 364号 昭和47年 5月30日総理府令第39号 令和 6年 4月 1日環境省令第17号 昭和47年 5月30日環境庁告示第 9号 令和 7年 3月31日環境省告示第45号 |
| PM2.5の成分等 | 微小粒子状物質 (PM2.5) の成分分析ガイドライン 大気中微小粒子状物質 (PM2.5) 成分測定マニュアル 改正 | 平成23年 7月29日環水大大発第110729001号環境省水・大気環境局長通知 平成24年 4月19日環水大大発第120419002号、環水大自発第120419001号環境省水・大気環境局大気環境課長 自動車環境対策課長通知 令和元年 5月14日環水大大発第 1905145号環境省水・大気環境局大気環境課長 自動車環境対策課長通知 |
| 航空防除農薬 | 航空防除農薬に係る気中濃度評価値 | 平成 9年12月 環境庁水質保全局 |
| 大気の環境ホルモン | 平成12年度内分泌搅乱化学物質大気環境調査結果 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル | 平成13年10月 環境省環境管理局大気環境課 平成10年10月 日環水管第 278号環境庁水質保全局水質管理課長通知 |
| 環境大気の臭素系ダイオキシン | ポリブロモジベンゾーハーラージオキシン及びポリブロモジベンゾーフランの暫定調査方法 | 平成19年 3月 環境省水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室 |
| 排ガスの臭素系ダイオキシン | ポリブロモジベンゾーハーラージオキシン及びポリブロモジベンゾーフランの暫定調査方法 | 平成19年 3月 環境省水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室 |
| 排ガスの酸化エチレン | 排出ガス中の酸化エチレン暫定測定方法 | 令和 4年 3月 環境省水・大気環境局大気環境課 |
| 排ガスの多環芳香族炭化水素 | 有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル 改正 | 平成31年 3月（令和 6年 3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課 令和 5年 5月19日環水大大発第 2305191号環境省水・大気環境局大気環境課長通知 |
| 排ガスのPOPs | 有害大気汚染物質等測定方法マニュアル／排出ガス中の指定物質の測定方法マニュアル／排出ガス中のPOPsの測定方法マニュアル／排出ガス中のPAHsの測定方法マニュアル 改正 | 平成31年 3月（令和 6年 3月改訂）環境省水・大気環境局大気環境課 令和 5年 5月19日環水大大発第 2305191号環境省水・大気環境局大気環境課長通知 |
| 環境大気のPOPs | モニタリング調査マニュアル | 平成16年 3月 環境省環境保健部環境安全課 |

別紙1-4 関係法令等一覧表 大気その4

| 項目 | 関係法令等 | |
|--------|--|--|
| 日本産業規格 | 大気中の一酸化炭素自動計測器 大気中の二酸化硫黄自動計測器 大気中の窒素酸化物自動計測器 大気中の浮遊粒子状物質自動計測器 大気中の炭化水素自動計測器 大気中のオゾン及びオキシダントの自動計測器 排ガス中の二酸化硫黄自動計測システム及び自動計測器 排ガス中の窒素酸化物自動計測システム及び自動計測器 排ガス中の酸素自動計測器 排ガス中の塩化水素自動計測器 排ガス中の一酸化炭素自動計測器 排ガス中の金属分析方法 排ガス中の臭素化合物分析方法 排ガス中のフェノール類分析方法 排ガス中のピリジン分析方法 排ガス中のベンゼン分析方法 排ガス中のアクロレイン分析方法 排ガス中のホスゲン分析方法 排ガス中の二硫化炭素分析方法 排ガス中のメルカプタン分析方法 排ガス中の一酸化炭素分析方法 排ガス中のアンモニア分析方法 排ガス中の硫黄酸化物分析方法 排ガス中の窒素酸化物分析方法 排ガス中のふつ素化合物分析方法 排ガス中の塩素分析方法 排ガス中の塩化水素分析方法 排ガス中の硫化水素分析方法 排ガス中のシアノ化水素分析方法 排ガス中の水銀分析方法 排ガス中の酸素分析方法 排ガス中のホルムアルデヒド分析方法 排ガス中のトリクロロエチレン及びテトラクロロエチレン分析方法 排ガス中のダスト濃度の測定方法 浮遊粉じん濃度測定方法通則 大気中のPM2.5測定用サンプラ | JIS B 7951 JIS B 7952 JIS B 7953 JIS B 7954 JIS B 7956 JIS B 7957 JIS B 7981 JIS B 7982 JIS B 7983 JIS B 7984 JIS B 7987 JIS K 0083 JIS K 0085 JIS K 0086 JIS K 0087 JIS K 0088 JIS K 0089 JIS K 0090 JIS K 0091 JIS K 0092 JIS K 0098 JIS K 0099 JIS K 0103 JIS K 0104 JIS K 0105 JIS K 0106 JIS K 0107 JIS K 0108 JIS K 0109 JIS K 0222 JIS K 0301 JIS K 0303 JIS K 0305 JIS Z 8808 JIS Z 8813 JIS Z 8851 |

別紙2（水中の物質の濃度に係る事業）

別紙2-1 関係法令等一覧表 水その1

| 項目 | 関係法令等 |
|---|--|
| 人の健康の保護に関する環境基準・生活環境の保全に関する環境基準・地下水に係る環境基準及び要監視項目 | <p>環境基本法 改正</p> <p>水質汚濁に係る環境基準について 改正</p> <p>地下水の水質汚濁に係る環境基準について 改正</p> <p>水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定方法について 改正</p> <p>水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について</p> <p>水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について</p> <p>水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行等について</p> <p>水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件及び地下水の水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行等について</p> <p>水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行等について</p> <p>「水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件」等の施行等について</p> |
| 公共用水域等における農薬の水質評価指針 | 公共用水域等における農薬の水質評価指針について |

別紙2-2 関係法令等一覧表 水その2

| 項目 | 関係法令等 |
|-------------------------|---|
| 排水基準・特定地下浸透水及び地下水の浄化基準等 | <p>水質汚濁防止法 改正 水質汚濁防止法施行令 改正 水質汚濁防止法施行規則 改正 排水基準を定める省令 改正 排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法 改正 水質汚濁防止法施行規則第六条の二の規定に基づき環境大臣が定める検定方法 改正 水質汚濁防止法施行規則第九条の四の規定に基づき環境大臣が定める検定方法 改正</p> <p>昭和45年12月25日法律第138号 令和4年6月17日法律第68号 昭和46年6月17日政令第188号 令和6年1月4日政令第1号 昭和46年6月19日総理府・通産省令第2号 令和6年4月1日環境省令第17号 昭和46年6月21日総理府令第35号 令和6年11月11日環境省令第29号 昭和49年9月30日環境庁告示第64号 令和7年3月31日環境省告示第36号 平成元年8月21日環境庁告示第39号 令和7年3月31日環境省告示第42号 平成8年9月19日環境庁告示第55号 令和7年3月31日環境省告示第43号</p> |
| 下水の水質 | <p>下水道法 改正 下水道法施行令 改正 下水道法施行規則 改正 下水の水質の検定方法等に関する省令 改正</p> <p>昭和33年4月24日法律第79号 令和4年6月17日法律第68号 昭和34年4月22日政令第147号 令和6年1月4日政令第2号 昭和42年12月19日建設省令第37号 令和6年3月13日国土交通省令第20号 昭和37年12月17日厚生省・建設省令第1号 令和7年3月3日国土交通省・環境省令第1号</p> |
| 土壤汚染対策 | <p>土壤汚染対策法 改正 土壤汚染対策法施行令 改正 土壤汚染対策法施行規則 改正 土壤汚染対策法施行規則第六条第二項第二号の規定に基づく環境大臣が定める地下水に含まれる調査対象物質の量の測定方法 改正</p> <p>平成14年5月29日法律第53号 令和4年6月17日法律第68号 平成14年11月13日政令第336号 令和5年10月18日政令第304号 平成14年12月26日環境省令第29号 令和6年4月1日環境省令第17号 平成15年3月6日環境省告示第17号 令和7年3月31日環境省告示第38号</p> |

別紙2-3 関係法令等一覧表 水その3

| 項目 | 関係法令等 |
|--------------|---|
| 排出水中における悪臭物質 | <p>悪臭防止法 改正 悪臭防止法施行令 改正 悪臭防止法施行規則 改正 特定悪臭物質の測定の方法 改正</p> <p>昭和46年 6月 1日法律第91号 令和 4年 6月17日法律第68号 昭和47年 5月30日政令第 207号 平成23年11月28日政令第 364号 昭和47年 5月30日総理府令第39号 令和 6年 4月 1日環境省令第17号 昭和47年 5月30日環境庁告示第 9号 令和 7年 3月31日環境省告示第45号</p> |
| ゴルフ場農薬指針 | <p>ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水域の生活環境動植物の被害防止に係る指導指針について 農薬取締法 改正 農薬取締法第4条第1項第6号から第9号までに掲げる場合に該当するかどうかの基準を定める等の件 改正 水質汚濁に係る農薬登録基準 改正 生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準（水域の生活環境動植物） 改正</p> <p>令和 2年 3月27日環水大土発第 2003271号環境省水・大気環境局長通知 昭和23年 7月 1日法律第82号 令和 5年 5月26日法律第36号 昭和46年3月2日農林省告示 346号 令和 6年 3月29日環境省告示35号 平成20年 7月23日環境省告示第60号 令和 7年 3月31日環境省告示第48号 令和 2年 3月26日環境省告示第31号 令和 7年 3月31日環境省告示第47号</p> |

別紙2-4 関係法令等一覧表 水その4

| 項目 | 関係法令等 | |
|------------|---|--|
| トリハロメタン生成能 | <p>特定水道利水障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法 改正</p> <p>特定水道利水障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法施行令 改正</p> <p>特定水道利水障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法施行規則 改正</p> <p>特定水道利水障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法施行規則第五条第二項の規定に基づく環境大臣が定める検定方法 改正</p> | <p>平成 6年 3月 4日法律第 9号</p> <p>令和 4年 6月17日法律第68号</p> <p>平成 6年 5月 9日政令第 140号</p> <p>令和 5年10月18日政令第 304号</p> <p>平成 6年 5月 9日総理府令第25号</p> <p>令和 6年 4月 1日環境省令第17号</p> <p>平成 7年 6月16日環境庁告示第30号</p> <p>令和 7年 3月31日環境省告示第44号</p> |
| 水の環境ホルモン | 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル | 平成10年10月 日環水管第 278号環境庁水質保全局水質管理課長通知 |
| 水の要調査項目等 | 要調査項目リストの改訂について ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)について 要調査項目等調査マニュアル | <p>平成26年 3月31日環水大水発第1403312号環境省水・大気環境局水環境課長通知</p> <p>令和 3年 3月26日環水大水発第2103262号環境省水・大気環境局水環境課長通知</p> <p>平成11年12月 環境庁水質保全局水質管理課</p> <p>平成13年 3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課</p> <p>平成14年 3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課</p> <p>平成15年 3月 環境省環境管理局水環境部企画課</p> <p>平成16年 3月 環境省環境管理局水環境部企画課</p> <p>平成20年 3月 環境省水・大気環境局水環境課</p> <p>平成22年10月 環境省水・大気環境局水環境課</p> <p>平成24年 2月 環境省水・大気環境局水環境課</p> |
| 水の環境残留物質 | 農薬等の環境残留実態調査分析法 | 平成12年 1月 環境庁水質保全局編 |

別紙2-5 関係法令等一覧表 水その5

| 項目 | 関係法令等 | |
|------------------|--|--|
| 排水・環境水の臭素系ダイオキシン | ポリブロモジベンゾーパラージオキシン及びポリブロモジベンゾーフランの暫定調査方法 | 平成19年 3月 環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室 |
| 水のP O P s | モニタリング調査マニュアル | 平成16年 3月 環境省環境保健部環境安全課 |
| 水の地域環境目標・要測定指標等 | 要測定指標の測定の実施について 要測定指標等の測定の実施について | 平成23年 3月24日環水大水発第110324001号環境省水・大気環境局水環境課長通知 平成24年 3月30日環水大水発第120330018号環境省水・大気環境局水環境課長通知 |
| 日本産業規格 | 工業用水・工場排水中のポリクロロビフェニル（P C B）試験方法 工業用水・工場排水試験方法－第1部～第5部 用水・排水中の揮発性有機化合物試験方法 p H測定方法 流れ分析法による水質試験方法－第1部～第9部 工業用水・工場排水中のペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸試験方法 | JIS K 0093 JIS K 0102-1～5 JIS K 0125 JIS Z 8802 JIS K 0170-1～9 JIS K 0450-70-10 |

別紙3（土壤中の物質の濃度に係る事業）

別紙3-1 関係法令等一覧表 土壌その1

| 項目 | 関係法令等 |
|--------------|--|
| 土壤の汚染に係る環境基準 | <p>環境基本法 改正 土壤汚染に係る環境基準について 改正</p> <p>平成 5年11月19日法律第91号 令和 3年 5月10日法律第36号 平成 3年 8月23日環境庁告示第46号 令和 7年 3月31日環境省告示第37号</p> |
| 土壤汚染対策 | <p>土壤汚染対策法 改正 土壤汚染対策法施行令 改正 土壤汚染対策法施行規則 改正 土壤汚染対策法施行規則第六条第三項第四号の規定に基づく環境大臣が定める土壤溶出量調査に係る測定方法 改正 土壤汚染対策法施行規則第六条第四項第二号の規定に基づく環境大臣が定める土壤含有量調査に係る測定方法 改正 土壤汚染対策法施行規則第六条第二項第一号及び二号の規定に基づく環境大臣が定める土壤ガス調査に係る採取及び測定の方法 改正 土壤汚染対策法施行規則第四十条第二項第三号の環境大臣が定める要措置区域外から搬入された土壤を使用する場合における当該土壤の特定有害物質による汚染状態の調査方法</p> <p>平成14年 5月29日法律第53号 令和 4年 6月17日法律第68号 平成14年11月13日政令第 336号 令和 5年10月18日政令第 304号 平成14年12月26日環境省令第29号 令和 6年 4月 1日環境省令第17号 平成15年 3月 6日環境省告示第18号</p> <p>令和 7年 3月31日環境省告示第39号 平成15年 3月 6日環境省告示第19号</p> <p>令和 7年 3月31日環境省告示第40号 平成15年 3月 6日環境省告示第16号</p> <p>令和 2年 3月30日環境省告示第35号 平成31年 1月29日環境省告示第 6号</p> |

別紙3-2 関係法令等一覧表 土壌その2

| 項目 | 関係法令等 | |
|----------------------|--|---|
| 農用地土壤汚染の特定有害物質 | 農用地の土壤の汚染防止等に関する法律 改正 農用地の土壤の汚染防止等に関する法律 施行令 改正 農用地土壤汚染対策地域の指定要件に係るカドミウムの量の検定の方法を定める省令 改正 農用地土壤汚染対策地域の指定要件に係る銅の量の検定の方法を定める省令 改正 農用地土壤汚染対策地域の指定要件に係る砒素の量の検定の方法を定める省令 改正 | 昭和45年12月25日法律第139号 平成23年8月30日法律第105号 昭和46年6月24日政令第204号 平成22年6月16日政令第148号 昭和46年6月24日農林省令第47号 令和2年3月30日環境省令第9号 昭和47年10月27日総理府令第66号 令和2年3月30日環境省令第9号 昭和50年4月8日総理府令第31号 令和2年3月30日環境省令第9号 |
| 農用地における土壤中の重金属等の蓄積防止 | 農用地における土壤中の重金属等の蓄積防止に係る管理基準について | 昭和59年11月8日環水土第149号 環境庁水質保全局長通知 |
| 土壤の環境残留物質 | 農薬等の環境残留実態調査分析法 | 平成12年1月 環境庁水質保全局編 |
| 底質の暫定除去基準 | 底質の暫定除去基準について 改正 底質調査方法 | 昭和50年10月28日環水管第119号環境庁水質保全局長通知 平成24年8月8日環水大水発第120725002号環境省水・大気環境局長通知 平成24年8月8日環水大水発第120725002号環境省水・大気環境局長通知 |
| 底質の環境ホルモン | 外因性内分泌搅乱化学物質調査暫定マニュアル | 平成10年10月 日環水管第278号環境庁水質保全局水質管理課長通知 |
| 底質の要調査項目等 | 要調査項目リストの改訂について ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFhxs)について 要調査項目等調査マニュアル | 平成26年3月31日環水大水発第1403312号環境省水・大気環境局水環境課長通知 令和3年3月26日環水大水発第2103262号環境省水・大気環境局水環境課長通知 平成11年12月 環境庁水質保全局水質管理課 平成13年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課 平成14年3月 環境省環境管理局水環境部水環境管理課 平成15年3月 環境省環境管理局水環境部企画課 平成16年3月 環境省環境管理局水環境部企画課 平成20年3月 環境省水・大気環境局水環境課 |
| 底質の環境残留物質 | 農薬等の環境残留実態調査分析法 | 平成12年1月 環境庁水質保全局編 |

別紙3-3 関係法令等一覧表 土壌その3

| 項目 | 関係法令等 |
|------------------------------------|---|
| 建設発生土及び水底土砂 (産業廃棄物及び海洋投入廃棄物の油分) | <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律 改正 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 改正 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則 改正 金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令 改正 産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法 改正 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法 改正 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第六条第一項第四号に規定する油分を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令 改正 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第六条第一項第四号に規定する海洋投入処分を行うことができる産業廃棄物に含まれる油分の検定方法 改正 海洋投入処分できる産業廃棄物に含まれる油分の検定方法の当面の扱いについて</p> <p>昭和45年12月25日法律第137号 令和4年6月17日法律第68号 昭和46年9月23日政令第300号 令和5年12月1日政令第344号 昭和46年9月23日厚生省令第35号 令和7年3月3日環境省令第6号 昭和48年2月17日総理府令第5号 平成29年6月9日環境省令第11号 昭和48年2月17日環境庁告示第13号 令和2年3月30日環境省告示第35号 平成4年7月3日厚生省告示第192号 令和7年3月11日環境省告示第22号 昭和51年2月26日総理府令第5号 平成18年12月15日環境省令第36号 昭和51年2月27日環境庁告示第3号 令和2年3月30日環境省告示第35号 平成19年8月14日環廃産発第070814001号、環地保発第070814001号環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長、環境省地球環境局環境保全対策課長通知</p> |

別紙3-4 関係法令等一覧表 土壌その4

| 項目 | 関係法令等 | |
|--------------------------|---|--|
| 建設発生土及び水底土砂 (海洋汚染廃棄物) | 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 改正 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令 改正 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行規則 改正 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令 改正 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法 改正 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法 改正 | 昭和45年12月25日法律第 136号 令和 6年 5月24日法律第38号 昭和46年 6月22日政令第 201号 令和 6年 6月 5日政令第 204号 昭和46年 6月23日運輸省令第38号 令和 7年 3月21日国土交通省令第16号 昭和48年 2月17日総理府令第 6号 令和 7年 3月 3日環境省令第 8号 昭和48年 2月17日環境庁告示第14号 令和 2年 6月 4日環境省告示第56号 平成 4年 7月 3日厚生省告示第 192号 令和 7年 3月11日環境省告示第22号 |
| 土壌のT P H | 油汚染対策ガイドライン | 平成18年 3月22日環水大土発第060322001号環境省水・大気環境局土壌環境課長通知 |
| 土壌の臭素系ダイオキシン | ポリブロモジベンゾーパラージオキシン及びポリブロモジベンゾフランの暫定調査方法 | 平成19年 3月 環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室 |
| 底質の臭素系ダイオキシン | ポリブロモジベンゾーパラージオキシン及びポリブロモジベンゾフランの暫定調査方法 | 平成19年 3月 環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室 |
| 底質のP O P s | モニタリング調査マニュアル | 平成16年 3月 環境省環境保健部環境安全課 |
| 土壌の有機フッ素化合物 | 土壌中のPFOS、PFOA及びPFHxSに係る暫定測定方法（溶出量試験、含有量試験） | 令和 5年 7月 環境省 |

別紙3-5 関係法令等一覧表 土壌その5

| 項目 | 関係法令等 |
|--------|---|
| 日本産業規格 | 工業用水・工場排水中のポリクロロビフェニル（P C B）試験方法 JIS K 0093(2006) 工業用水・工場排水試験方法－第1部～第5部 JIS K 0102-1～5 用水・排水中の揮発性有機化合物試験方法 JIS K 0125(2023) 流れ分析法による水質試験方法－第1部～第9部 JIS K 0170-1～9(2019) 工場排水試験方法 JIS K 0102(2016) 用水・排水中の揮発性有機化合物試験方法 JIS K 0125(2016) 流れ分析法による水質試験方法－第1部～第9部 JIS K 0170-1～9(2011) |

別紙4（音圧レベルに係る事業）

別紙4-1 関係法令等一覧表 音圧レベルその1

| 項目 | 関係法令等 |
|----|---|
| 騒音 | <p>環境基本法 改正 騒音に係る環境基準について 改正 騒音に係る環境基準の改正について 騒音に係る環境基準の評価マニュアル 一般地域編 騒音に係る環境基準の評価マニュアル 道路に面する地域編 航空機騒音に係る環境基準について 改正 航空機騒音に係る環境基準の一部改正について 航空機騒音測定・評価マニュアル 新幹線鉄道騒音に係る環境基準について 改正 新幹線鉄道騒音に係る環境基準について 改正 新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアル 在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について 在来鉄道騒音測定マニュアル 騒音規制法 改正 騒音規制法施行令 改正 騒音規制法施行規則 改正 騒音規制法第二条第四項の自動車を定める省令 改正 騒音規制法第十七条第一項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令 改正 自動車騒音常時監視マニュアル 一定の限度を超える大きさの騒音を発生しないものとして環境庁長官が指定するバックホウ、トラクターショベル及びブルドーザーの告示 改正</p> <p>平成 5年11月19日法律第91号 令和 3年 5月19日法律第36号 平成10年 9月30日環境庁告示第64号 令和 2年 3月30日環境省告示第35号 平成10年 9月30日環大企第 257号 平成27年10月 環境省 平成27年10月 環境省 昭和48年12月27日環境庁告示第 154号 令和 2年 3月30日環境省告示第35号 平成19年12月17日環水大大発第071217004号環境省水・大気環境局長通知 令和 2年 3月 環境省 昭和50年 7月29日環境庁告示第46号 平成12年12月14日環境庁告示第78号 昭和50年10月 3日環大特第 100号環境庁大気保全局長通知 平成 5年11月18日環大企第 488号、環大特第 123号、環大自第 102号 平成27年10月 環境省 平成 7年12月20日環大一第 174号環境庁大気保全局長通知 平成27年10月 環境省水・大気環境局大気生活環境局 昭和43年 6月10日法律第98号 令和 4年 6月17日法律第68号 昭和43年11月27日政令第 324号 令和 3年12月24日政令第 346号 昭和46年 6月22日厚生・農林・通商産業・運輸・建設省令第 1号 令和 3年 3月25日環境省令第 3号 昭和46年 6月23日運輸省令第37号 平成12年 8月14日総理府令第94号 平成12年 3月 2日総理府令第15号 令和 2年 3月30日環境省令第 9号 平成27年10月 環境省水・大気環境局自動車環境対策課 平成 9年 9月22日環境庁告示第54号 平成12年12月14日環境庁告示第78号</p> |

別紙4-2 関係法令等一覧表 音圧レベルその2

| 項目 | 関係法令等 | |
|--------|---|---|
| 騒音 | 特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準 改正 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 改正 自動車騒音の大きさの許容限度 改正 幹線道路の沿道の整備に関する法律 改正 幹線道路の沿道の整備に関する法律施行令 改正 幹線道路の沿道の整備に関する法律施行規則 改正 公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律 改正 公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律施行令 改正 公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律施行規則 改正 周辺整備空港指定令 改正 航空機の騒音の強度及びひん度に関する告示 改正 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律 改正 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律施行令 改正 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律施行規則 改正 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第三条第二項各号に掲げる施設についてそれぞれ音響の強度及びひん度 改正 | 昭和43年11月27日厚生・農林・通商産業・運輸省告示第1号 令和2年3月30日環境省告示第35号 昭和43年11月27日厚生省・建設省告示第1号 令和2年3月30日環境省告示第35号 昭和50年9月4日環境庁告示第53号 令和4年9月30日環境省告示第77号 昭和55年5月1日法律第34号 平成29年5月12日法律第26号 昭和55年10月24日政令第273号 平成29年6月14日政令第156号 昭和55年10月25日建設省令第12号 令和2年12月23日国土交通省令第98号 昭和42年8月1日法律第110号 平成26年6月13日法律第69号 昭和42年9月7日政令第284号 令和7年3月26日政令第85号 昭和49年3月27日運輸省令第6号 令和元年6月28日国土交通省令第20号 昭和49年3月28日政令第69号 昭和51年6月11日政令第149号 昭和42年10月23日運輸省告示第308号 令和6年3月29日国土交通省告示第283号 昭和49年6月27日法律第101号 平成26年6月13日法律第69号 昭和49年6月27日政令第228号 令和7年4月1日政令第171号 昭和49年6月27日総理府令第43号 令和5年3月31日防衛省令第5号 昭和49年6月27日防衛施設庁告示第7号 令和6年3月29日防衛省告示第85号 |
| 日本産業規格 | 環境騒音の表示・測定方法 | JIS Z 8731 |

別紙5 (振動加速度レベルに係る事業)

別紙5-1 関係法令等一覧表 振動加速度レベル

| 項目 | 関係法令等 |
|--------|---|
| 振動 | <p>振動規制法 改正 振動規制法施行令 改正 振動規制法施行規則 改正 道路交通振動測定マニュアル 特定工場等において発生する振動の規制に関する基準 改正 振動規制法の施行について（依頼通達） 改正 環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（勧告） 一定の限度を超える大きさの振動を発生しないものとして環境大臣が指定する圧縮機を定める告示 低振動型圧縮機の指定に関する規程</p> <p>昭和51年 6月10日法律第64号 令和 4年 6月17日法律第68号 昭和51年10月22日政令第 280号 令和 3年12月24日政令第 346号 昭和51年11月10日総理府令第58号 令和 3年 3月25日環境省令第 3号 2022年 6月 環境省水・大気環境局自動車環境対策課 昭和51年11月10日環境庁告示第90号 平成27年 4月20日環境省告示第65号 昭和51年12月 1日環大特第 154号環境事務次官通知 平成 5年 7月26日環大特第80号 昭和51年 3月12日環大特第32号運輸大臣宛環境庁長官勧告 令和 4年 5月24日環境省告示第52号 令和 4年 5月24日環境省告示第53号</p> |
| 日本産業規格 | 振動レベル測定方法 JIS Z 8735 |